

台風19号避難行動等調査
報告書

令和2年9月

調布市

目 次

I. 調査の概要

1. 調査実施の目的.....	1
2. 調査設計.....	1
(1) 調査対象.....	1
(2) 調査方法.....	1
(3) 調査期間.....	1
(4) 調査項目.....	1
3. 回収結果.....	1
4. 調査結果を見る上での注意事項.....	2

II. 調査結果の詳細

1. 回答者の属性.....	5
(1) 性別.....	5
(2) 年齢.....	5
(3) 家族構成.....	6
(4) 同居家族内の要配慮者有無.....	7
(5) 住居形態.....	8
(6) 保有車両の有無.....	8
(7) 居住地域.....	9
(8) 台風19号による浸水被害の有無.....	10
2. 日頃の防災意識について.....	12
(1) 「ハザードマップ」所有・内容の理解状況.....	12
(2) 「マイ・タイムライン」認知・作成状況.....	13
(3) 台風19号以前に行っていた災害対策.....	14
3. 台風19号の際の避難行動について.....	17
(1) 台風19号の際の避難先.....	17
(2) 避難を始めたきっかけ.....	19
(3) 台風19号の際の情報入手先.....	23
(4) 避難時の移動手段.....	26
(5) 自宅から避難先までの所要時間.....	28
(6) 避難しなかった理由.....	29

4. 今後の避難行動について	33
(1) 今後の風水害の際の避難先	33
(2) 今後の風水害の際の避難のタイミング	37
(3) 今後の避難の際の移動手段	41
(4) 今後、避難しないと考えている理由	43
(5) 避難するために必要な支援	46
5. 今後の対策について	49
(1) 風水害に備えて実施している対策	49
(2) 止水板設置の検討有無	53
(3) 止水板設置を検討する個人負担の額	55
6. 調布市の防災施策について	56
(1) 調布市の防災対策の認知状況	56
7. 新型コロナウイルス感染症の影響下における避難行動について	59
(1) 新型コロナウイルス感染症影響前に予定していた災害時の避難先	59
(2) 避難しないと考えていた理由	61
(3) 新型コロナウイルス感染症影響下の災害時の避難先	63
(4) 新型コロナウイルス感染症影響下で避難を考えていない理由	66
(5) 市が指定する避難所以外の場所に避難する場合、不安に感じる事	68
(6) 新型コロナウイルス感染症影響下の災害時に備えた対策の有無	70
(7) 新型コロナウイルス感染症影響下の災害時に備えた対策の内容	71
8. 自由記述	73
 Ⅲ. 調査票	 81

I. 調査の概要

1. 調査実施の目的

調布市では、令和元年10月の台風19号に伴い調布市政始まって以来の避難勧告を発令して対応したところである。

市民の防災意識、避難行動等を明らかにして、避難勧告の発令時期、避難所の開設時期などに関する諸課題を分析することによって、有効な防災対策に繋げることを目的とする。

2. 調査設計

(1) 調査対象

台風19号に伴い調布市が発令した避難勧告の対象地域（飛田給3丁目、上石原3丁目、多摩川1丁目から多摩川7丁目まで、染地1丁目から染地3丁目まで）に居住する20歳以上の男女6,021人（無作為抽出）。

(2) 調査方法

郵送による配布および回収

(3) 調査期間

令和2年7月10日（金）から7月27日（月）まで

(4) 調査項目

- ・基本属性
- ・日頃の防災意識について
- ・台風19号の際の避難行動について
- ・今後の避難行動について
- ・今後の対策について
- ・調布市の防災施策について
- ・新型コロナウイルス感染症の影響下における避難行動について

3. 回収結果

配付数	6,021件
有効回収数	2,670件
有効回収率	44.3%

4. 調査結果を見る上での注意事項

- ・集計は、小数第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100%にならない場合があります。
- ・設問の回答数（基数）は、「n」で表示している。
- ・回答の比率(%)は、その設問の回答数を基数として算出しているため、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超える場合がある。
- ・帯グラフ中では、スペースの都合上0.0%の数値の表示を省略している。
- ・調査票の選択肢の文章が長い場合、要約して短く表現している場合がある。
- ・回答数（基数）が極端に少ないものについては、分析対象から外している場合がある。但し、調査結果には参考値として記載している。

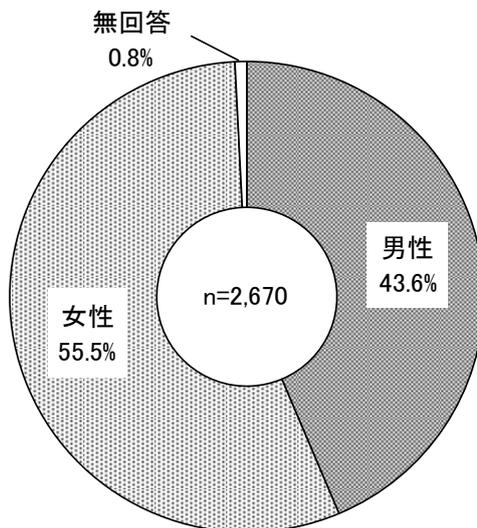
II. 調査結果の詳細

1. 回答者の属性

(1) 性別

問1 あなたの性別をお知らせください。(○は1つ)

「男性」が43.6%、「女性」が55.5%となっている。

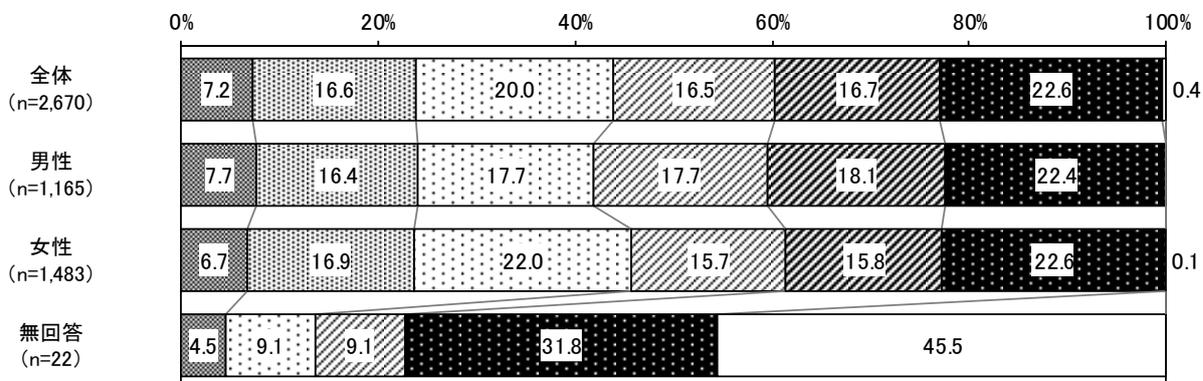


(2) 年齢

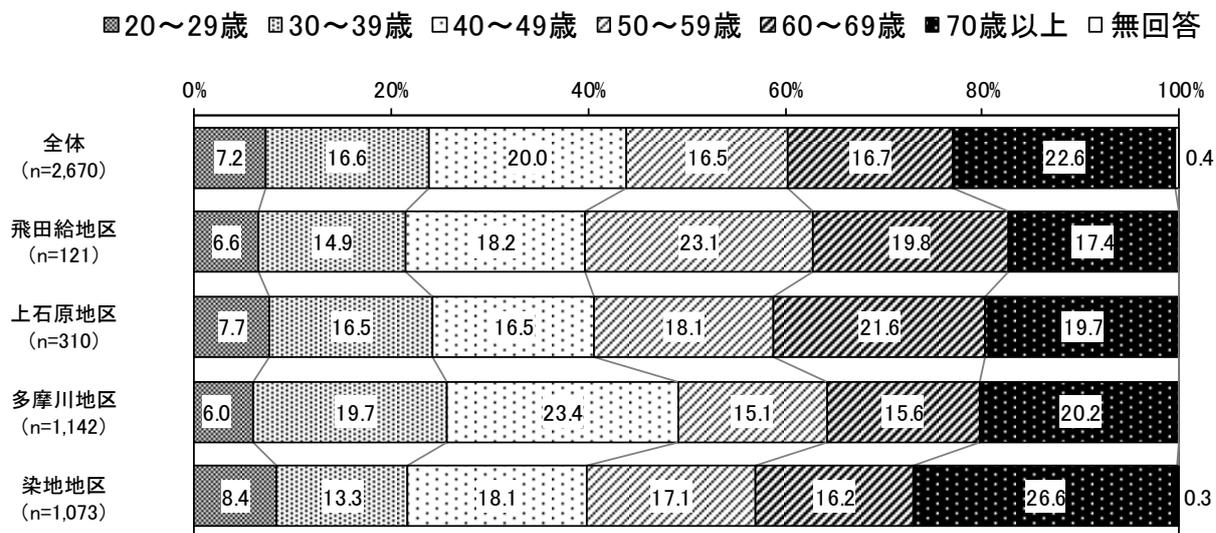
問2 あなたの年齢について、次の中から選んで○をつけてください。(○は1つ)

年齢について、性別にみた結果は以下の通り。

■ 20～29歳 □ 30～39歳 ▨ 40～49歳 ▩ 50～59歳 ▪ 60～69歳 ■ 70歳以上 □ 無回答



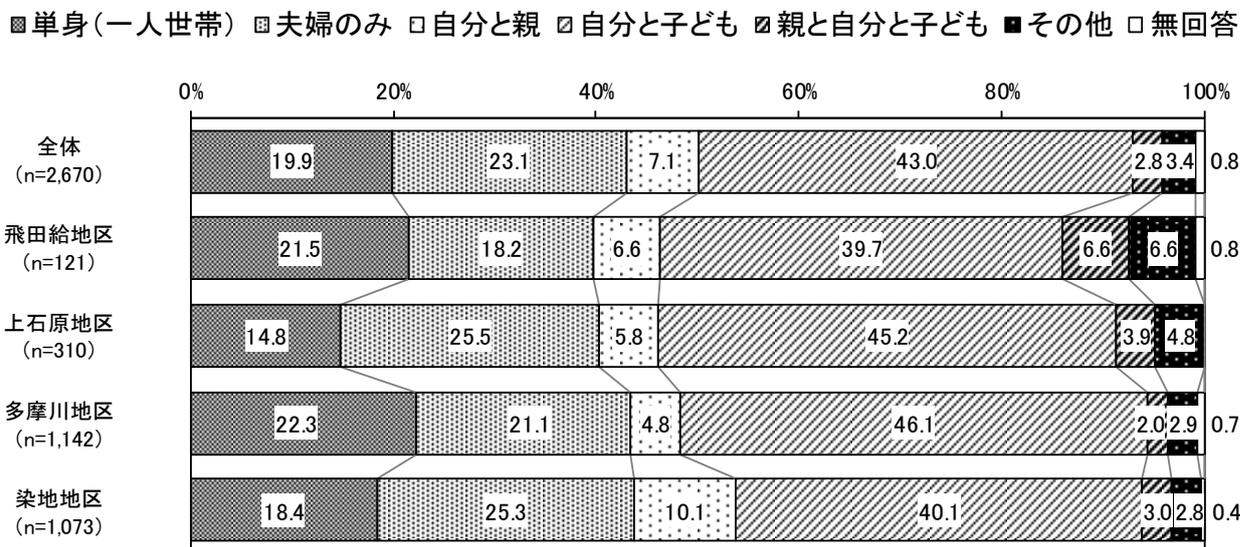
年齢について居住地域別にみると、「染地地区」では「70歳以上」が26.6%と他の地区と比べて多くなっている。



(3) 家族構成

問3 あなたの同居のご家族の構成は、次のどれにあたりますか？（○は1つ）

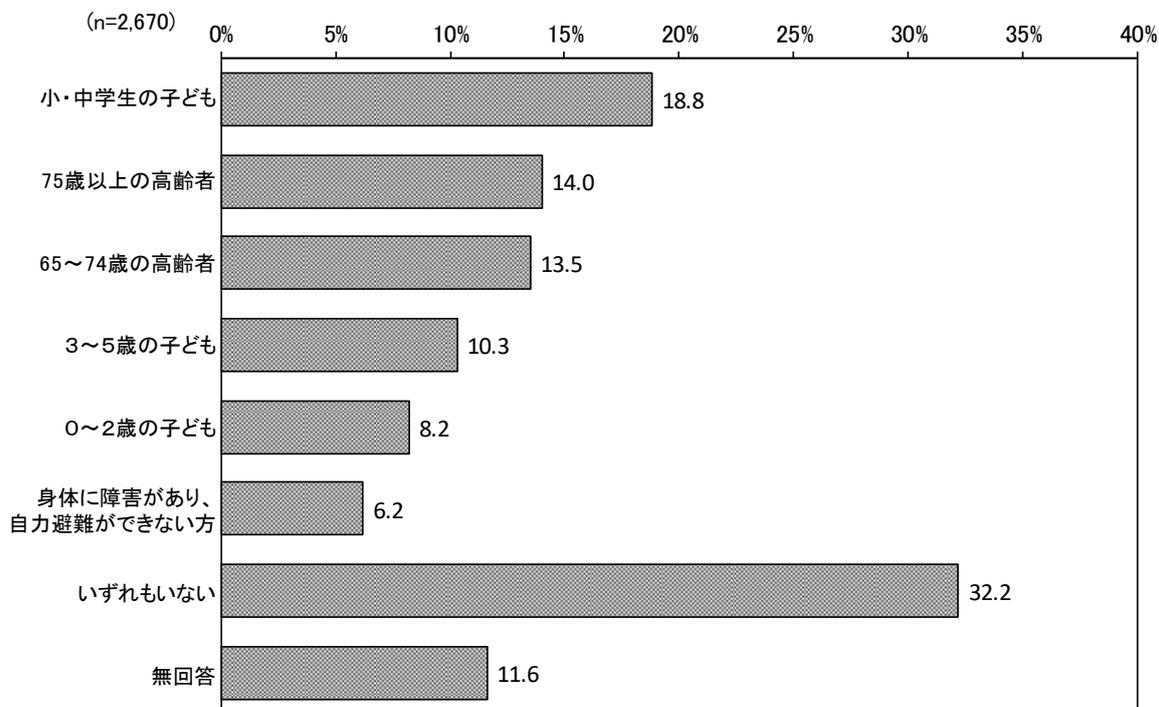
家族構成について、居住地域別にみた結果は以下の通り。



(4) 同居家族内の要配慮者有無

問4 あなたを含め、同居している方の中に次に該当する方はいらっしゃいますか？
(○はいくつでも)

同居家族内の要配慮者の有無については以下の通り。



居住地域別にみると、「多摩川地区」では「0～2歳の子ども」のいる世帯が10.9%とやや多い。

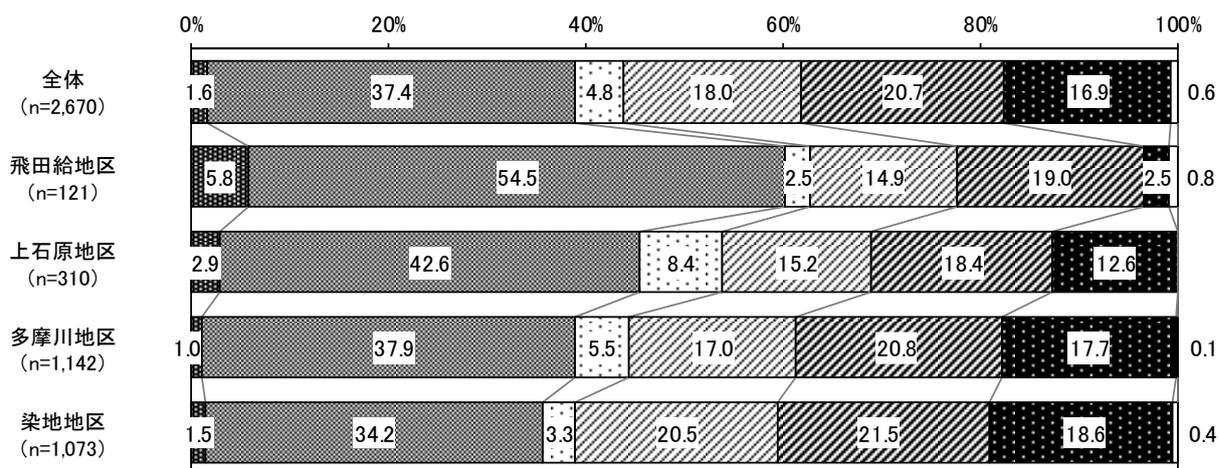
		小・中学生の子ども	75歳以上の高齢者	65～74歳の高齢者	3～5歳の子ども	0～2歳の子ども	身体に障害があり、自力避難ができない方	いずれもない	無回答	(%)
全体	2,670	18.8	14.0	13.5	10.3	8.2	6.2	32.2	11.6	
飛田給地区	121	15.7	17.4	13.2	5.0	5.8	8.3	32.2	12.4	
上石原地区	310	17.7	12.3	15.5	11.0	5.5	5.8	37.7	9.7	
多摩川地区	1,142	20.3	10.9	12.6	11.1	10.9	5.3	33.6	10.2	
染地地区	1,073	18.4	17.4	14.1	10.1	6.7	7.1	29.3	12.9	

(5) 住居形態

問5 あなたのお住まいの形態は、次のどれにあたりますか？（○は1つ）

家族構成について居住地域別にみると、「飛田給地区」では「一戸建て（2階建て）」が54.5%と他の地区と比べて多い。

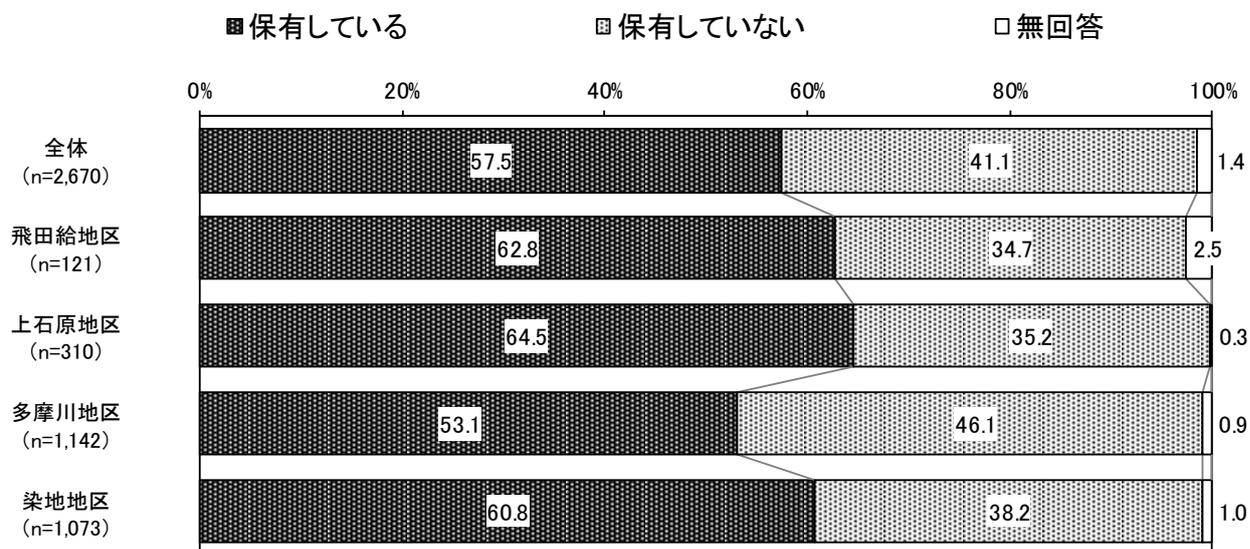
- 一戸建て(平屋)
- 一戸建て(2階建て)
- 一戸建て(3階建て以上)
- 集合住宅の1階
- 集合住宅の2階
- 集合住宅の3階以上
- 無回答



(6) 保有車両の有無

問6 あなたのお宅では、車を保有されていますか？（○は1つ）

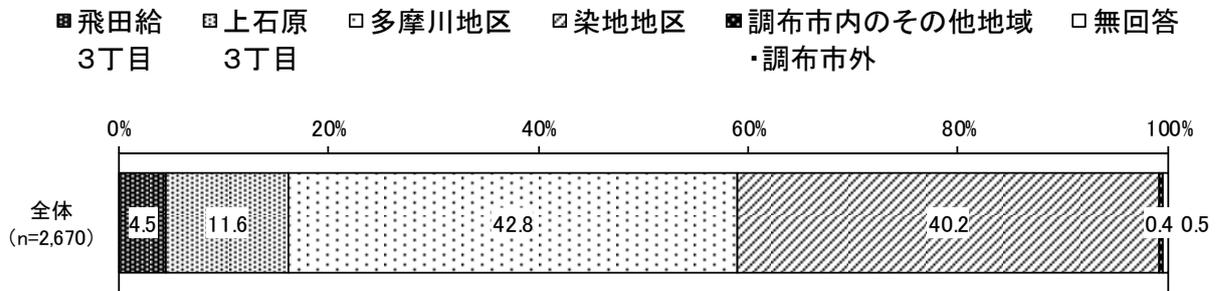
車の保有状況について、居住地域別にみた結果は以下の通り。



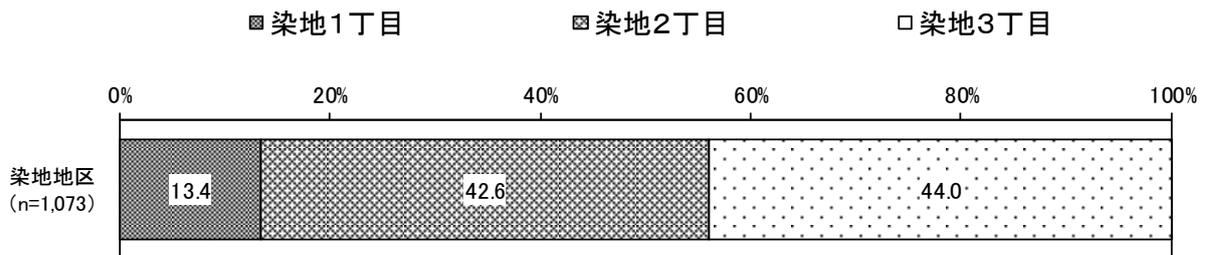
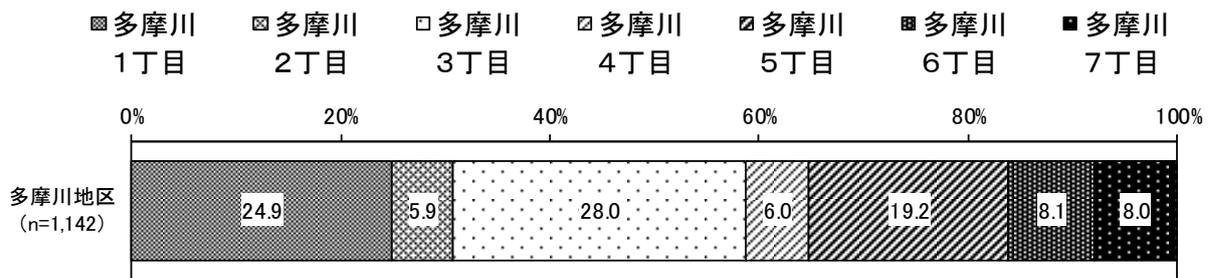
(7) 居住地域

問7 現在のあなたのお住まいの地域をお知らせください。(○は1つ)

居住地域について、全体としては以下の通り。



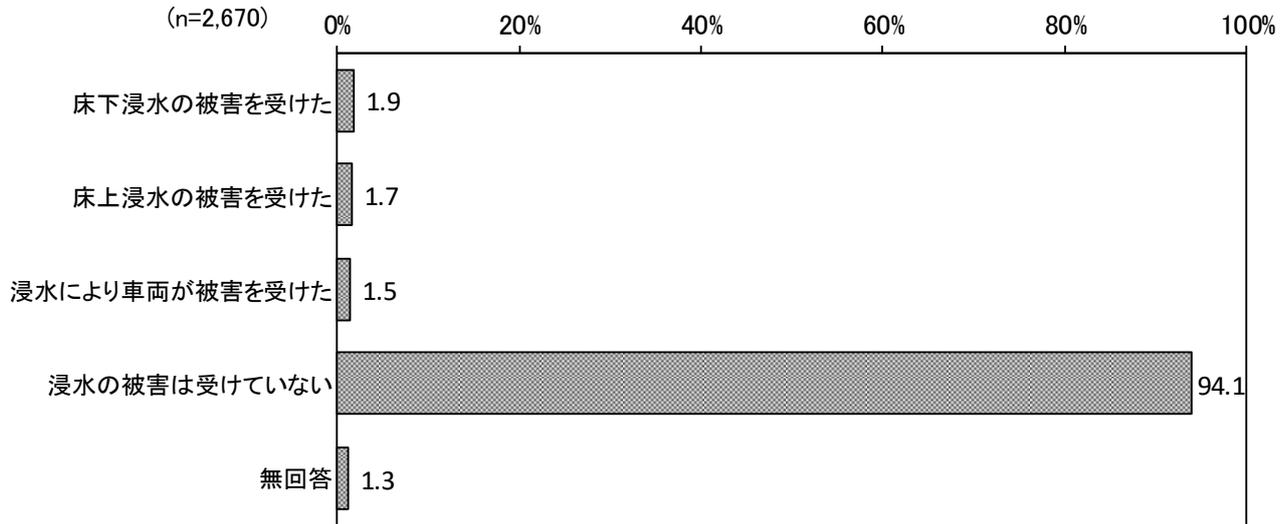
また、「多摩川地区」「染地地区」の内訳については以下の通り。



(8) 台風19号による浸水被害の有無

問8 あなたのお宅は、台風19号により床上浸水又は床下浸水の被害を受けましたか？
(○はいくつでも)

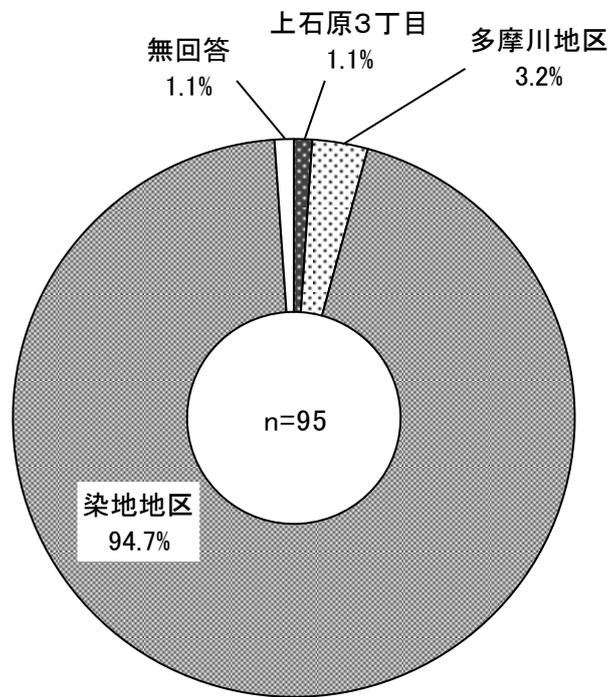
台風19号による浸水被害の状況は以下の通り。



居住地域別にみると、浸水被害を受けたという回答は主に「染地地区」で見られている。

		床下浸水の被害を受けた	床上浸水の被害を受けた	浸水により車両が被害を受けた	浸水の被害は受けていない	無回答	(%)
全体	2,670	1.9	1.7	1.5	94.1	1.3	
飛田給3丁目	121	0.0	0.0	0.0	98.3	1.7	
上石原3丁目	310	0.0	0.3	0.0	97.7	1.9	
多摩川地区計	1,142	0.1	0.2	0.0	98.5	1.2	
1丁目	284	0.0	0.4	0.0	98.6	1.1	
2丁目	67	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
3丁目	320	0.0	0.3	0.0	98.8	0.9	
4丁目	68	0.0	0.0	0.0	97.1	2.9	
5丁目	219	0.0	0.0	0.0	99.1	0.9	
6丁目	93	1.1	0.0	0.0	96.8	2.2	
7丁目	91	0.0	0.0	0.0	97.8	2.2	
染地地区計	1,073	4.6	3.8	3.8	88.1	1.1	
1丁目	144	0.7	0.0	1.4	97.2	0.7	
2丁目	457	1.5	0.0	0.2	97.4	0.9	
3丁目	472	8.7	8.7	8.1	76.3	1.5	

床下・床上浸水の被害を受けた人の居住地は94.7%が「染地地区」であり、その中でも約9割が「染地3丁目」である。



住居形態別にみた結果は以下の通り。

		床下浸水の被害を受けた	床上浸水の被害を受けた	浸水により車両が被害を受けた	浸水の被害は受けていない	無回答	(%)
全体	2,670	1.9	1.7	1.5	94.1	1.3	
一戸建て(平屋)	43	2.3	9.3	2.3	83.7	2.3	
一戸建て(2階建て)	999	1.7	1.1	0.8	95.7	1.2	
一戸建て(3階建て以上)	127	5.5	3.9	1.6	89.0	1.6	
集合住宅の1階	481	3.3	2.3	1.2	92.7	1.2	
集合住宅の2階	553	0.7	1.1	2.2	94.8	1.6	
集合住宅の3階以上	450	1.1	1.1	2.4	94.4	1.1	

2. 日頃の防災意識について

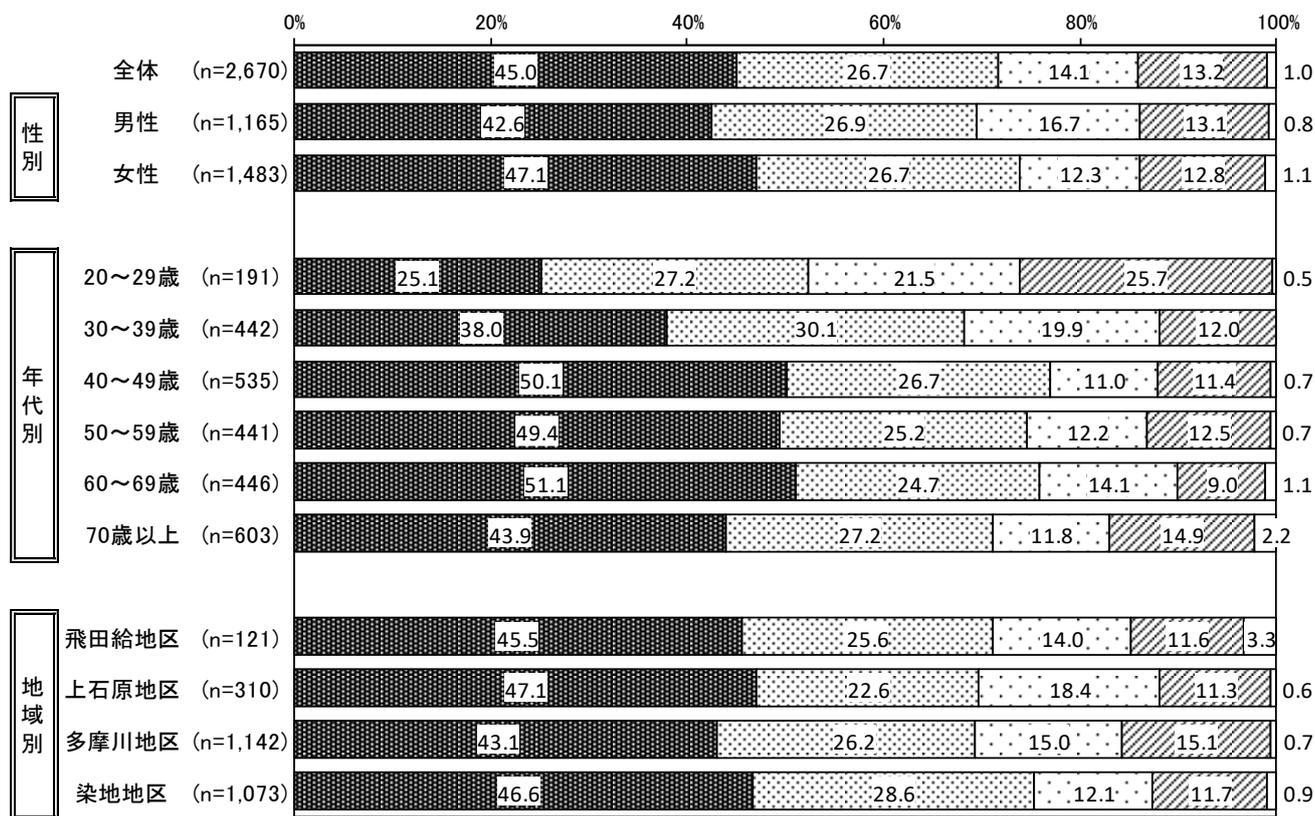
(1) 「ハザードマップ」所有・内容の理解状況

問9 あなたはお住まいの地域の「ハザードマップ」を持っていますか？（○は1つ）

全体では、「持っており、浸水想定区域や避難所の場所などについての内容を理解している」が45.0%となっている。

性別、居住地域別では傾向に大きな違いはみられないが、年代別にみると、「20～29歳」では「持っており、浸水想定区域や避難所の場所などについての内容を理解している」が25.1%と低い。

- 持っており、浸水想定区域や避難所の場所などについての内容を理解している
- ▨ 持っているが、内容までは理解していない
- ▩ 持っていないが、内容は理解している
- 持っておらず、内容も理解していない
- 無回答

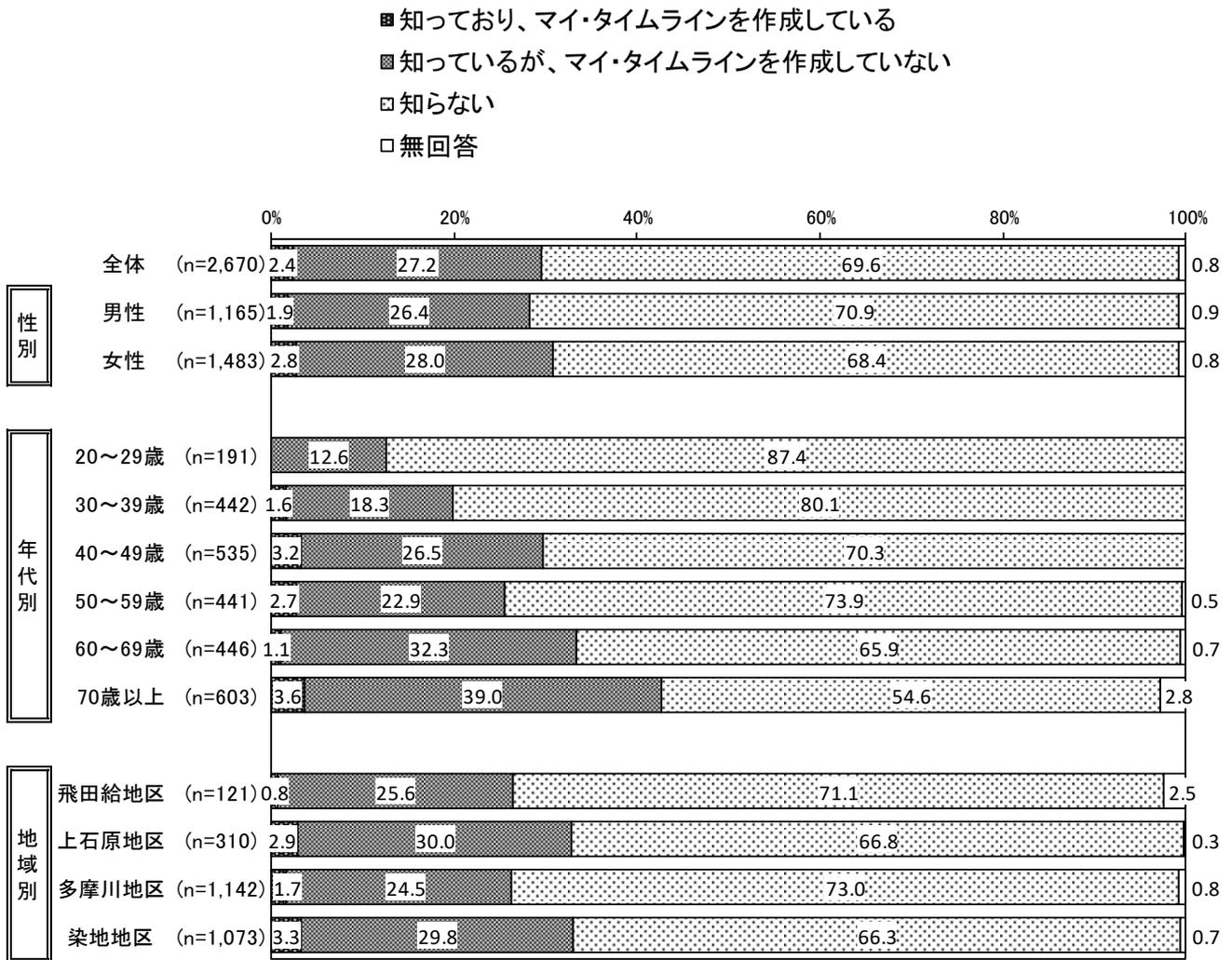


(2) 「マイ・タイムライン」認知・作成状況

問 10 あなたは「マイ・タイムライン」をご存じですか？（○は1つ）

全体では、69.6%が「知らない」と回答している。

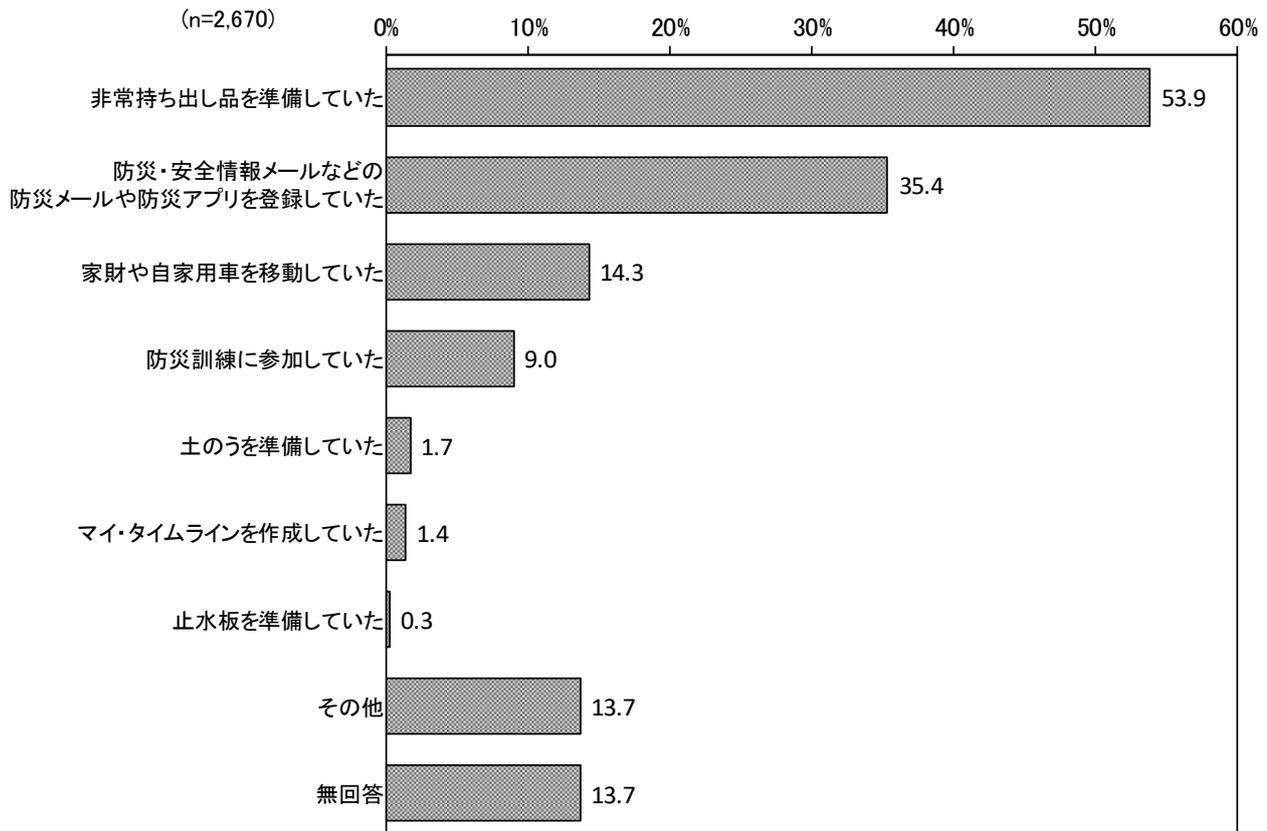
年代別にみると、「20～29歳」と「30～39歳」では「知らない」が8割台と高くなっている。



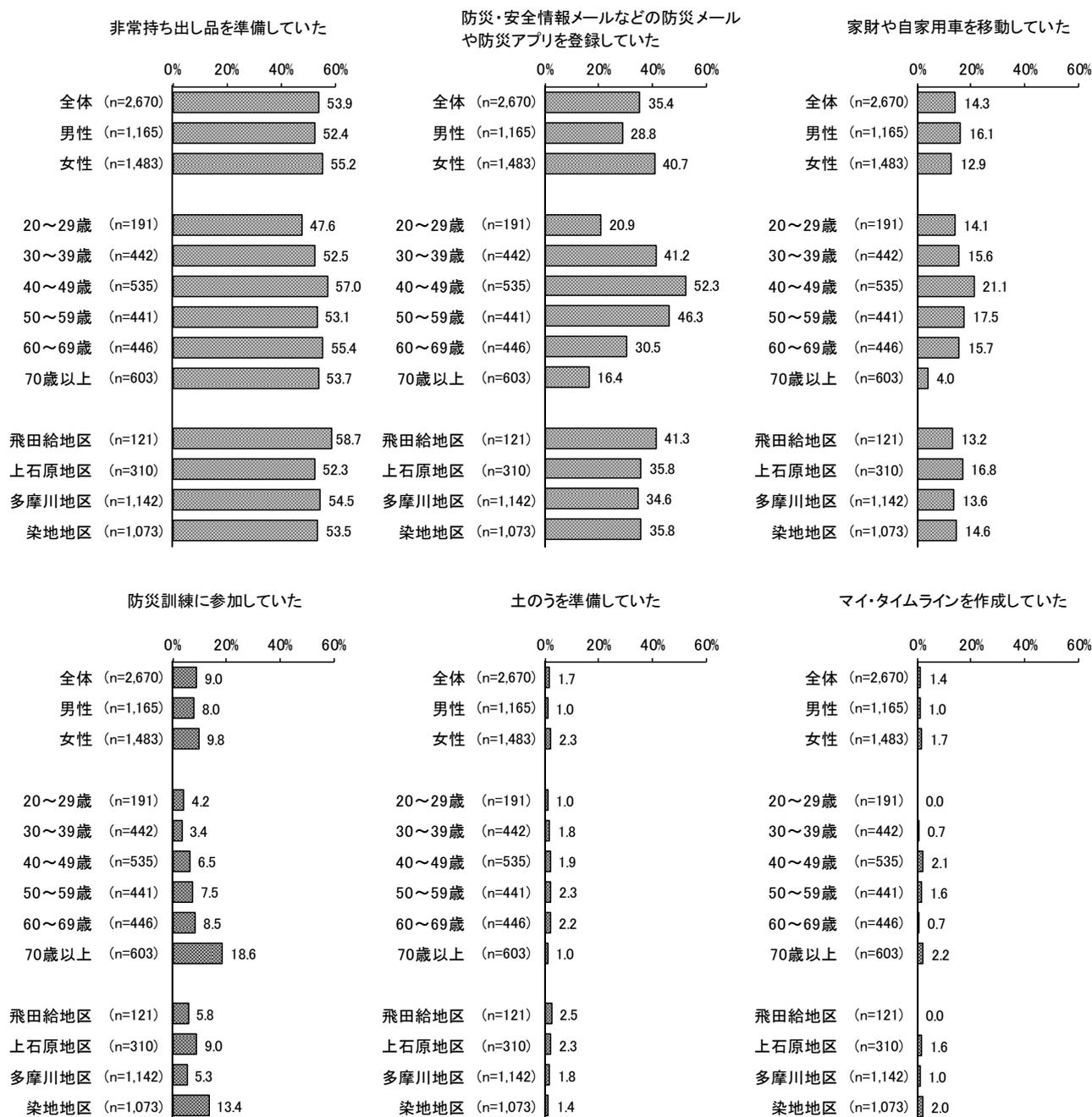
(3) 台風19号以前に行っていた災害対策

問11 あなたは、昨年の台風19号以前に、台風などの災害に備えて行っていた対策がありますか？（〇はいくつでも）

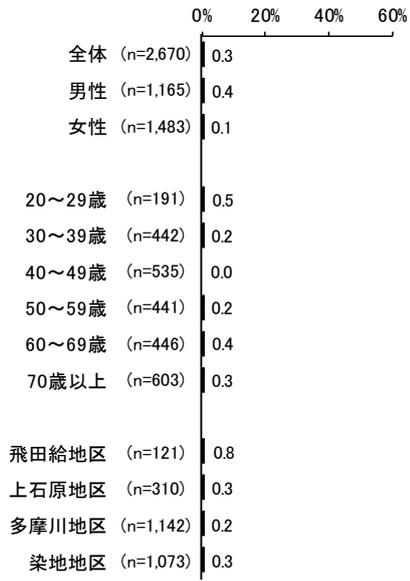
全体で見ると、「非常持ち出し品を準備していた」が53.9%と最も高く、次いで「防災・安全情報メールなどの防災メールや防災アプリを登録していた」が35.4%、「家財や自家用車を移動していた」が14.3%などと続いている。



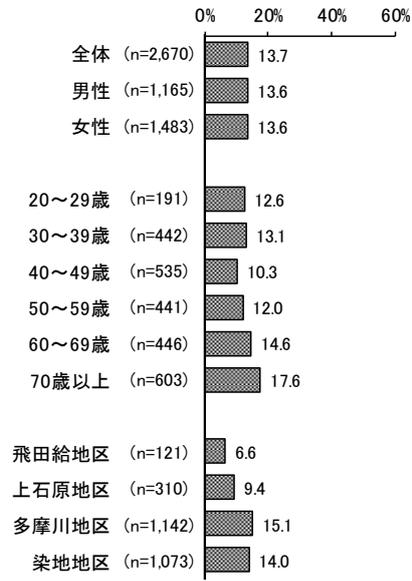
性別・年代別・居住地域別にみると、「非常持ち出し品を準備していた」では特に大きな傾向の違いはみられないが、「防災・安全情報メールなどの防災メールや防災アプリを登録していた」は性別では「女性」の方が割合が高く、年齢別では「40～49歳」で52.3%と高くなっている。また、「防災訓練に参加していた」は「70歳以上」で高い。



止水板を準備していた



その他



3. 台風19号の際の避難行動について

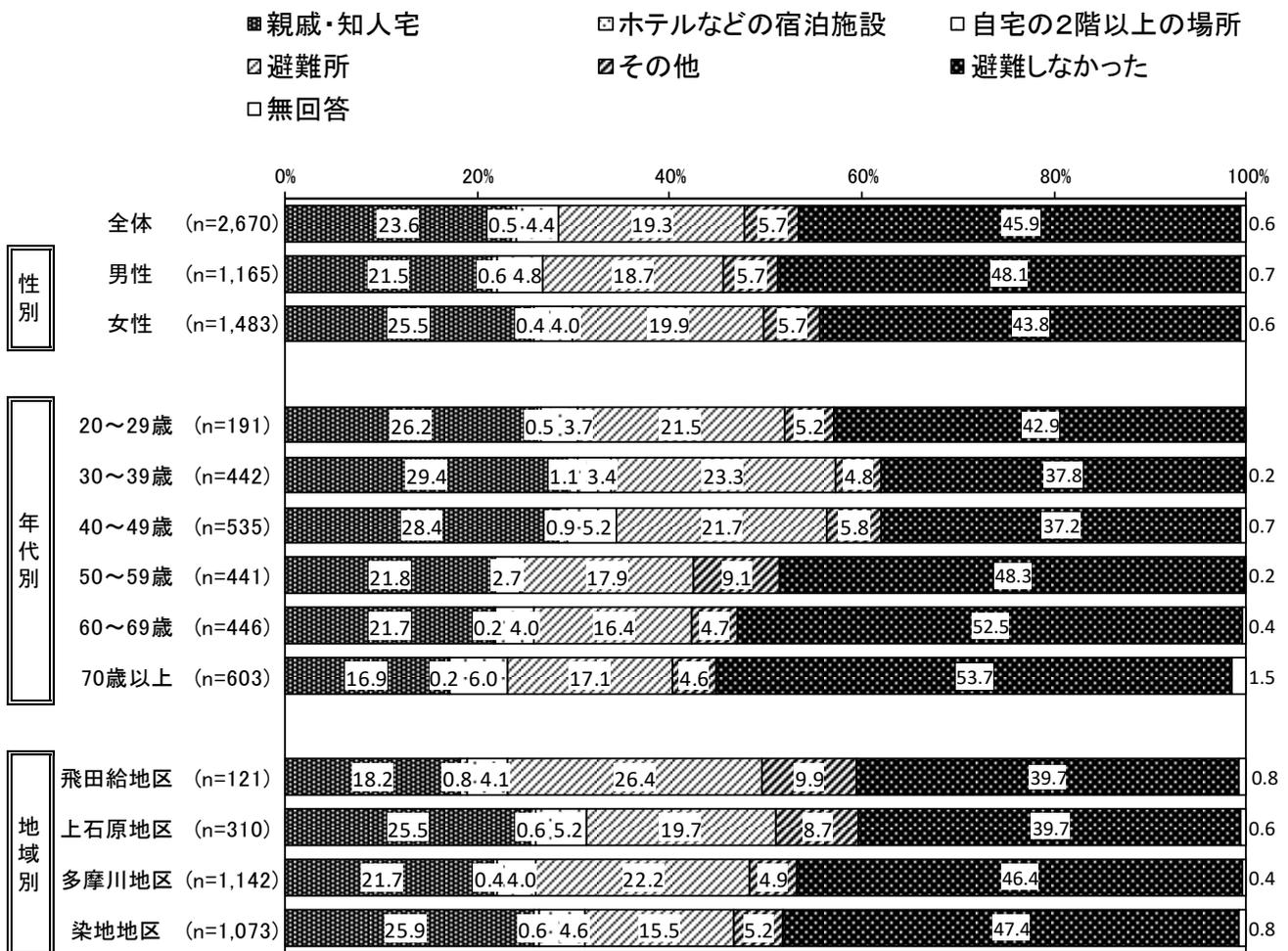
(1) 台風19号の際の避難先

問12 あなたは、台風19号の際、どちらに避難をされましたか？（○は1つ）

全体では、「避難しなかった」が45.9%と最も高く、次いで「親戚・知人宅」が23.6%、「避難所」が19.3%などと続いている。

年代別にみると、「30～39歳」と「40～49歳」では「避難しなかった」が3割台と低く、「60～69歳」と「70歳以上」では5割台と高い。

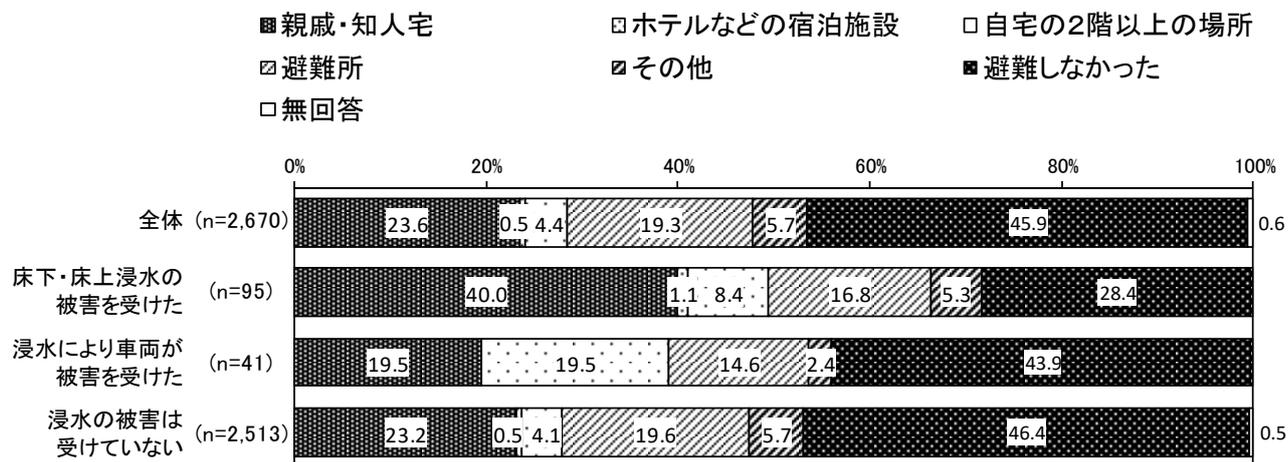
居住地域別にみると、「多摩川地区」と「染地地区」では「避難しなかった」が4割台と高く、「飛田給地区」では「避難所」と回答した割合が比較的高い。



同居家族内の要配慮者有無別にみると、「避難しなかった」は、子どものいる世帯では2割後半から3割台と低いが、「65～74歳の高齢者」「75歳以上の高齢者」がいる世帯では5割台、「身体に障害があり、自力避難ができない方」がいる世帯では64.5%と高くなっている。

		親戚・知人宅	ホテルなどの宿泊施設	自宅の2階以上の場所	避難所	その他	避難しなかった	無回答	(%)
全体	2,670	23.6	0.5	4.4	19.3	5.7	45.9	0.6	
0～2歳の子ども	220	33.2	0.9	2.3	22.7	4.1	36.8	0.0	
3～5歳の子ども	276	34.4	1.1	1.4	29.7	4.3	28.3	0.7	
小・中学生の子ども	503	34.0	0.8	3.6	23.9	5.6	31.6	0.6	
65～74歳の高齢者	361	21.3	0.3	5.5	16.1	5.5	51.0	0.3	
75歳以上の高齢者	373	17.2	0.3	6.7	20.6	2.7	51.5	1.1	
身体に障害があり、自力避難ができない	166	13.9	0.0	5.4	12.0	3.6	64.5	0.6	
いずれもない	861	21.0	0.5	4.2	18.1	6.7	49.2	0.2	

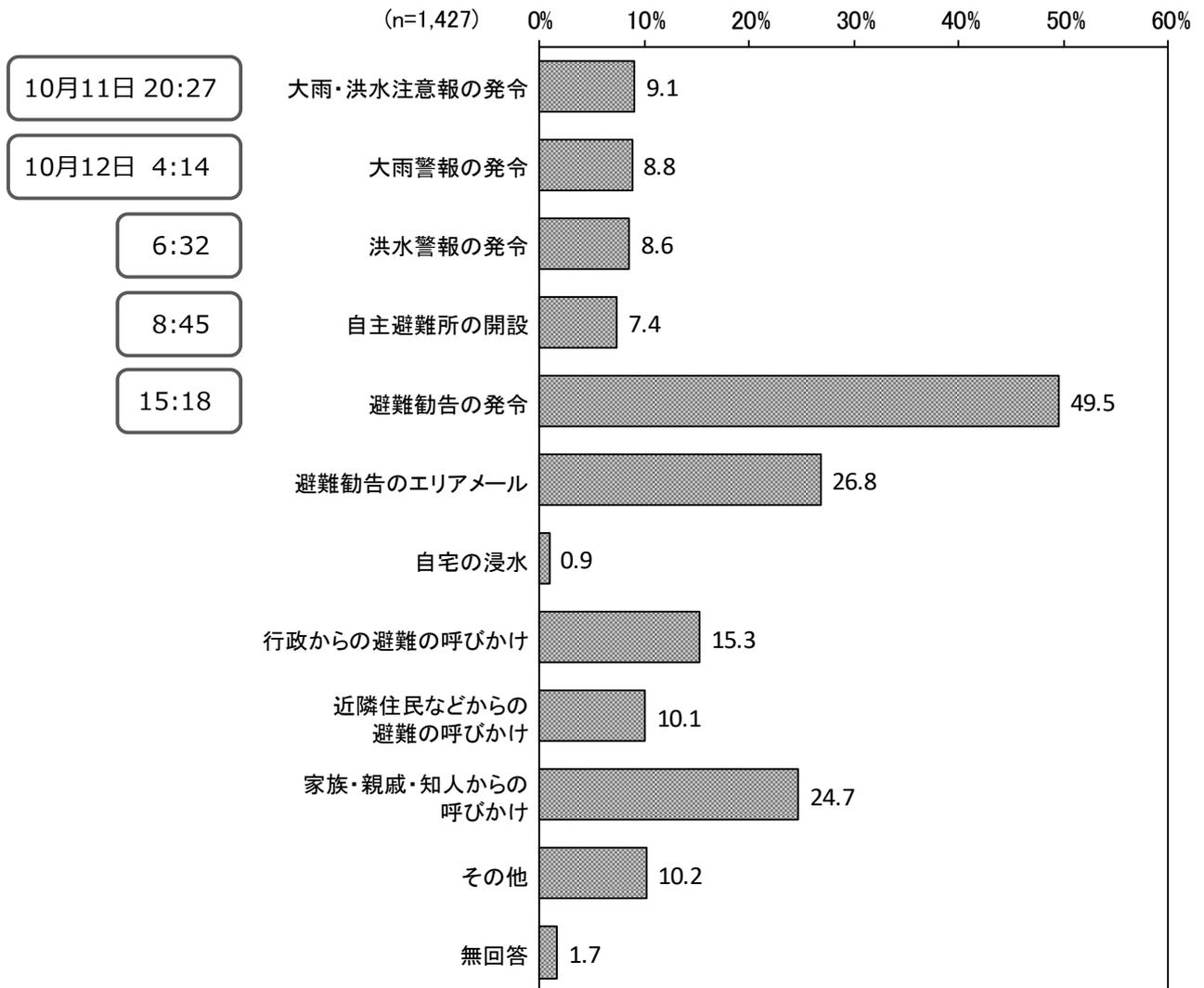
台風19号の際の避難先について被害状況別にみると、床下・床上浸水の被害を受けた人は「親戚・知人宅」の回答割合が40.0%と高く、「避難しなかった」は28.4%と低い。



(2) 避難を始めたきっかけ

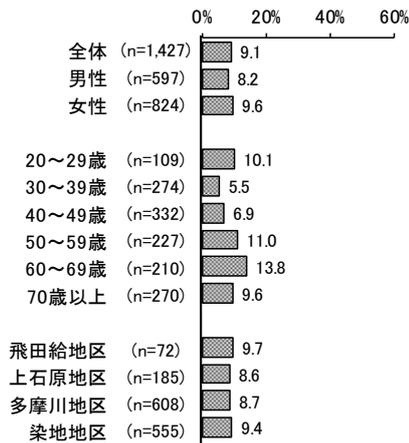
問 13 あなたが避難を始めたきっかけをお知らせください。(〇はいくつでも)

全体では、「避難勧告の発令 (15:18)」が 49.5%と最も高く、次いで「避難勧告のエリアメール」が 26.8%、「家族・親戚・知人からの呼びかけ」24.7%などと続いている。

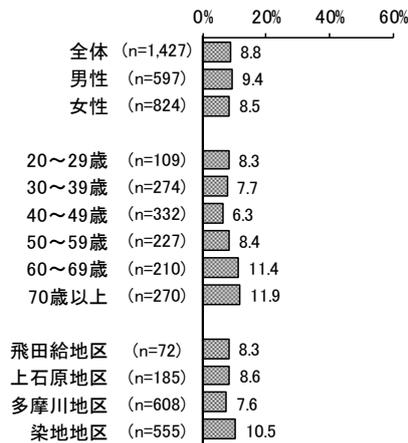


「避難勧告の発令」は「30～39歳」と「40～49歳」で約6割と高くなっている。「家族・親戚・知人からの呼びかけ」や「行政からの避難の呼びかけ」は60歳以上の年齢層で高く、特に「70歳以上」では、「避難勧告の発令」と「避難勧告のエリアメール」は低い、「家族・親戚・知人からの呼びかけ」「近隣住民などからの避難の呼びかけ」では高い傾向がある。

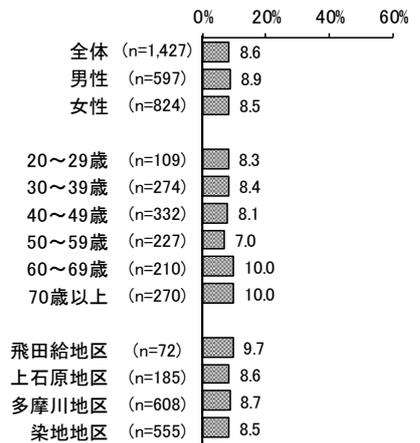
大雨・洪水注意報の発令
(10/11 20:27)



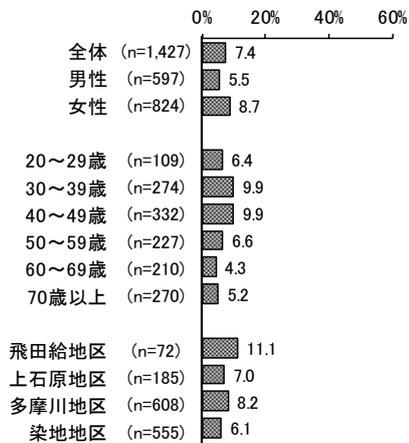
大雨警報の発令(10/12 4:14)



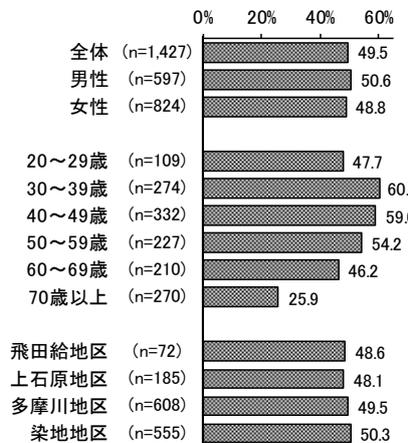
洪水警報の発令(10/12 6:32)



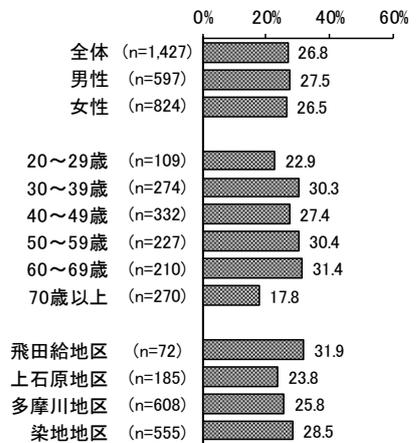
自主避難所の開設(10/12 8:45)



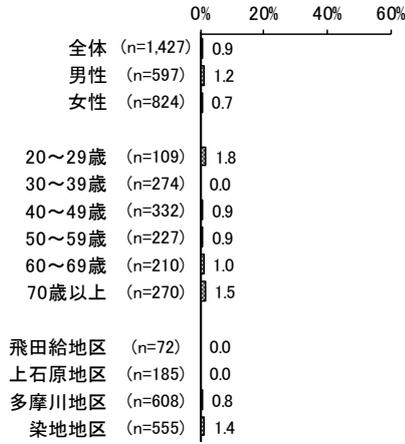
避難勧告の発令(10/12 15:18)



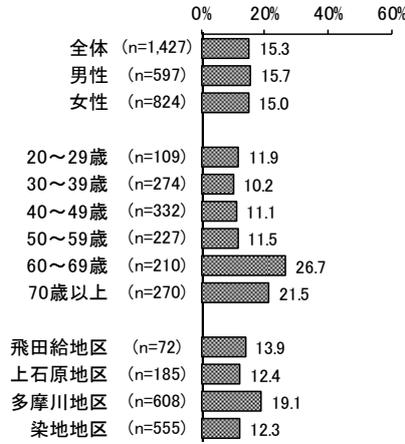
避難勧告のエリアメール



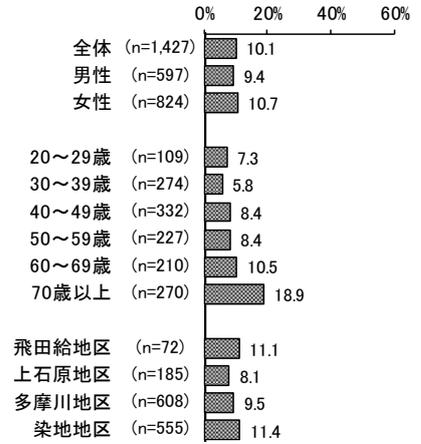
自宅の浸水



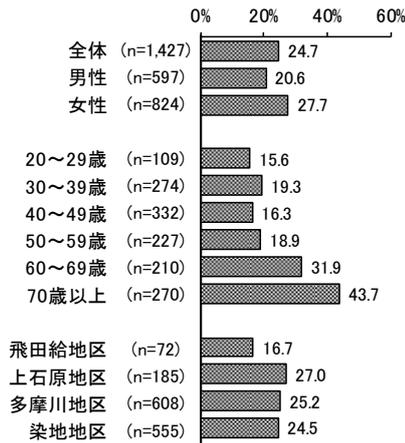
行政からの避難の呼びかけ



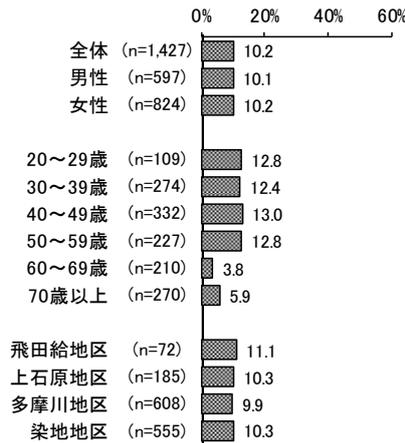
近隣住民などからの避難の呼びかけ



家族・親戚・知人からの呼びかけ



その他



同居家族内の要配慮者有無別にみると、子どものいる世帯では、「避難勧告の発令（15:18）」の回答割合が5割台半ばから6割台と高い。高齢者や「身体に障害があり、自力避難ができない方」のいる世帯では「家族・親戚・知人からの呼びかけ」や「行政からの避難の呼びかけ」「近隣住民などからの避難の呼びかけ」の回答割合が比較的高くなっている。

		大雨・洪水注意報の発令 (10/11 20:27)	大雨警報の発令 (10/12 4:14)	洪水警報の発令 (10/12 6:32)	自主避難所の開設 (10/12 8:45)	避難勧告の発令 (10/12 15:18)	避難勧告のエリアメール	自宅の浸水	行政からの避難の呼びかけ	近隣住民などからの避難の呼びかけ	家族・親戚・知人からの呼びかけ	その他	無回答	(%)
全体	1,427	9.1	8.8	8.6	7.4	49.5	26.8	0.9	15.3	10.1	24.7	10.2	1.7	
0～2歳の子ども	139	7.2	6.5	7.2	10.1	59.7	27.3	0.0	10.1	3.6	21.6	12.9	0.0	
3～5歳の子ども	196	6.6	3.6	7.7	13.3	64.3	26.5	0.0	6.1	7.1	22.4	9.7	0.0	
小・中学生の子ども	341	6.5	7.6	7.0	7.9	56.3	25.2	0.0	8.8	9.4	17.9	14.4	1.5	
65～74歳の高齢者	176	11.9	13.1	11.9	6.3	42.6	33.0	1.1	26.7	9.1	36.4	8.0	2.8	
75歳以上の高齢者	177	9.0	9.6	7.3	4.0	36.2	22.6	0.6	21.5	15.8	36.7	4.5	3.4	
身体に障害があり、自力避難ができない方	58	10.3	8.6	6.9	8.6	27.6	17.2	1.7	17.2	20.7	39.7	6.9	3.4	
いずれもない	435	10.1	8.0	9.2	7.1	54.5	30.1	1.4	14.7	7.6	17.5	10.8	0.9	

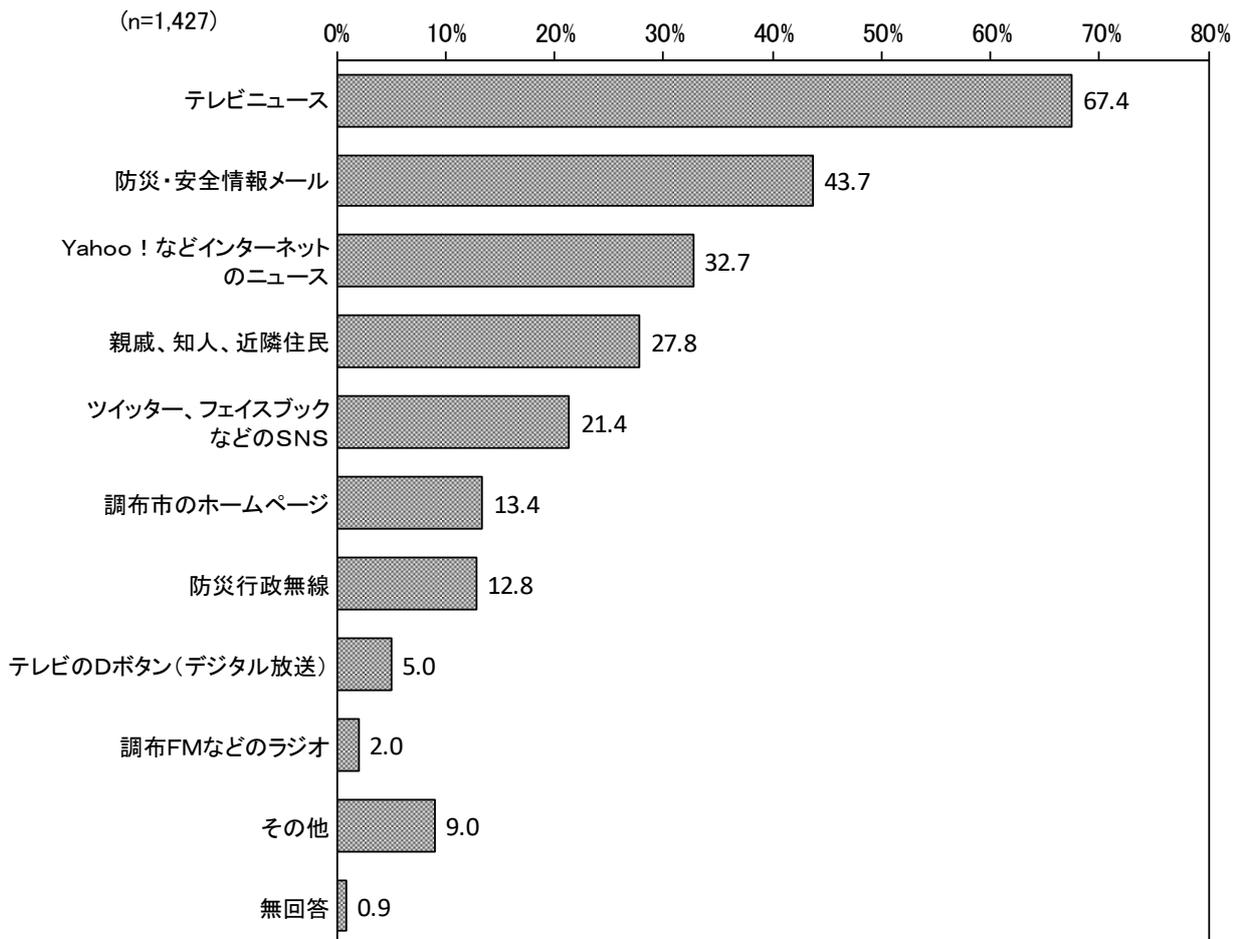
避難時の移動手段別にみると、10月11日20:27の「大雨・洪水注意報の発令」をきっかけに避難した人では、「バスやタクシーなどの公共交通機関」を使った人が他の移動手段を使った人より多くなっている。

		大雨・洪水注意報の発令 (10/11 20:27)	大雨警報の発令 (10/12 4:14)	洪水警報の発令 (10/12 6:32)	自主避難所の開設 (10/12 8:45)	避難勧告の発令 (10/12 15:18)	避難勧告のエリアメール	自宅の浸水	行政からの避難の呼びかけ	近隣住民などからの避難の呼びかけ	家族・親戚・知人からの呼びかけ	その他	無回答	(%)
全体	1,427	9.1	8.8	8.6	7.4	49.5	26.8	0.9	15.3	10.1	24.7	10.2	1.7	
徒歩	468	9.0	8.5	8.5	6.6	50.0	31.8	1.3	21.2	12.4	19.2	6.8	2.1	
バスやタクシーなどの公共交通機関	33	27.3	6.1	6.1	9.1	24.2	6.1	3.0	6.1	3.0	21.2	21.2	3.0	
親戚・知人の車	151	7.9	5.3	6.6	6.0	41.1	24.5	0.7	12.6	16.6	58.3	7.9	0.0	
自家用車	705	7.5	8.9	8.8	8.1	53.9	26.1	0.4	12.5	7.5	22.8	11.2	0.4	
バイク	3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	
その他	38	18.4	18.4	10.5	7.9	39.5	18.4	0.0	18.4	10.5	15.8	31.6	0.0	

(3) 台風 19 号の際の情報入手先

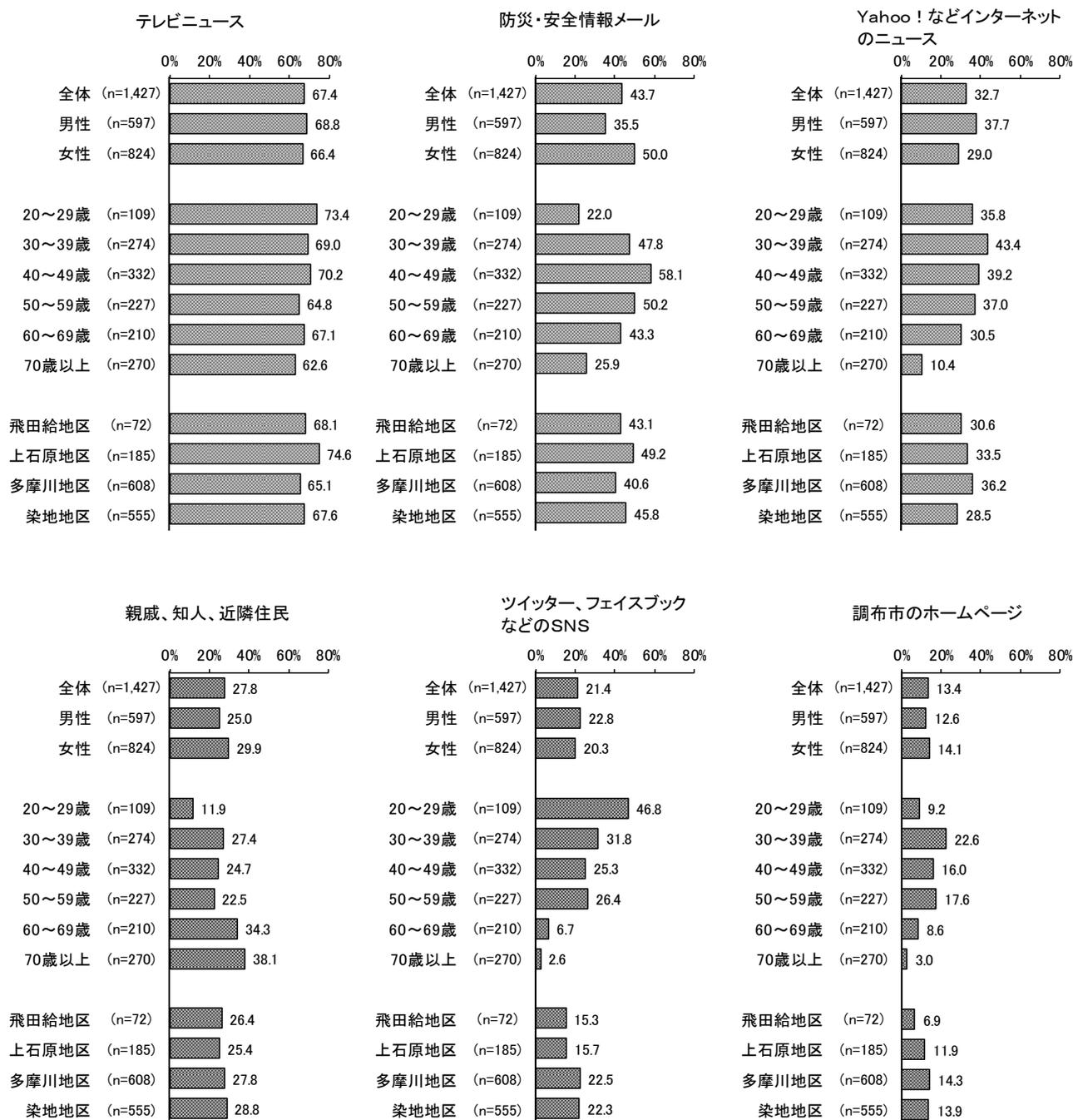
問 14 あなたは、台風 19 号の際に何から情報を得ましたか？（〇はいくつでも）

全体では、「テレビニュース」が 67.4%と最も高く、次いで、「防災・安全情報メール」が 43.7%、「Yahoo! などインターネットのニュース」が 32.7%、「親戚、知人、近隣住民」が 27.8%などと続いている。

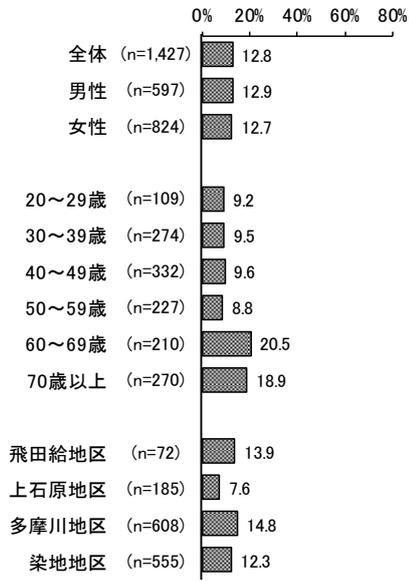


性別にみると、「防災・安全情報メール」は「男性」よりも「女性」の方が回答割合が高くなっている。

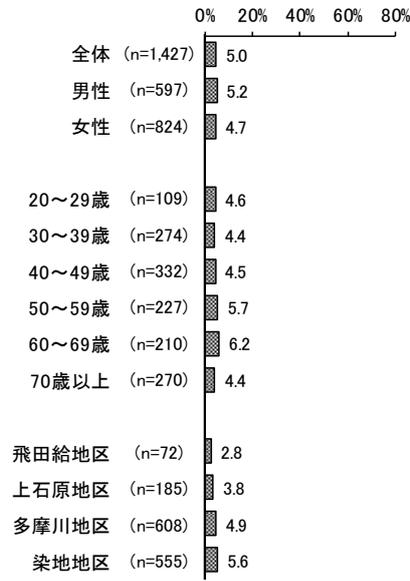
年代別にみると、「20～29歳」は「ツイッター、フェイスブックなどのSNS」で高く、「親戚、知人、近隣住民」では低くなっている。「30～39歳」は「Yahoo!などのインターネットのニュース」や「調布市のホームページ」が高くなっている。「40～49歳」は「防災・安全情報メール」が高くなっている。「70歳以上」は「Yahoo!などインターネットのニュース」や「ツイッター、フェイスブックなどのSNS」「調布市のホームページ」では低い、「親戚、知人、近隣住民」「防災行政無線」では他の年代と比べて高い。



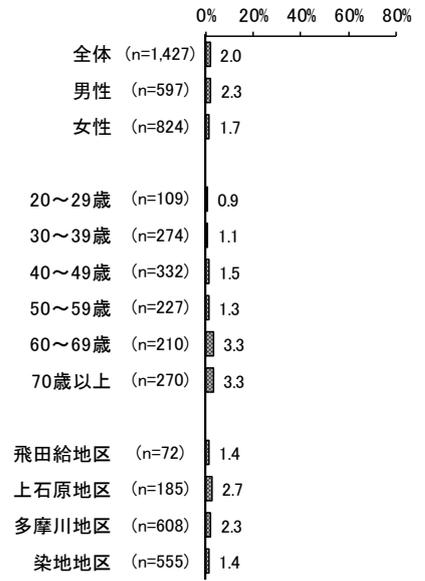
防災行政無線



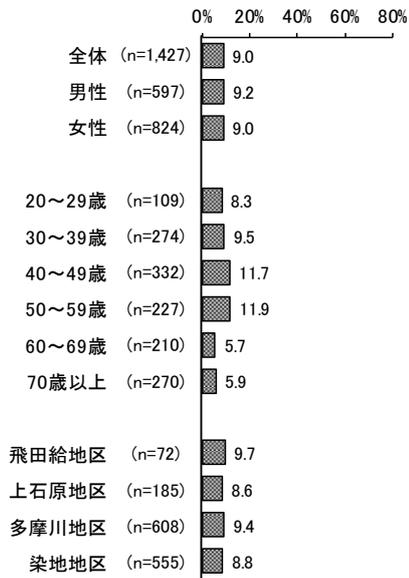
テレビのDボタン(デジタル放送)



調布FMなどのラジオ



その他



(4) 避難時の移動手段

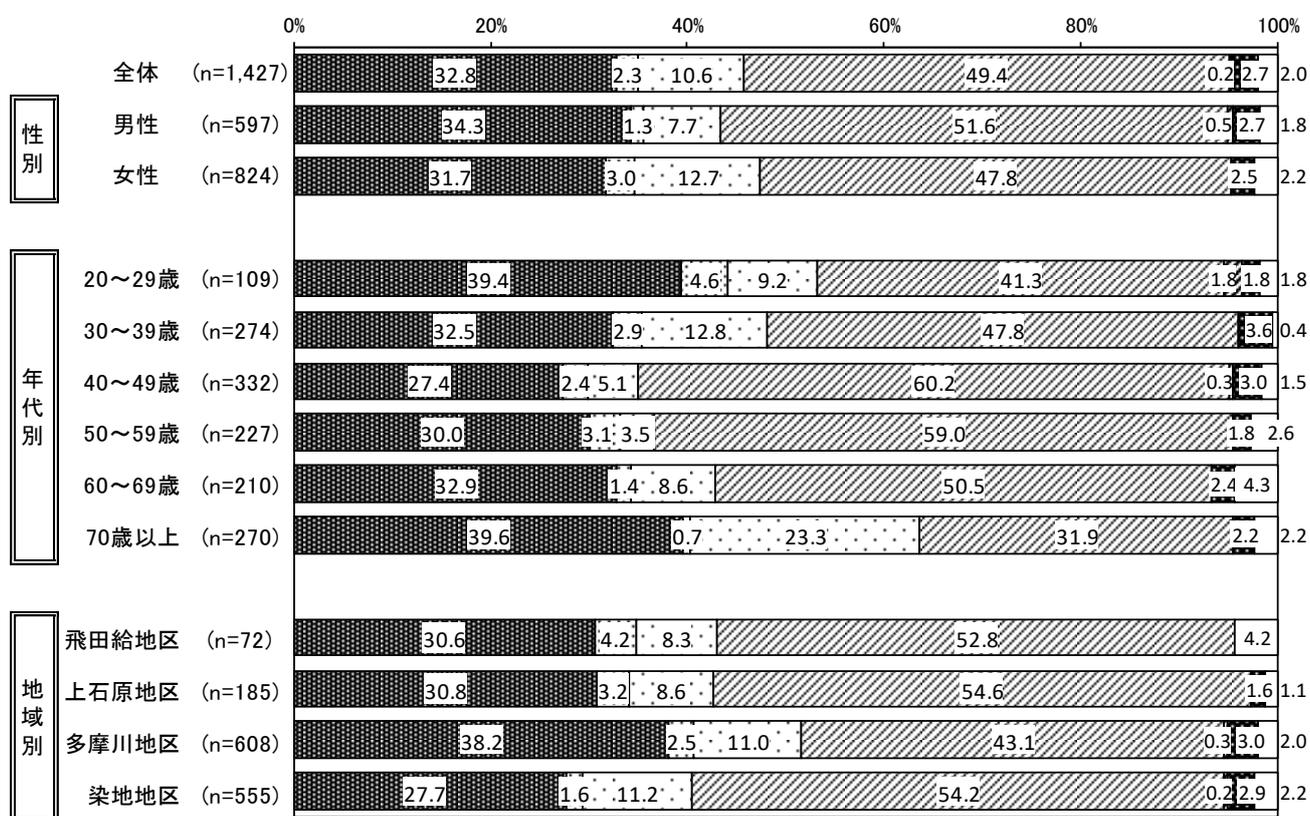
問 15 あなたが避難した際の手段をお知らせください。(○は1つ)

全体では、「自家用車」が49.4%と最も高く、次いで「徒歩」が32.8%、「親戚・知人の車」が10.6%などと続いている。

年代別でみると、「40～49歳」と「50～59歳」で「自家用車」が約6割と高くなっている。「70歳以上」は「親戚・知人の車」が約2割と他の年代に比べて高くなっている。

居住地域別にみると、「多摩川地区」では「自家用車」が43.1%と他地区と比べて低く、「徒歩」が高くなっている。

■徒歩 □バスやタクシーなどの公共交通機関 □親戚・知人の車 □自家用車 □バイク ■その他 □無回答



同居家族内の要配慮者有無別にみると、「3～5歳の子ども」「小・中学生の子ども」のいる世帯では「自家用車」の回答割合が6割台と高く、「75歳以上の高齢者」と「身体に障害があり、自力避難ができない方」では「自家用車」よりも「徒歩」の方が高くなっている。

		徒歩	バスやタクシーなどの公共交通機関	親戚・知人の車	自家用車	バイク	その他	無回答	(%)
全体	1,427	32.8	2.3	10.6	49.4	0.2	2.7	2.0	
0～2歳の子ども	139	28.1	2.9	10.8	55.4	0.0	1.4	1.4	
3～5歳の子ども	196	25.0	2.6	8.7	61.7	0.0	2.0	0.0	
小・中学生の子ども	341	24.6	1.8	6.2	62.8	0.3	3.5	0.9	
65～74歳の高齢者	176	30.7	0.6	10.2	54.5	0.0	1.7	2.3	
75歳以上の高齢者	177	39.0	0.6	16.9	37.9	0.0	2.8	2.8	
身体に障害があり、自力避難ができない方	58	39.7	3.4	25.9	31.0	0.0	0.0	0.0	
いずれもない	435	36.1	3.9	7.4	46.9	0.5	2.8	2.5	

避難先別にみると、「避難所」へ避難した人は「徒歩」の回答割合が高く、「親戚・知人宅」に避難した人は「自家用車」が高くなっている。

		徒歩	バスやタクシーなどの公共交通機関	親戚・知人の車	自家用車	バイク	その他	無回答	(%)
全体	1,427	32.8	2.3	10.6	49.4	0.2	2.7	2.0	
親戚・知人宅	630	15.9	3.8	16.2	61.9	0.2	1.6	0.5	
ホテルなどの宿泊施設	13	0.0	0.0	23.1	69.2	0.0	0.0	7.7	
避難所	516	52.1	1.0	7.2	38.0	0.2	1.2	0.4	
その他	151	15.9	2.0	5.3	70.9	0.7	3.3	2.0	

台風19号の際の被害状況別にみると、床下・床上浸水の被害を受けた人は「自家用車」の回答割合が高くなっている。

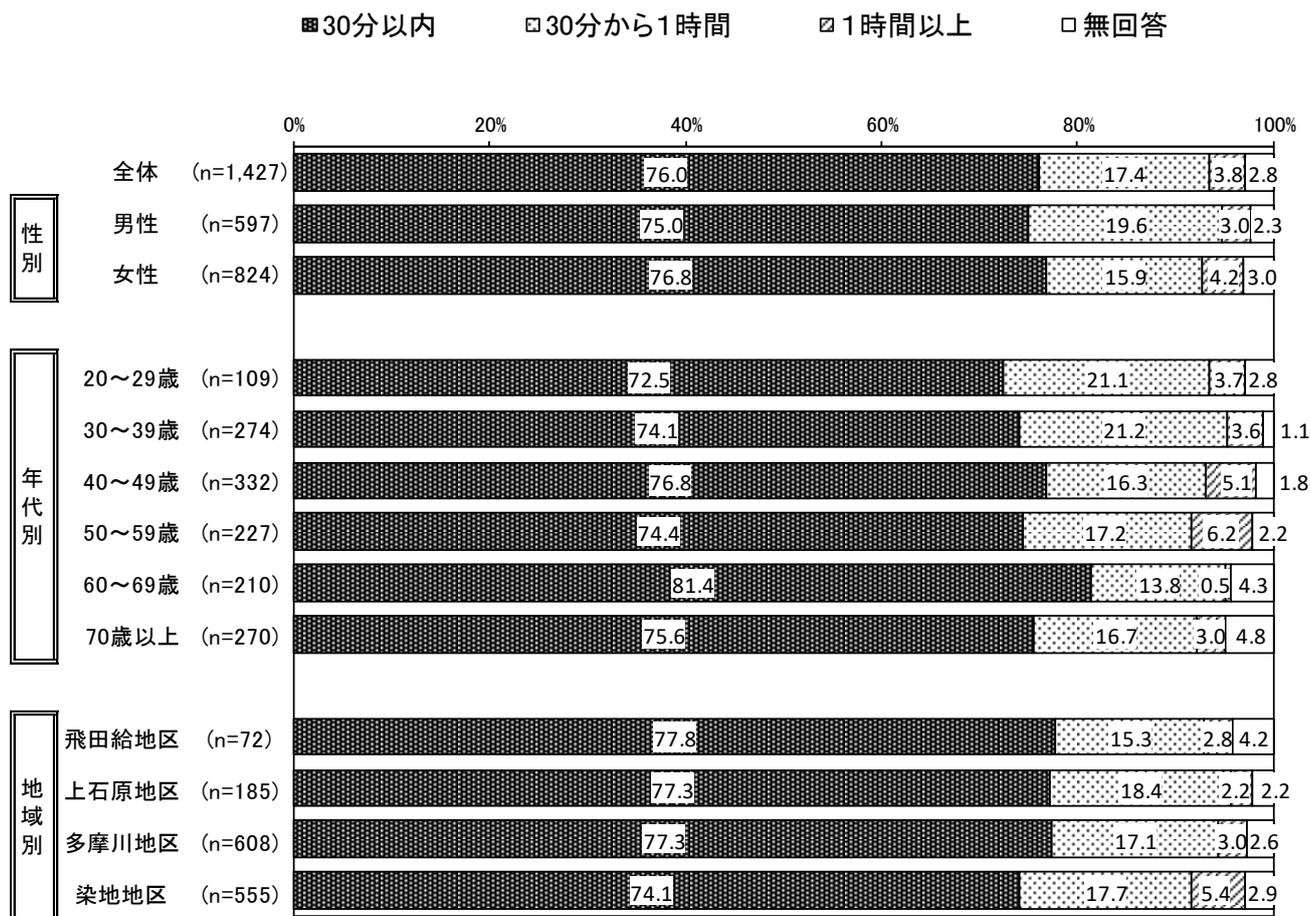
		徒歩	バスやタクシーなどの公共交通機関	親戚・知人の車	自家用車	バイク	その他	無回答	(%)
全体	1,427	32.8	2.3	10.6	49.4	0.2	2.7	2.0	
床下・床上浸水の被害を受けた	68	25.0	2.9	10.3	54.4	0.0	2.9	4.4	
浸水により車両が被害を受けた	23	30.4	0.0	13.0	39.1	0.0	8.7	8.7	
浸水の被害は受けていない	1,335	33.3	2.2	10.6	49.2	0.2	2.5	1.9	

(5) 自宅から避難先までの所要時間

問 16 あなたが避難した際に要した時間はどのくらいですか？（自宅から避難先まで）
（○は1つ）

全体では、「30分以内」が76.0%と最も高い。

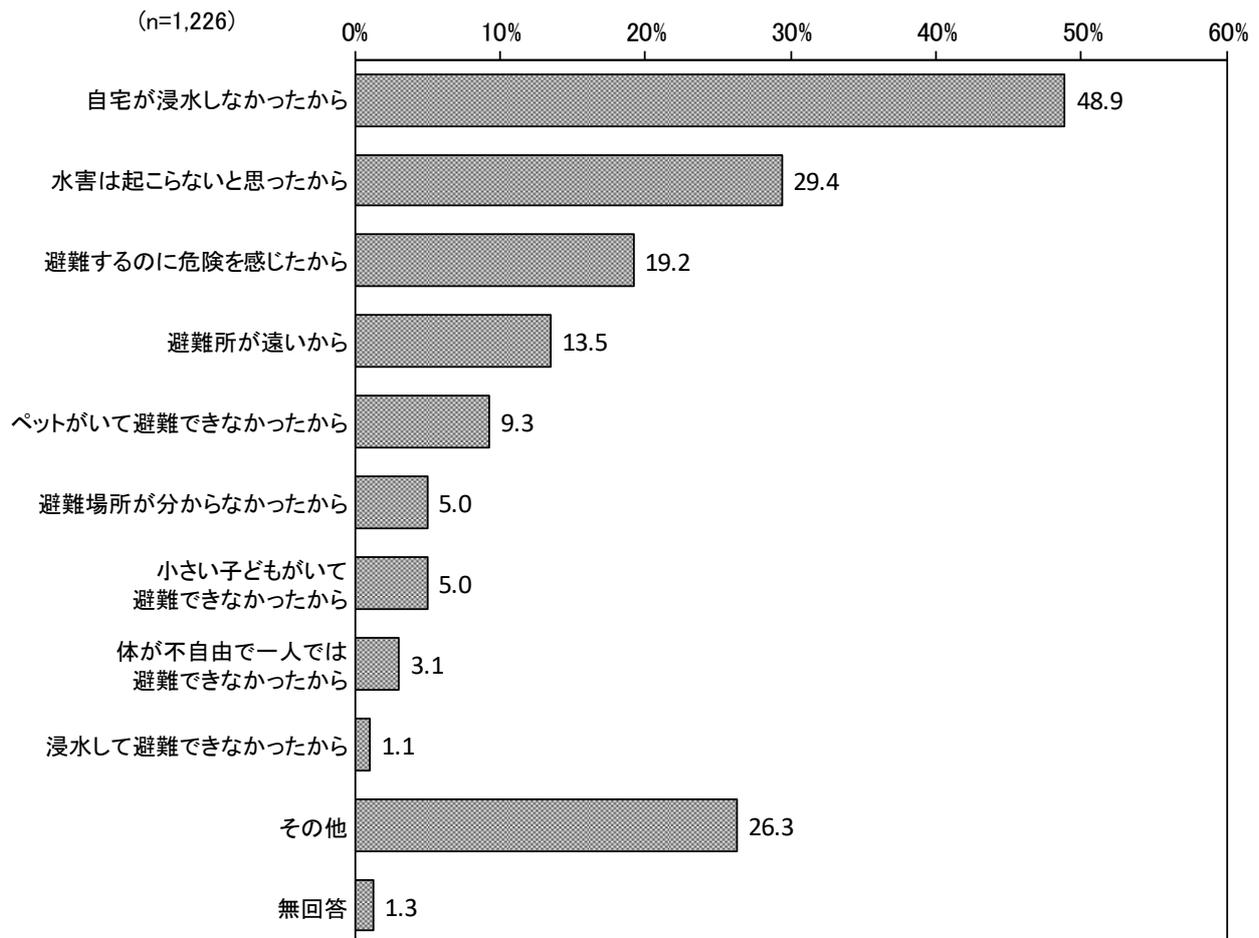
性別・年代別・居住地域別にみると、60～69歳で「30分以内」の割合がやや高くなっているものの、傾向に大きな違いはみられない。



(6) 避難しなかった理由

問 17 あなたが避難しなかった理由をお知らせください。(〇はいくつでも)

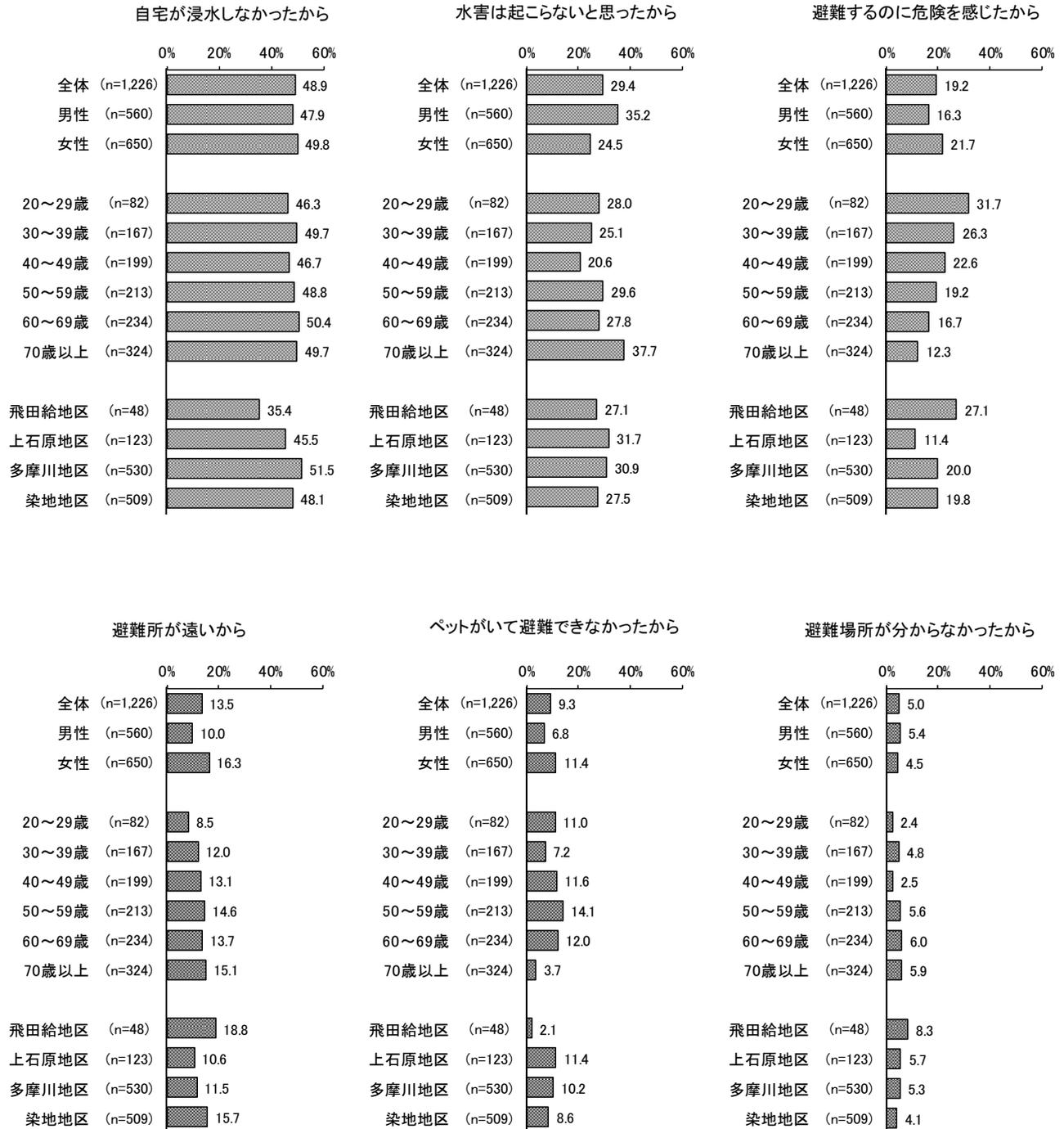
全体では、「自宅が浸水しなかったから」が48.9%と最も高く、次いで「水害は起こらないと思ったから」が29.4%、「避難するのに危険を感じたから」が19.2%などと続いている。



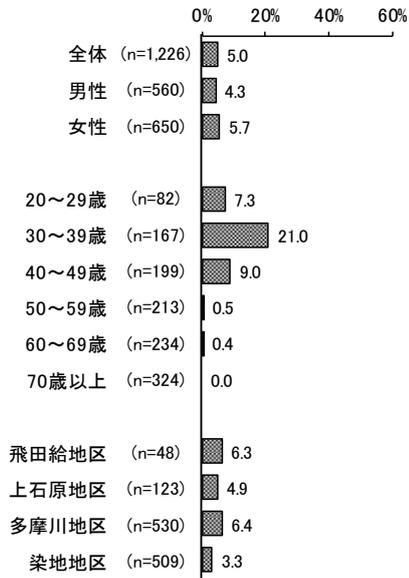
性別でみると、「水害は起こらないと思ったから」は「男性」の方が高くなっている。

年代別にみると、「水害は起こらないと思ったから」と「体が不自由で一人では避難できなかったから」は「70歳以上」で高く、「避難するのに危険を感じたから」は年齢が上がるほど低くなっている。また、「小さい子どもがいて避難できなかったから」は「30～39歳」で高い。

居住地域別にみると、「自宅が浸水しなかったから」は「多摩川地区」で最も高く、「避難するのに危険を感じたから」は「飛田給地区」で高くなっている。



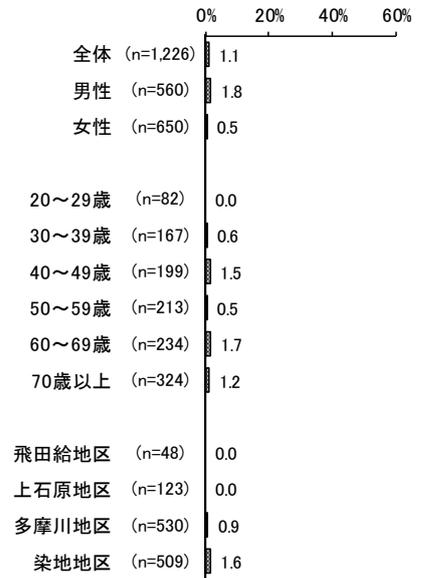
小さい子どもがいて避難できなかったから



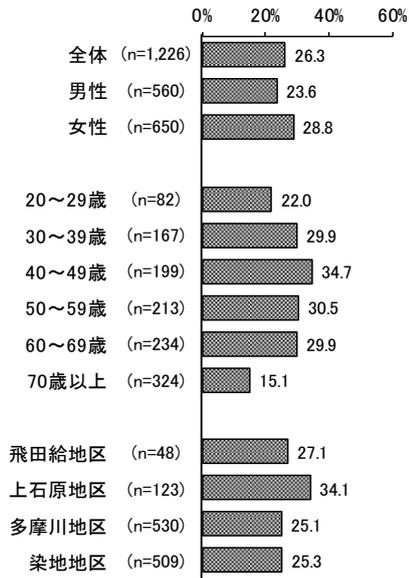
体が不自由で一人では避難できなかったから



浸水して避難できなかったから



その他



住居形態別にみると、集合住宅の2階以上に住んでいる人は、「自宅が浸水しなかったから」の割合が5割台と高くなっている。

		自宅が 浸水しな かったか ら	水害は 起こらな いと思っ たから	避難する のに危 険を感じ たから	避難所 が遠い から	ペットが いて避難 できな かったか ら	避難場 所が分 からな かったか ら	小さい子 どもが いて避難 できな かったか ら	体が不 自由で 一人 では避難 できな かったか ら	浸水して 避難でき なかつた から	その他	無回答	(%)
全体	1,226	48.9	29.4	19.2	13.5	9.3	5.0	5.0	3.1	1.1	26.3	1.3	
一戸建て(平屋)	10	30.0	0.0	10.0	20.0	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	40.0	0.0	
一戸建て(2階建て)	255	40.0	36.9	12.9	14.1	11.8	5.1	4.3	4.3	0.8	29.0	1.2	
一戸建て(3階建て以上)	39	41.0	17.9	10.3	15.4	17.9	7.7	5.1	2.6	0.0	46.2	0.0	
集合住宅の1階	195	41.0	31.8	17.4	12.3	8.2	6.2	4.1	5.6	0.5	24.6	2.1	
集合住宅の2階	365	52.1	24.9	25.5	15.1	10.1	5.5	5.8	3.0	1.6	24.1	1.4	
集合住宅の3階以上	352	57.7	28.7	19.9	11.9	6.3	3.4	5.1	0.9	1.1	25.0	1.1	

被害状況別にみた結果は以下の通り。

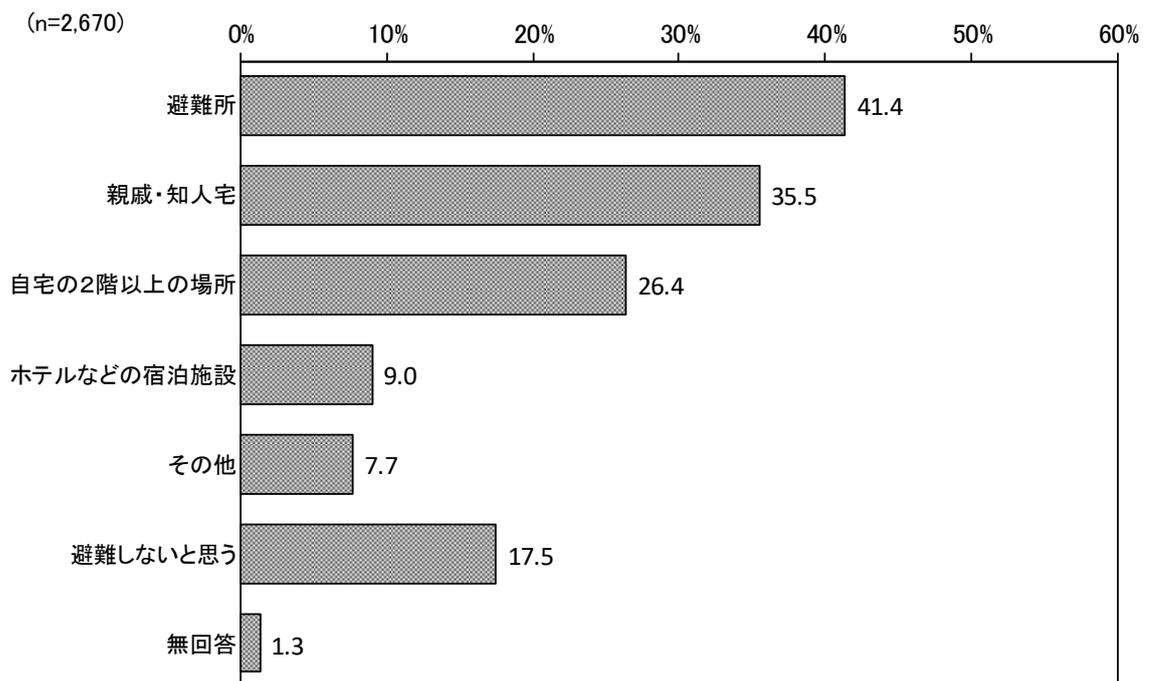
		自宅が 浸水しな かったか ら	水害は 起こらな いと思っ たから	避難する のに危 険を感じ たから	避難所 が遠い から	ペットが いて避難 できな かったか ら	避難場 所が分 からな かったか ら	小さい子 どもが いて避難 できな かったか ら	体が不 自由で 一人 では避難 できな かったか ら	浸水して 避難でき なかつた から	その他	無回答	(%)
全体	1,226	48.9	29.4	19.2	13.5	9.3	5.0	5.0	3.1	1.1	26.3	1.3	
床下・床上浸水の被害を受けた	27	22.2	18.5	37.0	14.8	37.0	3.7	3.7	3.7	18.5	25.9	0.0	
浸水により車両が被害を受けた	18	33.3	22.2	27.8	16.7	16.7	11.1	0.0	0.0	11.1	38.9	0.0	
浸水の被害は受けていない	1,166	49.6	29.8	19.1	13.4	8.8	5.0	5.1	3.0	0.7	26.1	1.2	

4. 今後の避難行動について

(1) 今後の風水害の際の避難先

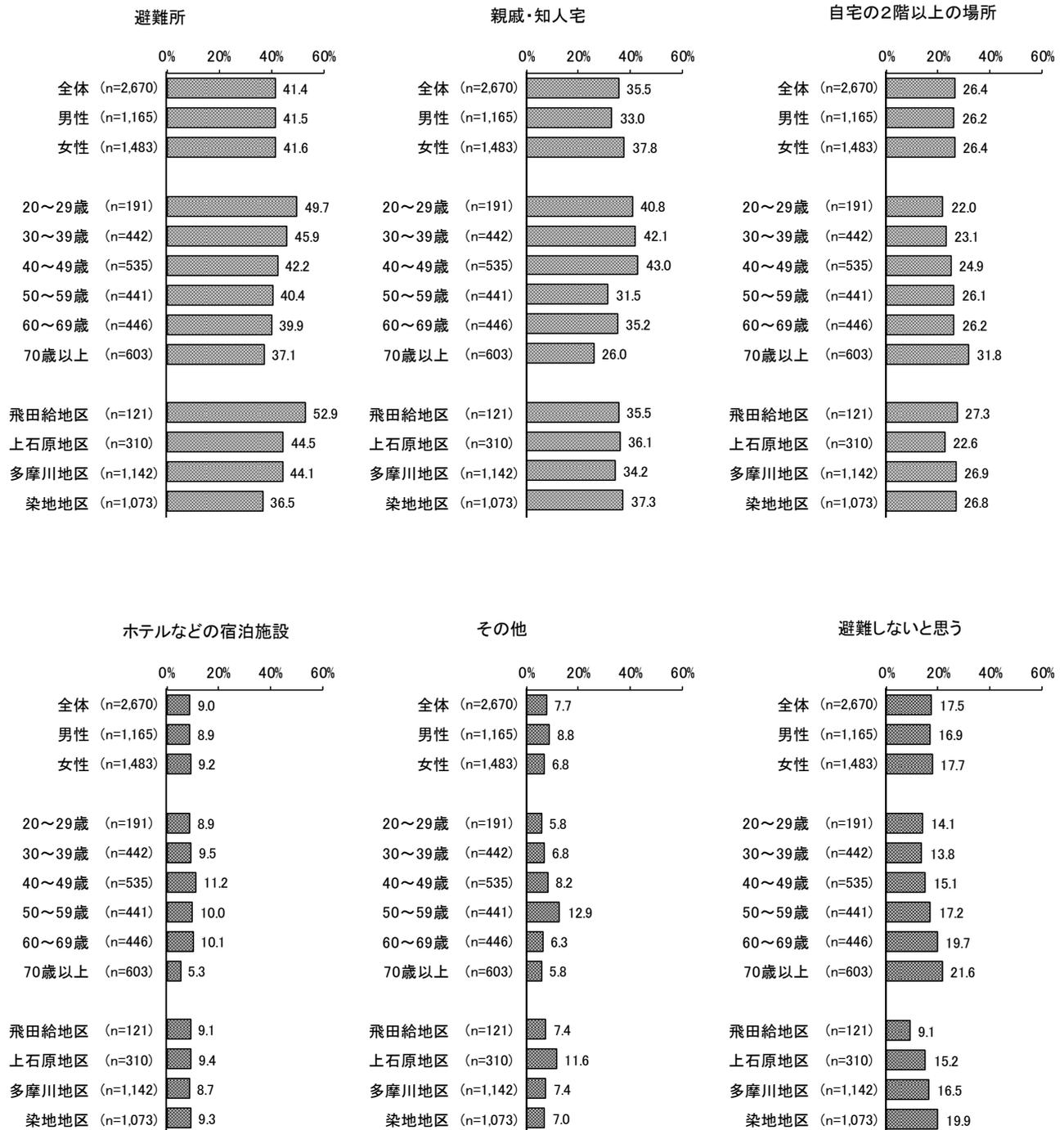
問 18 あなたは、今後、風水害の際にどちらに避難しようと考えていますか？
(〇はいくつでも)

全体で見ると、「避難所」が41.4%と最も高く、次いで「親戚・知人宅」が35.5%、「自宅の2階以上の場所」が26.4%などと続いている。



年代別にみると、「避難所」の回答割合は年代が上がるほど低くなっている。「親戚・知人宅」は40代以下の年代と比べ、50代以上の年代はやや低い。また、「自宅の2階以上の場所」「避難しないと思う」は概ね年代が上がるほど高くなっている。

居住地域別にみると、「避難所」は「飛田給地区」で最も高く、「避難しないと思う」は「染地地区」で他と比べてやや高くなっている。



台風19号による浸水被害の状況別にみると、「床下・床上浸水の被害を受けた」人は「親戚・知人宅」でやや高く、「避難しないと思う」ではやや低くなっている。

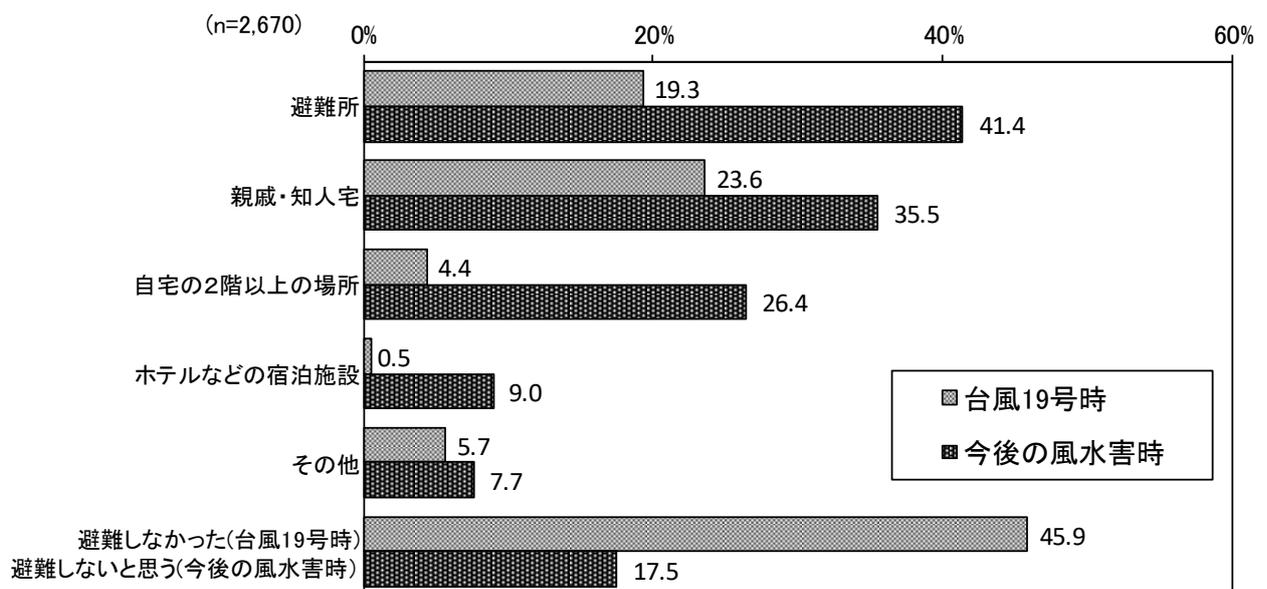
		避難所	親戚・知人宅	自宅の2階以上の場所	ホテルなどの宿泊施設	その他	避難しないと思う	無回答	(%)
全体	2,670	41.4	35.5	26.4	9.0	7.7	17.5	1.3	
床下・床上浸水の被害を受けた	95	34.7	49.5	30.5	12.6	3.2	15.8	0.0	
浸水により車両が被害を受けた	41	31.7	39.0	29.3	14.6	0.0	29.3	0.0	
浸水の被害は受けていない	2,513	41.8	35.3	26.2	8.9	7.8	17.4	1.3	

「自宅の2階以上の場所」と回答した人について、住居形態別にみると、「一戸建て（2階建て）」がほぼ半数となっている。

		一戸建て（平屋）	一戸建て（2階建て）	一戸建て（3階建て以上）	集合住宅の1階	集合住宅の2階	集合住宅の3階以上	無回答	(%)
自宅の2階以上の場所	705	1.3	49.6	7.9	10.5	18.3	11.1	1.3	

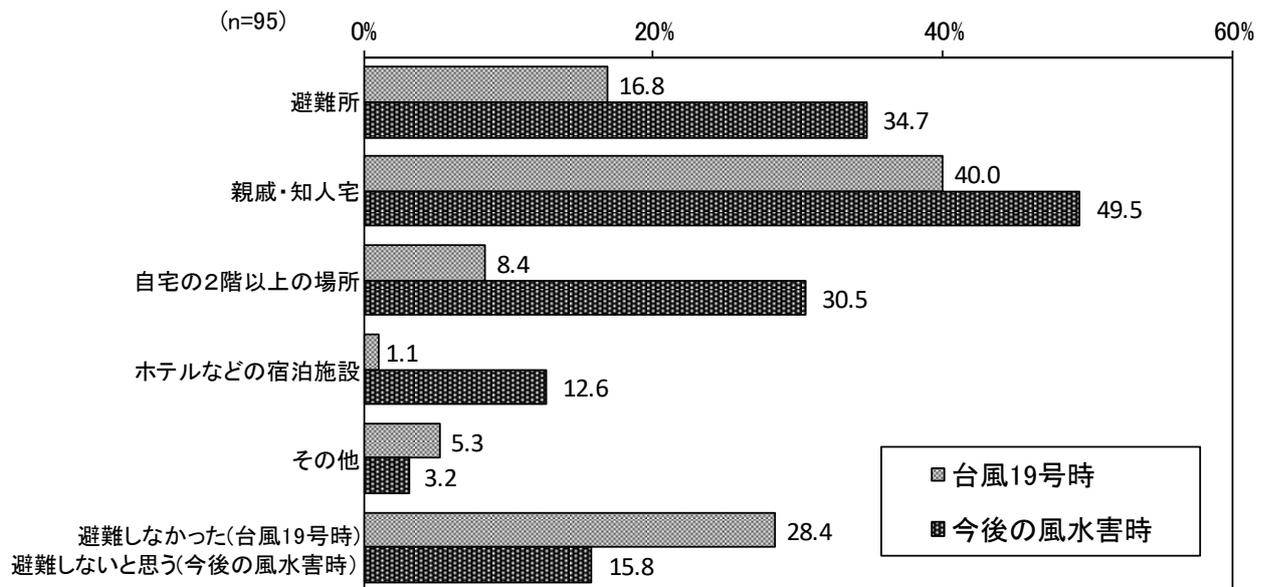
台風19号時の避難先（問12）と今後の風水害時に避難しようと思っている場所を比較した結果は以下の通り。

台風19号時についての設問（問12）は単一選択、本設問は複数選択であるため単純に比較はできないものの、いずれの場所についても回答割合が上昇しており、特に「自宅の2階以上の場所」と「ホテルなどの宿泊施設」の上昇率が高い。また、「避難しないと思う」については、台風19号の際に「避難しなかった」と回答した割合と比較し、28.4ポイント低くなっている。



台風19号の際に床下・床上浸水の被害を受けた人について、台風19号時の避難先（問12）と今後の風水害時に避難しようと思っている場所を比較した結果についても同様に、いずれの場所についても回答割合が上昇しており、特に「自宅の2階以上の場所」と「ホテルなどの宿泊施設」の上昇率が高い。

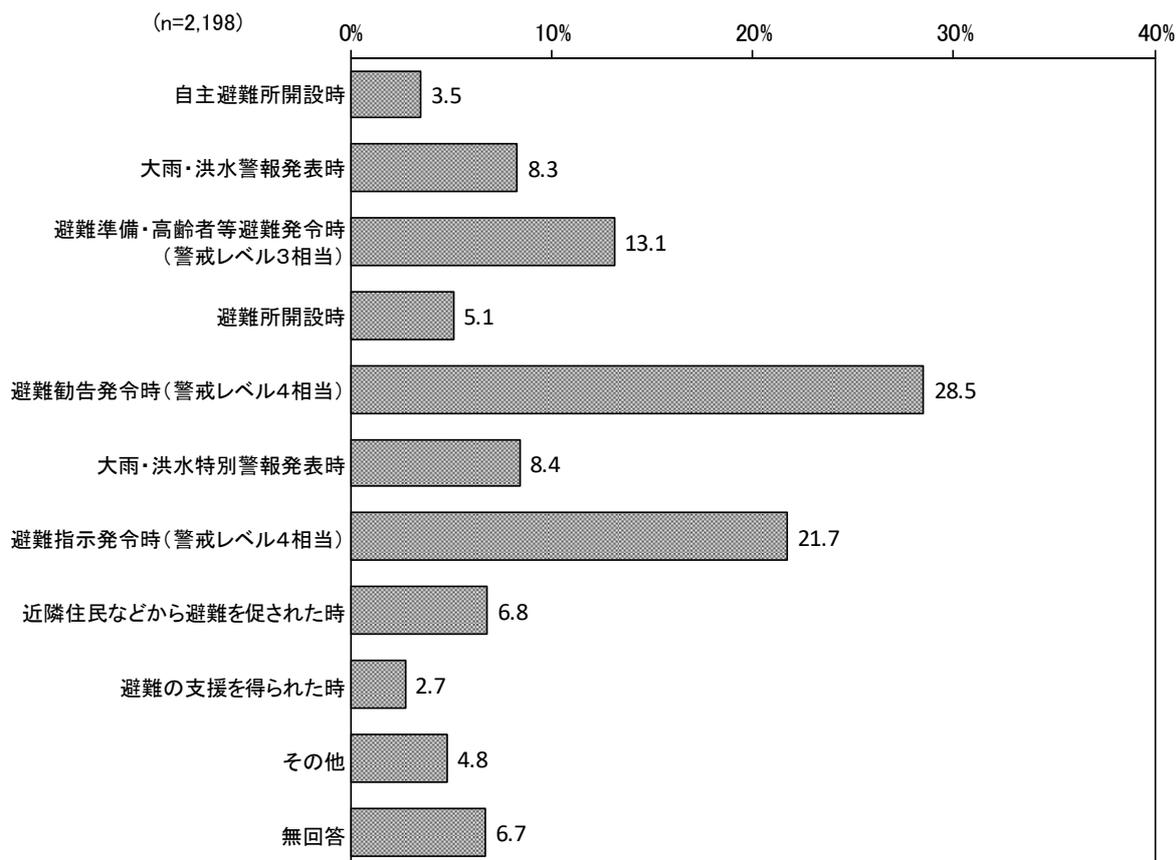
一方、回答割合は低くなったものの、15.8%が今後の風水害時に「避難しないと思う」と回答している。



(2) 今後の風水害の際の避難のタイミング

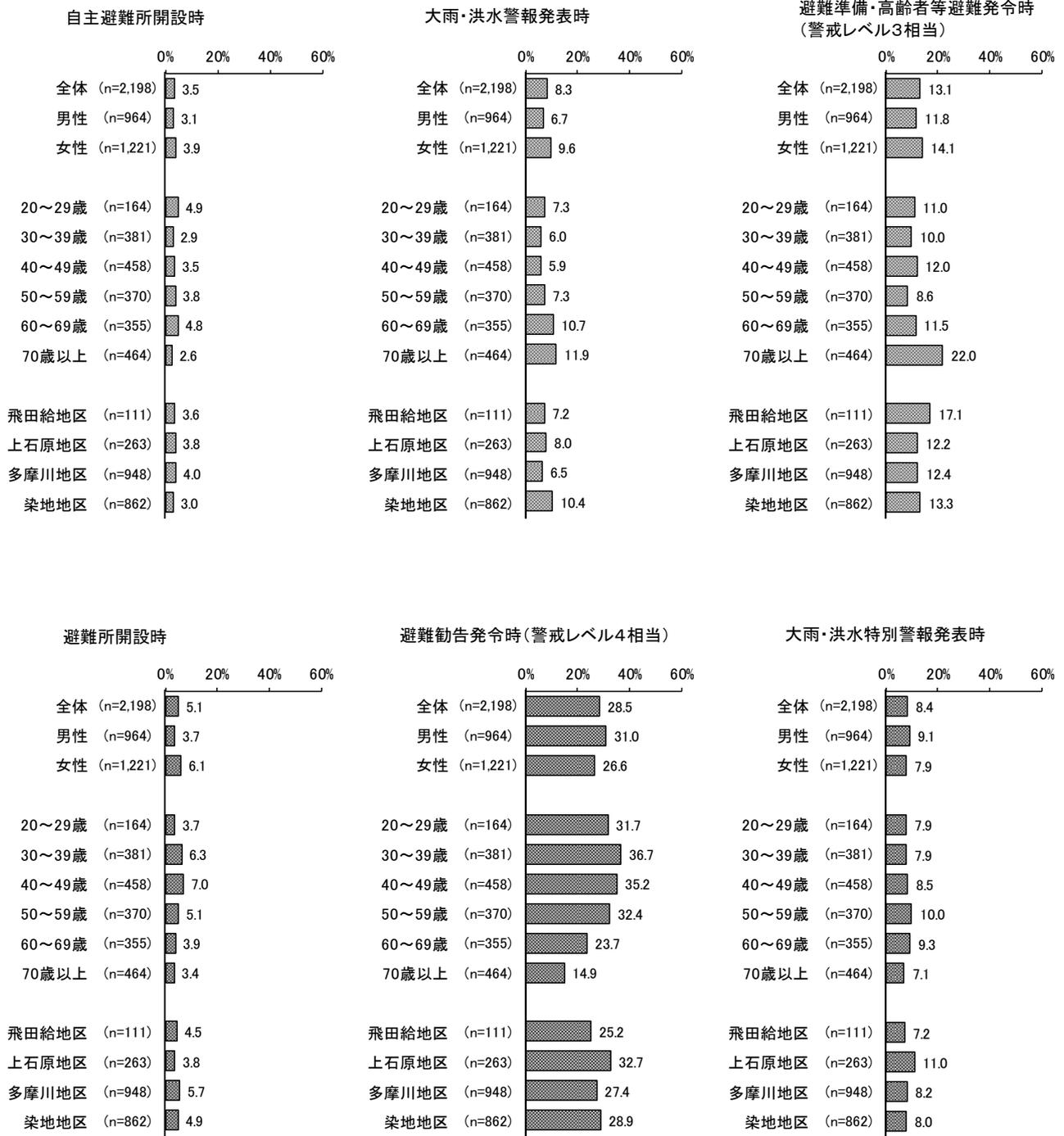
問 19 あなたは、今後、風水害の際に、どの時点で避難しようと考えていますか？
以下の中から1つだけお選びください。(○は1つ)

全体では、「避難勧告発令時(警戒レベル4相当)」が28.5%と最も高く、次いで「避難指示発令時(警戒レベル4相当)」が21.7%、「避難準備・高齢者等避難発令時(警戒レベル3相当)」が13.1%などと続いている。

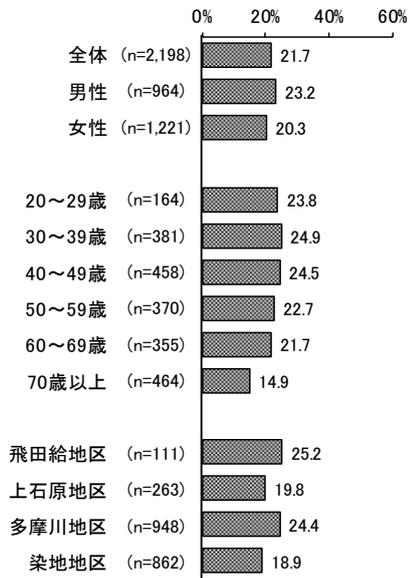


※本設問では複数の項目を選択された方が多数いたため、複数回答として取り扱っている。

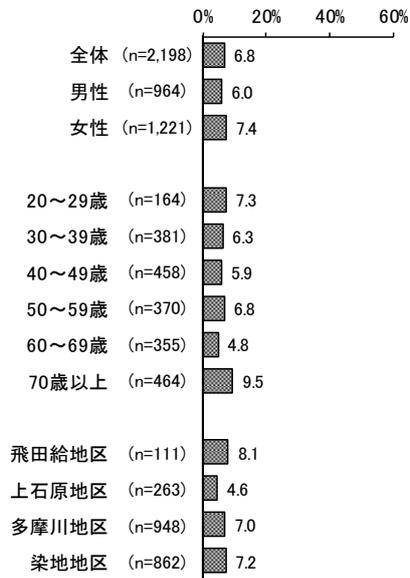
年代別にみると、「70歳以上」は「避難勧告発令時（警戒レベル4相当）」と「避難指示発令時（警戒4レベル相当）」では低く、「避難準備・高齢者等避難発令時（警戒レベル3相当）」では高くなっている。



避難指示発令時(警戒レベル4相当)



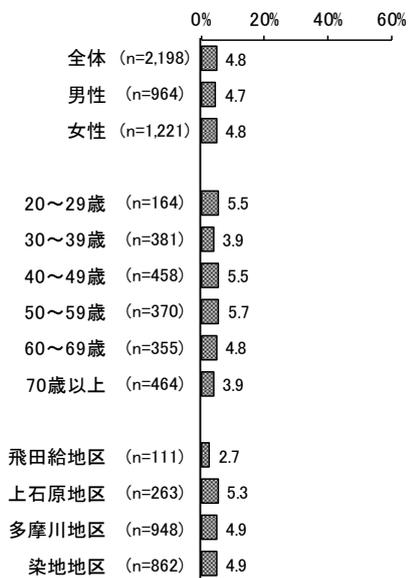
近隣住民などから避難を促された時



避難の支援を得られた時



その他



同居家族内の要配慮者有無別にみると、「3～5歳の子ども」のいる世帯は「避難勧告発令時（警戒レベル4相当）」の回答割合が高く、「75歳以上の高齢者」がいる世帯では「大雨・洪水警報発表時」や「避難準備・高齢者等避難発令時（警戒レベル3相当）」で高くなっている。また、「身体に障害があり、自力で避難ができない方」のいる世帯では「避難の支援を得られた時」が高い。

		自主避難所開設時	大雨・洪水警報発表時	避難準備・高齢者等避難発令時(警戒レベル3相当)	避難所開設時	避難勧告発令時(警戒レベル4相当)	大雨・洪水特別警報発表時	避難指示発令時(警戒レベル4相当)	近隣住民などから避難を促された時	避難の支援を得られた時	その他	無回答	(%)
全体	2,198	3.5	8.3	13.1	5.1	28.5	8.4	21.7	6.8	2.7	4.8	6.7	
0～2歳の子ども	191	3.1	5.8	16.2	6.3	35.6	5.8	18.3	7.9	3.1	4.7	1.6	
3～5歳の子ども	251	4.8	5.2	12.4	8.8	40.6	8.4	17.1	4.4	1.2	3.6	2.8	
小・中学生の子ども	436	4.1	6.0	10.6	8.3	32.8	8.5	25.2	6.2	1.6	5.7	2.8	
65～74歳の高齢者	294	3.7	8.5	14.3	3.7	28.2	9.9	20.1	5.8	2.7	6.5	7.5	
75歳以上の高齢者	290	3.1	10.0	23.8	4.1	20.7	6.9	14.8	8.3	3.8	3.4	10.0	
身体に障害があり、自力避難ができない方	111	3.6	8.1	19.8	4.5	19.8	8.1	11.7	6.3	14.4	4.5	13.5	
いずれもない	715	3.2	7.8	7.3	4.2	30.2	9.9	27.1	6.2	2.0	4.8	6.2	

今後の避難の際の移動手段別にみると、「自家用車」は「避難勧告発令時（警戒レベル4相当）」で高く、「バスやタクシーなどの公共交通機関」は「避難準備・高齢者等避難発令時（警戒レベル3相当）」で高くなっている。

		自主避難所開設時	大雨・洪水警報発表時	避難準備・高齢者等避難発令時(警戒レベル3相当)	避難所開設時	避難勧告発令時(警戒レベル4相当)	大雨・洪水特別警報発表時	避難指示発令時(警戒レベル4相当)	近隣住民などから避難を促された時	避難の支援を得られた時	その他	無回答	(%)
全体	2,198	3.5	8.3	13.1	5.1	28.5	8.4	21.7	6.8	2.7	4.8	6.7	
徒歩	938	3.9	6.9	11.5	5.0	25.2	8.5	23.9	9.0	2.8	3.7	7.4	
バスやタクシーなどの公共交通機関	92	3.3	10.9	30.4	2.2	13.0	7.6	12.0	3.3	5.4	10.9	5.4	
親戚・知人の車	104	2.9	18.3	19.2	1.9	16.3	5.8	19.2	10.6	12.5	2.9	1.9	
自家用車	904	3.7	8.5	13.4	5.8	36.8	9.0	21.1	4.6	1.3	4.9	1.7	
バイク	6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	
その他	91	2.2	11.0	11.0	8.8	27.5	8.8	29.7	11.0	4.4	13.2	3.3	

(3) 今後の避難の際の移動手段

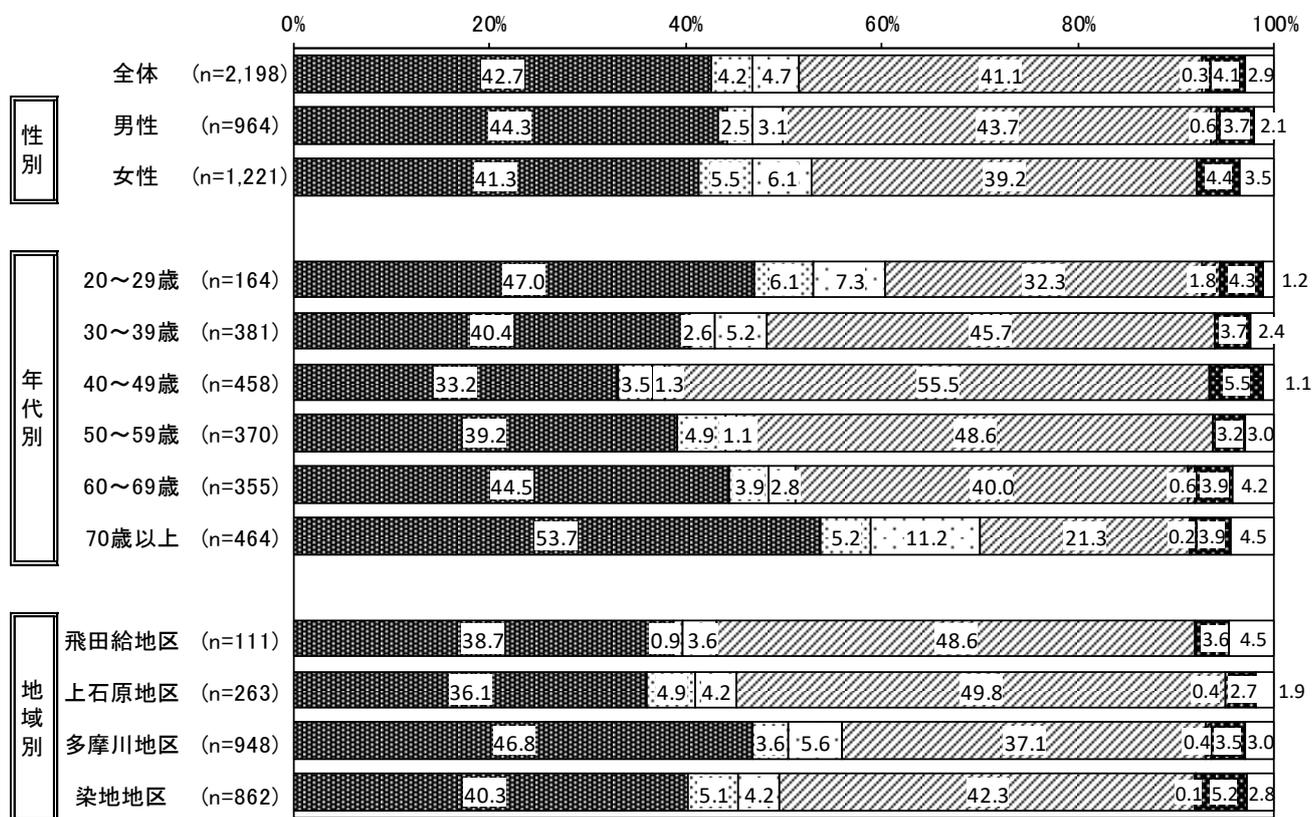
問 20 今後、避難する際には、どのような手段を考えていますか？（○は1つ）

全体では、「徒歩」が42.7%と最も高く、次いで「自家用車」が41.1%、「親戚・知人の車」が4.7%などと続いている。

年代別にみると、「20～29歳」「60～69歳」「70歳以上」では「徒歩」が最も高く、「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」では「自家用車」の方が高くなっている。

居住地域別でみると、「多摩川地区」では他地区よりも「徒歩」の回答割合が高い。

■徒歩 □バスやタクシーなどの公共交通機関 □親戚・知人の車 □自家用車 □バイク ■その他 □無回答



同居家族内の要配慮者有無別にみると、「徒歩」は高齢者や「身体に障害があり、自力避難ができない方」のいる世帯で高く、「自家用車」は子どものいる世帯で高くなっている。

		徒歩	バスやタクシーなどの公共交通機関	親戚・知人の車	自家用車	バイク	その他	無回答	(%)
全体	2,198	42.7	4.2	4.7	41.1	0.3	4.1	2.9	
0～2歳の子ども	191	33.0	3.7	6.3	52.9	0.0	3.7	0.5	
3～5歳の子ども	251	27.1	3.6	3.2	59.8	0.0	4.4	2.0	
小・中学生の子ども	436	27.1	2.8	2.3	61.0	0.0	5.3	1.6	
65～74歳の高齢者	294	44.6	2.0	3.1	41.2	0.7	4.1	4.4	
75歳以上の高齢者	290	49.3	6.2	8.6	29.7	0.0	3.1	3.1	
身体に障害があり、自力避難ができない方	111	42.3	8.1	12.6	27.9	0.0	5.4	3.6	
いずれもない	715	46.9	4.9	3.1	38.2	0.6	3.2	3.2	

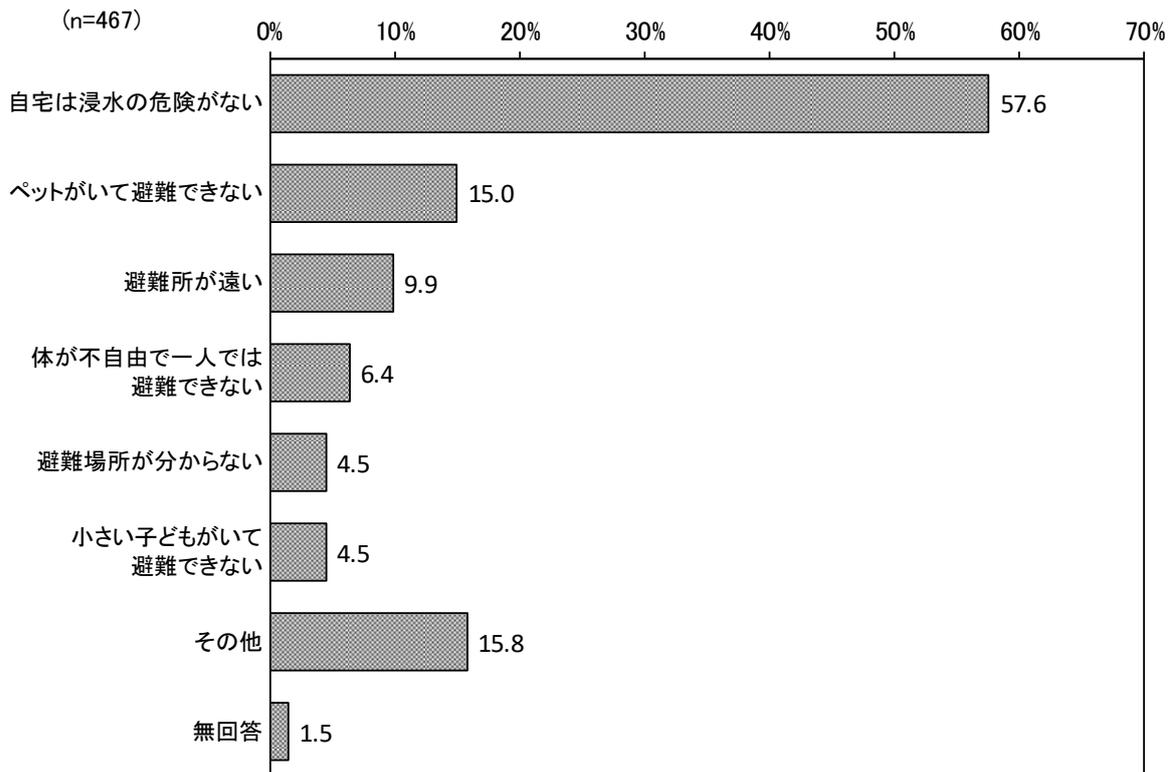
避難先別にみると、「避難所」へ避難しようと考えている人は「徒歩」の回答割合が高くなっている。

		徒歩	バスやタクシーなどの公共交通機関	親戚・知人の車	自家用車	バイク	その他	無回答	(%)
全体	2,198	42.7	4.2	4.7	41.1	0.3	4.1	2.9	
親戚・知人宅	949	26.1	6.4	9.0	52.3	0.1	5.5	0.6	
ホテルなどの宿泊施設	240	27.1	8.3	2.5	54.6	0.8	5.4	1.3	
避難所	1,105	50.3	3.0	3.3	34.8	0.3	4.3	4.0	
その他	205	27.8	2.9	1.5	59.0	1.0	5.4	2.4	

(4) 今後、避難しないと考えている理由

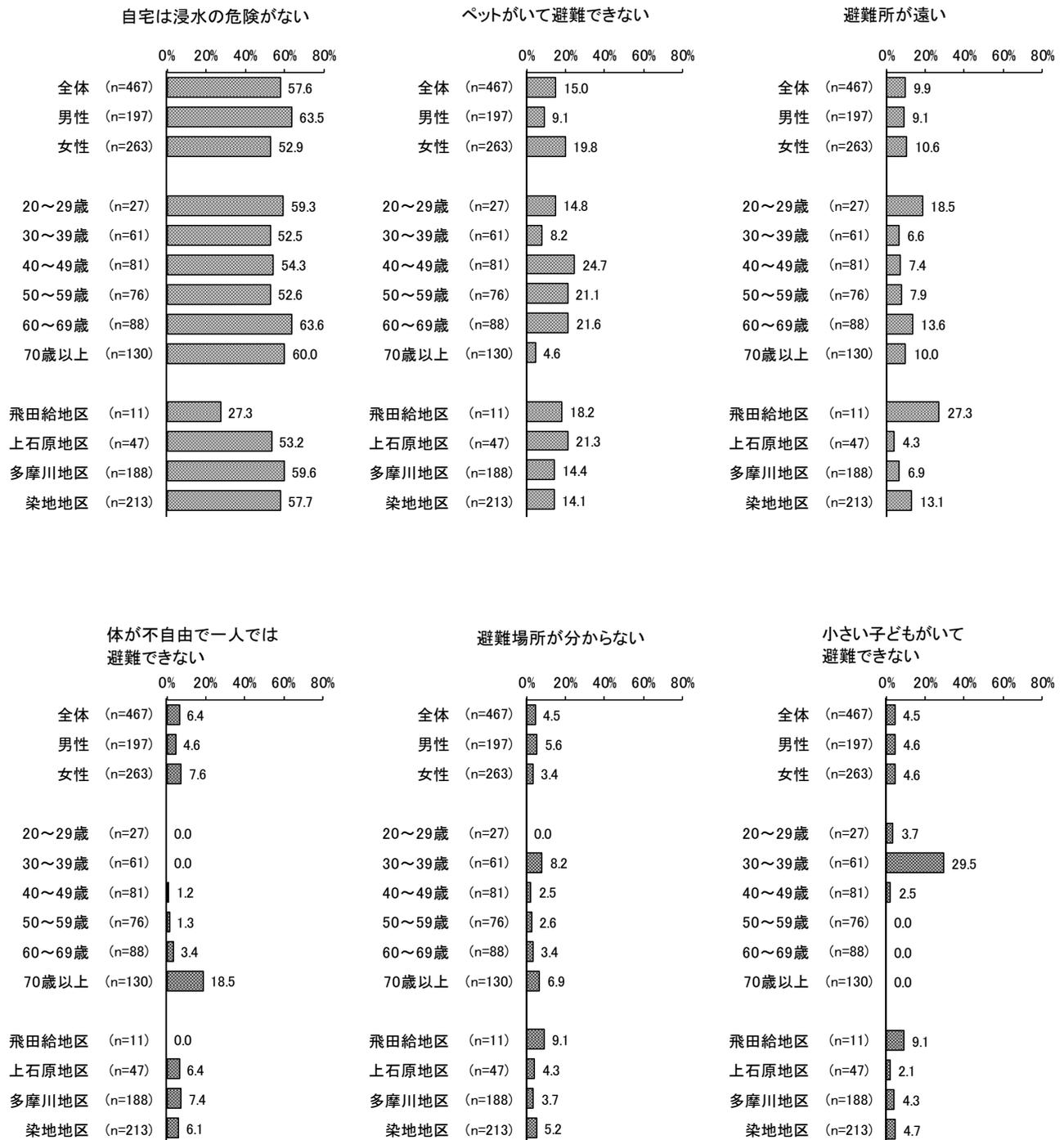
問 21 あなたが、今後、「避難しない」とお考えの理由をお知らせください。(〇はいくつでも)

全体では、「自宅は浸水の危険がない」が 57.6%と最も高く、次いで「ペットがいて避難できない」が 15.0%、「避難所が遠い」が 9.9%などと続いている。

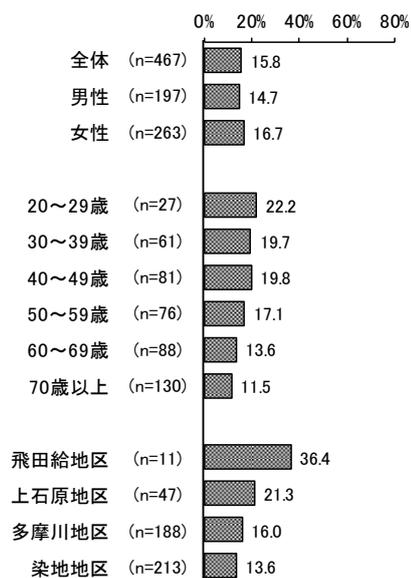


性別でみると、「自宅は浸水の危険がない」の回答割合は「男性」の方が高く、「ペットがいて避難できない」は「女性」の方が高い。

年代別にみると、「避難所が遠い」は「20～29歳」で高く、「小さい子どもがいて避難できない」は「30～39歳」で高い。また、「体が不自由で一人では避難できない」は「70歳以上」で高くなっている。



その他



住居形態別にみると、集合住宅の2階以上に住んでいる人は、「自宅は浸水の危険がない」の回答割合が高く、「集合住宅の3階以上」では76.7%と特に高くなっている。

	自宅は浸水の危険がない	ペットがいて避難できない	避難所が遠い	体が不自由で一人では避難できない	避難場所が分からない	小さい子どもがいて避難できない	その他	無回答	(%)
全体	467	57.6	15.0	9.9	6.4	4.5	15.8	1.5	
一戸建て(平屋)	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
一戸建て(2階建て)	66	21.2	31.8	15.2	15.2	6.1	25.8	3.0	
一戸建て(3階建て以上)	10	20.0	10.0	20.0	20.0	10.0	30.0	10.0	
集合住宅の1階	39	28.2	28.2	10.3	12.8	12.8	0.0	28.2	2.6
集合住宅の2階	131	55.7	14.5	9.2	6.1	3.8	19.8	0.8	
集合住宅の3階以上	215	76.7	8.4	7.9	2.3	2.8	7.4	0.9	

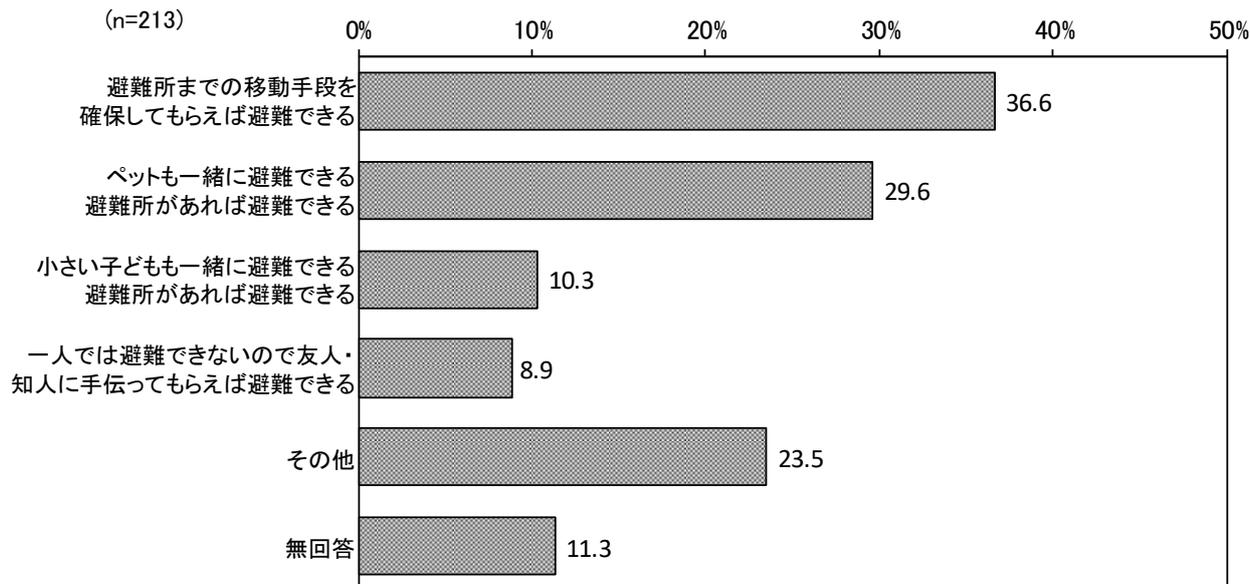
台風19号による被害の状況別にみた結果は以下の通り。

	自宅は浸水の危険がない	ペットがいて避難できない	避難所が遠い	体が不自由で一人では避難できない	避難場所が分からない	小さい子どもがいて避難できない	その他	無回答	(%)
全体	467	57.6	15.0	9.9	6.4	4.5	15.8	1.5	
床下・床上浸水の被害を受けた	15	20.0	46.7	26.7	13.3	20.0	6.7	20.0	0.0
浸水により車両が被害を受けた	12	41.7	25.0	33.3	0.0	16.7	0.0	8.3	0.0
浸水の被害は受けていない	438	58.9	14.2	8.7	6.2	3.9	16.0	1.6	

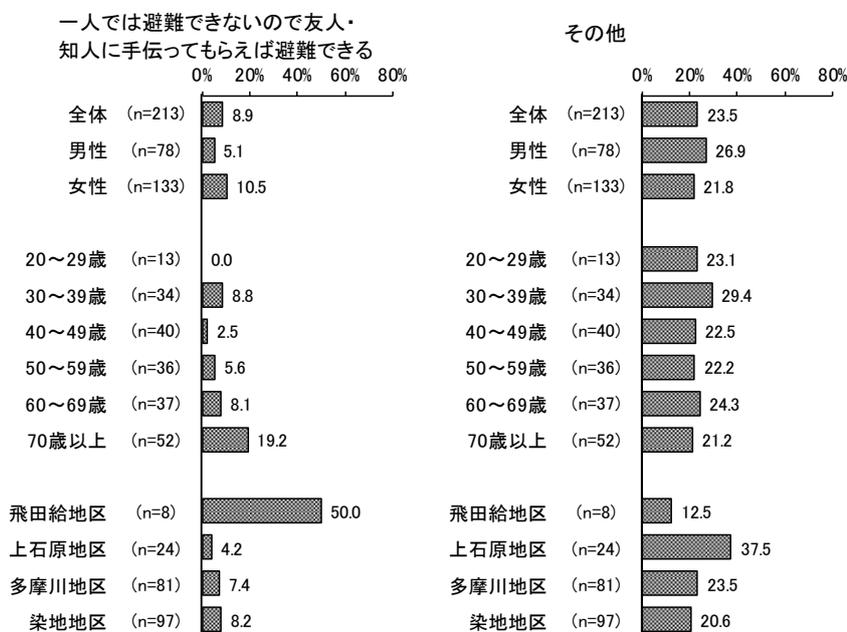
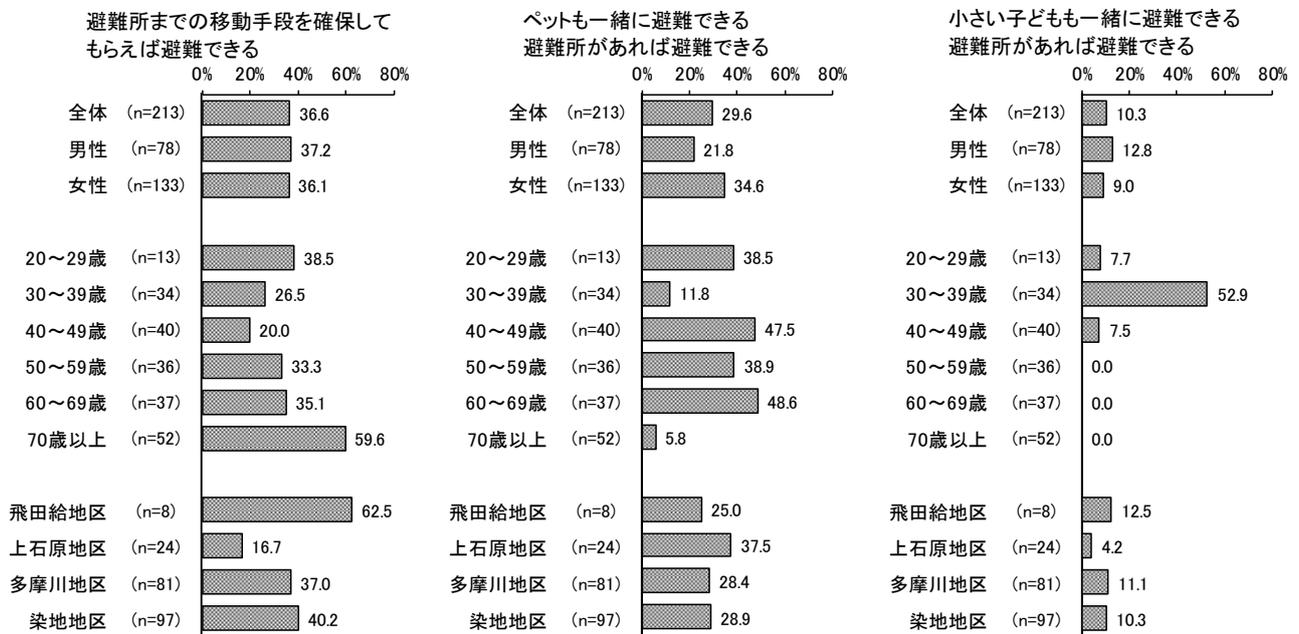
(5) 避難するために必要な支援

問 22 どのような支援があれば避難ができますか？（〇はいくつでも）

全体では、「避難所までの移動手段を確保してもらえば避難できる」が 36.6%と最も高く、次いで「ペットと一緒に避難できる避難所があれば避難できる」が 29.6%、「小さい子どもと一緒に避難できる避難所があれば避難できる」が 10.3%などと続いている。



年代別にみると、「避難所までの移動手段を確保してもらえば避難できる」は「70歳以上」で高く、「小さい子どもと一緒に避難できる避難所があれば避難できる」は「30～39歳」で高くなっている。



同居家族内の要配慮者有無別にみると、「避難所までの移動手段を確保してもらえば避難できる」や「一人では避難できないので友人・知人に手伝ってもらえば避難できる」の回答割合は「身体に障害があり、自力避難ができない方」や「75歳以上の高齢者」のいる世帯で高い。また、「小さい子どもと一緒に避難できる避難所があれば避難できる」は5歳以下の子どもがいる世帯で高く、「0～2歳の子ども」のいる世帯では81.8%と特に高くなっている。

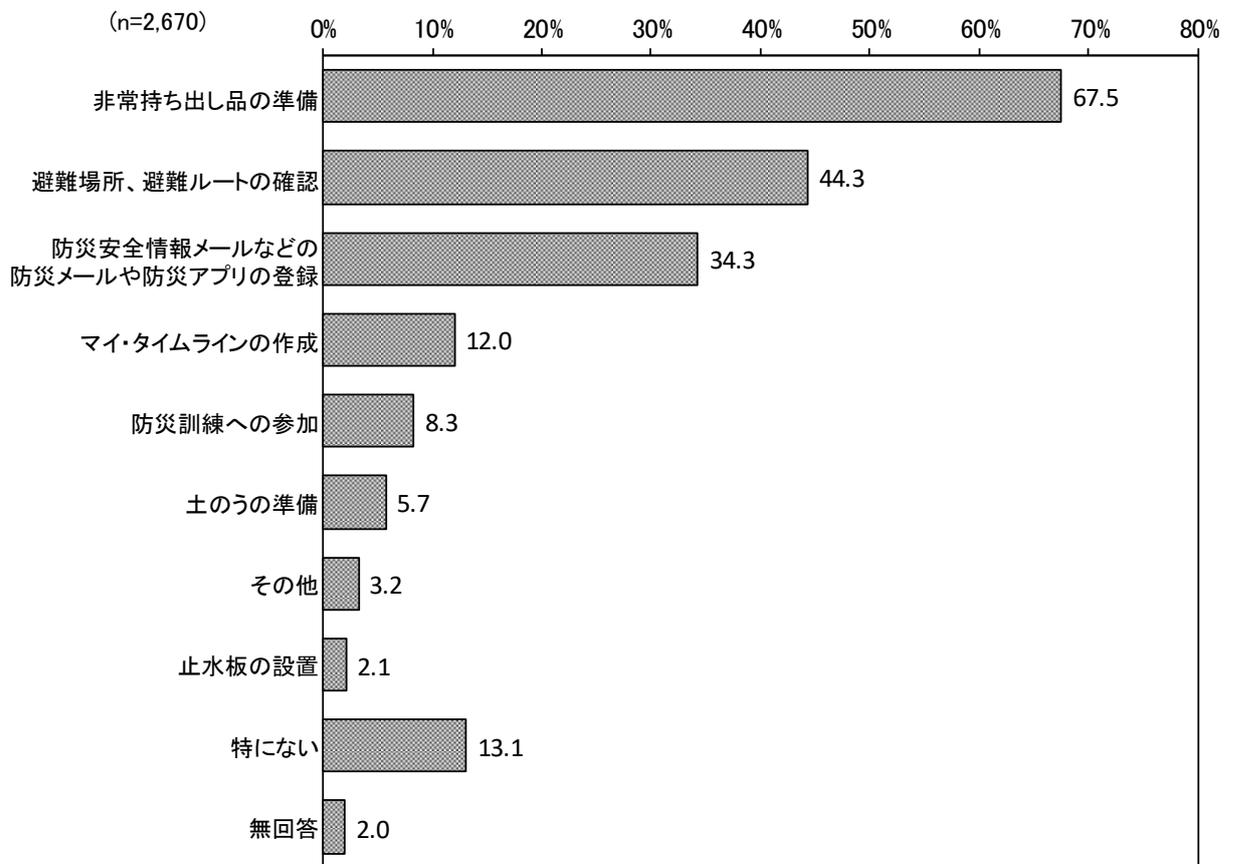
		避難所までの移動手段を確保してもらえば避難できる	ペットも一緒に避難できる避難所があれば避難できる	小さい子どもと一緒に避難できる避難所があれば避難できる	一人では避難できないので友人・知人に手伝ってもらえば避難できる	その他	無回答	(%)
全体	213	36.6	29.6	10.3	8.9	23.5	11.3	
0～2歳の子ども	22	27.3	9.1	81.8	4.5	9.1	13.6	
3～5歳の子ども	14	28.6	7.1	42.9	0.0	57.1	0.0	
小・中学生の子ども	31	19.4	29.0	9.7	3.2	45.2	12.9	
65～74歳の高齢者	32	40.6	46.9	0.0	18.8	21.9	9.4	
75歳以上の高齢者	38	60.5	10.5	0.0	23.7	15.8	10.5	
身体に障害があり、自力避難ができない方	49	63.3	12.2	2.0	38.8	20.4	10.2	
いずれもない	61	23.0	47.5	0.0	0.0	23.0	9.8	

5. 今後の対策について

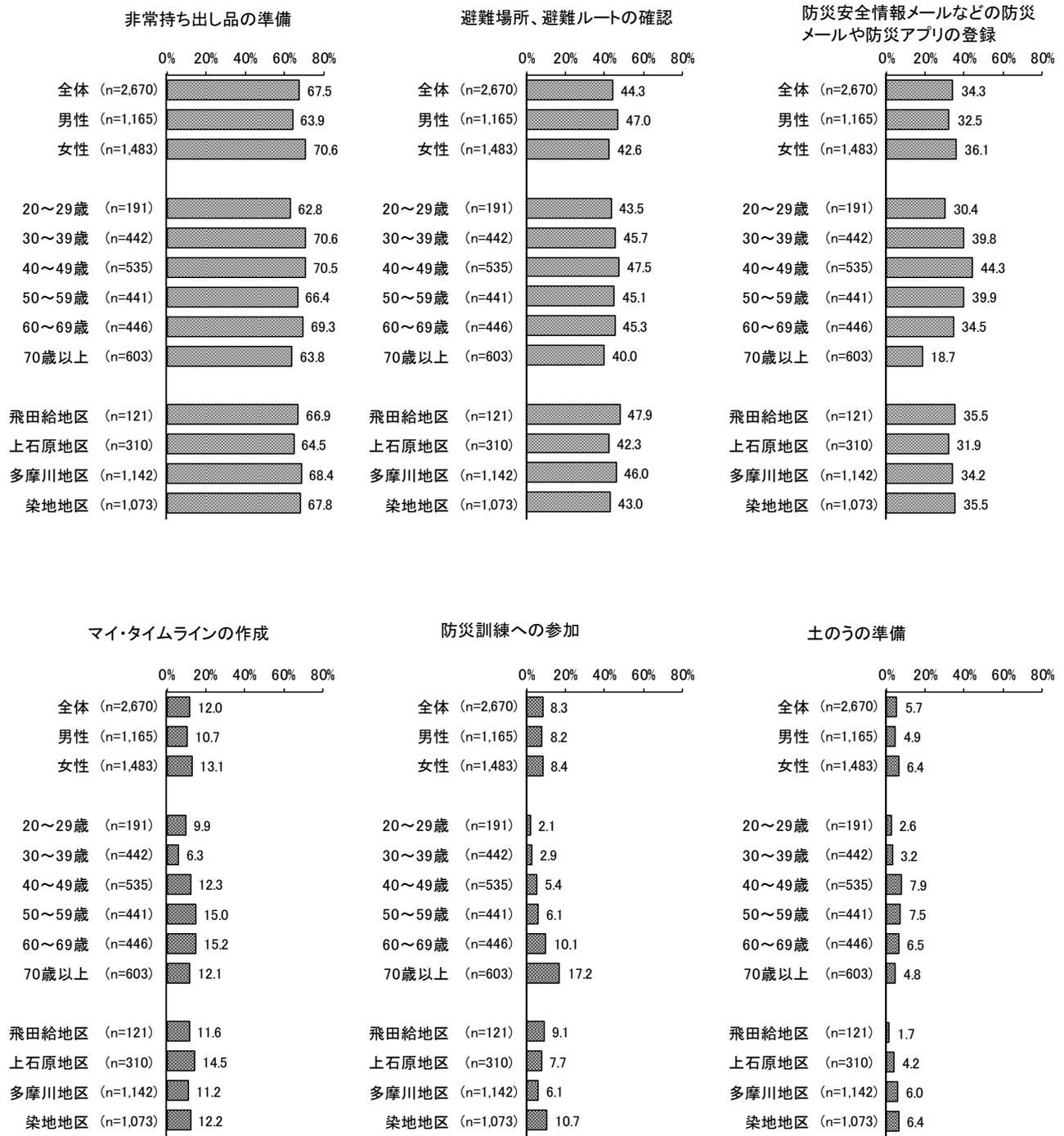
(1) 風水害に備えて実施している対策

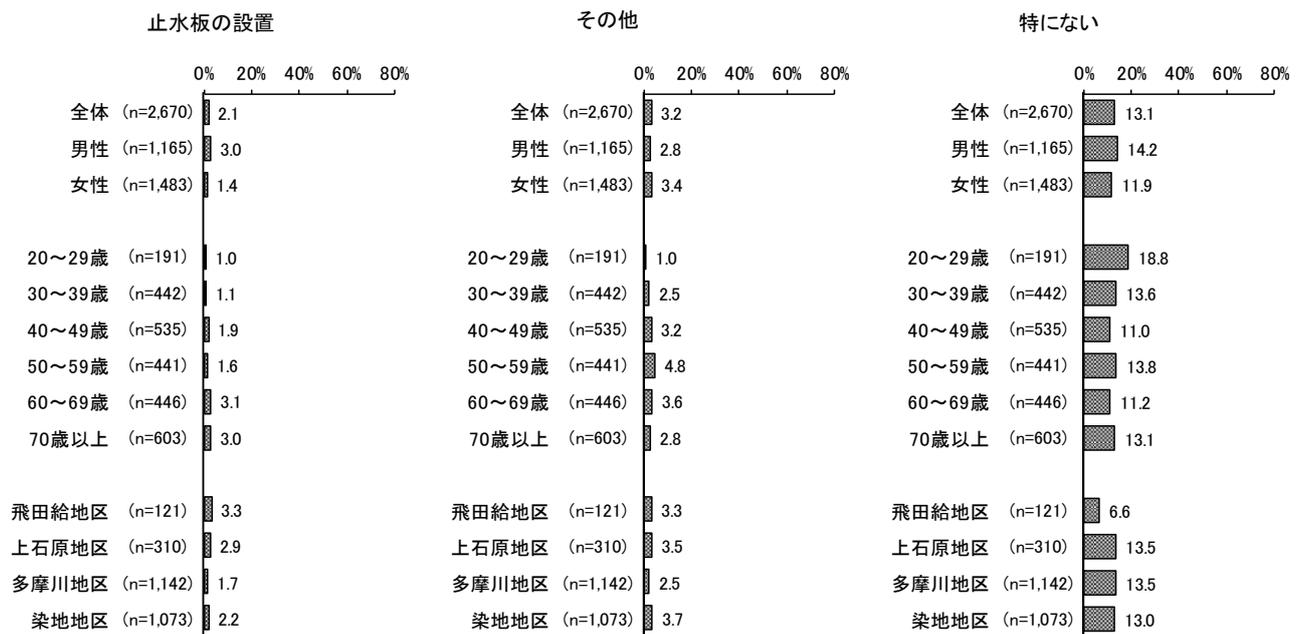
問 23 風水害に備えて実施した（又は実施を予定している）対策はありますか？
（〇はいくつでも）

全体では、「非常持ち出し品の準備」が 67.5%と最も高く、次いで「避難場所、避難ルートの確認」が 44.3%、「防災安全情報メールなどの防災メールや防災アプリの登録」が 34.3%などと続いている。



年代別にみると、「70歳以上」は「防災安全情報メールなどの防災メールや防災アプリの登録」で回答割合が低く、「防災訓練への参加」では高くなっている。また、「特にない」は「20～29歳」でやや高い。



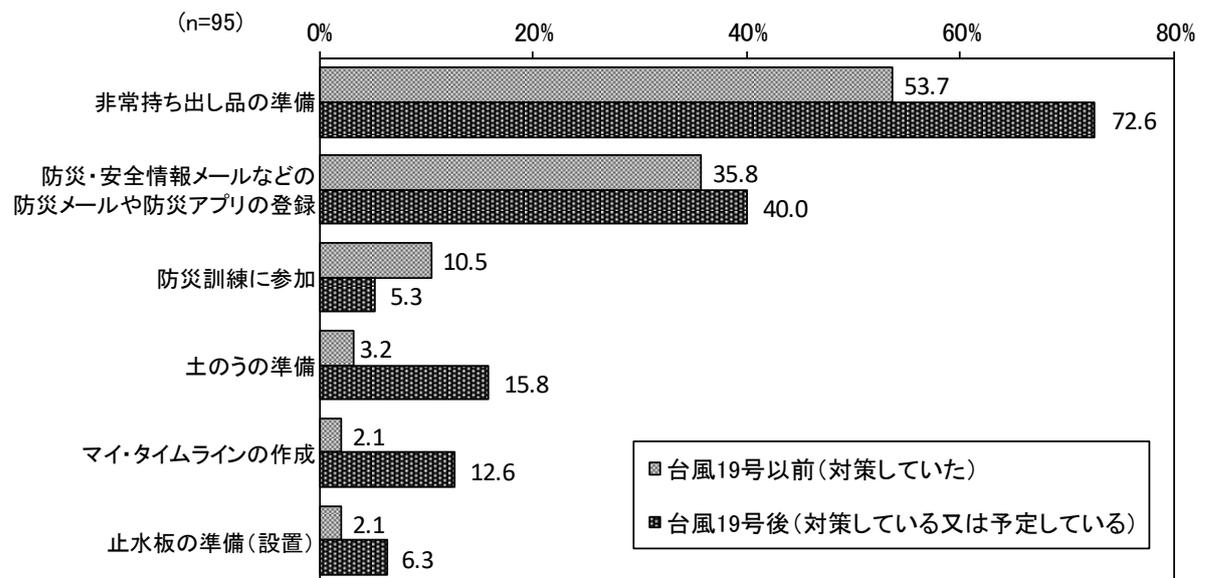


台風 19 号による被害の状況別にみると、浸水の被害を受けた人の中でも「床上浸水の被害を受けた」人は「土のうの準備」や「止水板の設置」の回答割合が高く、「特にない」は低くなっている。

		非常持ち出し品の準備	避難場所、避難ルートの確認	防災安全情報メールなどの防災メールや防災アプリの登録	マイ・タイムラインの作成	防災訓練への参加	土のうの準備	止水板の設置	その他	特にない	無回答
全体	2,670	67.5	44.3	34.3	12.0	8.3	5.7	2.1	3.2	13.1	2.0
床下・床上浸水の被害を受けた	95	72.6	42.1	40.0	12.6	5.3	15.8	6.3	10.5	9.5	2.1
床下浸水の被害を受けた	50	70.0	48.0	36.0	10.0	6.0	14.0	4.0	10.0	10.0	4.0
床上浸水の被害を受けた	45	75.6	35.6	44.4	15.6	4.4	17.8	8.9	11.1	8.9	0.0
浸水により車両が被害を受けた	41	78.0	46.3	43.9	14.6	19.5	9.8	7.3	4.9	12.2	0.0
浸水の被害は受けていない	2,513	67.5	44.4	34.3	12.0	8.1	5.3	1.9	2.9	13.3	1.8

台風 19 号の際に床下・床上浸水の被害を受けた人について、台風 19 号以前に行っていた災害対策（問 11）と今後の風水害時に備えて実施している（または予定している）対策を比較した結果は以下の通り（共通する項目のみ）。

「防災訓練に参加」以外の項目で回答割合が高くなっており、特に「土のうの準備」「マイ・タイムラインの作成」「止水板の準備（設置）」の上昇率が高い。

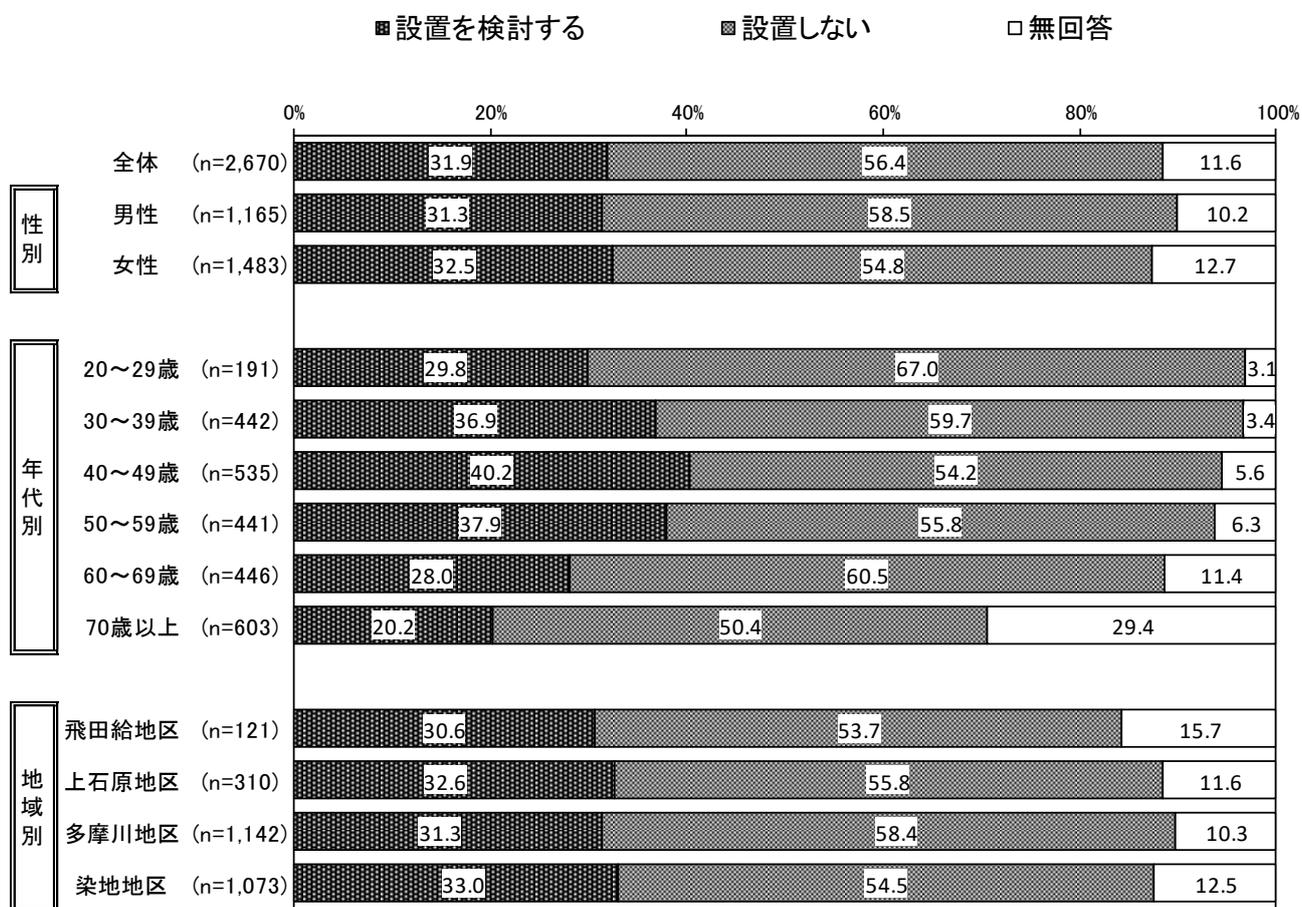


(2) 止水板設置の検討有無

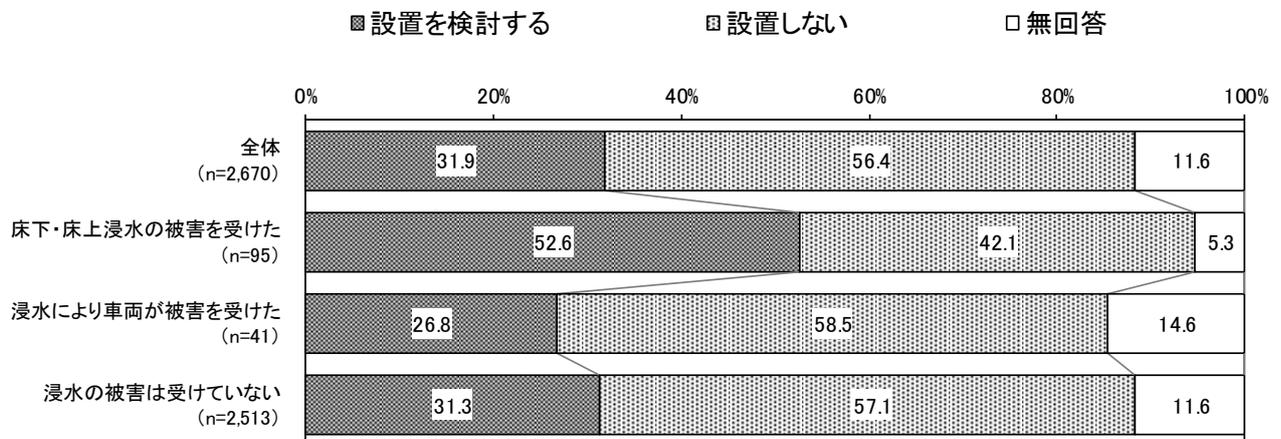
問 24 浸水防止対策としては土のうのほか、止水板の設置も有効ですが、設置費用の一部助成があるとした場合、止水板の設置を検討しますか？（○は1つ）

全体では、「設置しない」が56.4%、「設置を検討する」が31.9%となっている。

性別や居住地域別では傾向に大きな違いはみられないが、年代別で見ると、「設置を検討する」の回答割合は「40～49歳」で40.2%と最も高く、「30～39歳」と「50～59歳」も3割台となっている。一方、「70歳以上」では20.2%と低い。



台風 19 号における浸水被害の状況別にみると、「設置を検討する」の回答割合は、「床下・床上浸水の被害を受けた」世帯で 52.6%と高く、「床上浸水の被害があった世帯」だけでみると、60.0%と特に高い。



		設置を検討する (%)	設置しない (%)	無回答 (%)
全体	2,670	31.9	56.4	11.6
床下・床上浸水の被害を受けた	95	52.6	42.1	5.3
床下浸水の被害を受けた	50	46.0	50.0	4.0
床上浸水の被害を受けた	45	60.0	33.3	6.7
浸水により車両が被害を受けた	41	26.8	58.5	14.6
浸水の被害は受けていない	2,513	31.3	57.1	11.6

住居形態別にみると、一戸建ての世帯で「設置を検討する」の回答割合が 4 割台と高くなっていく。一方で、「集合住宅の 2 階」「集合住宅の 3 階以上」の世帯では「設置しない」が 7 割台と高い。

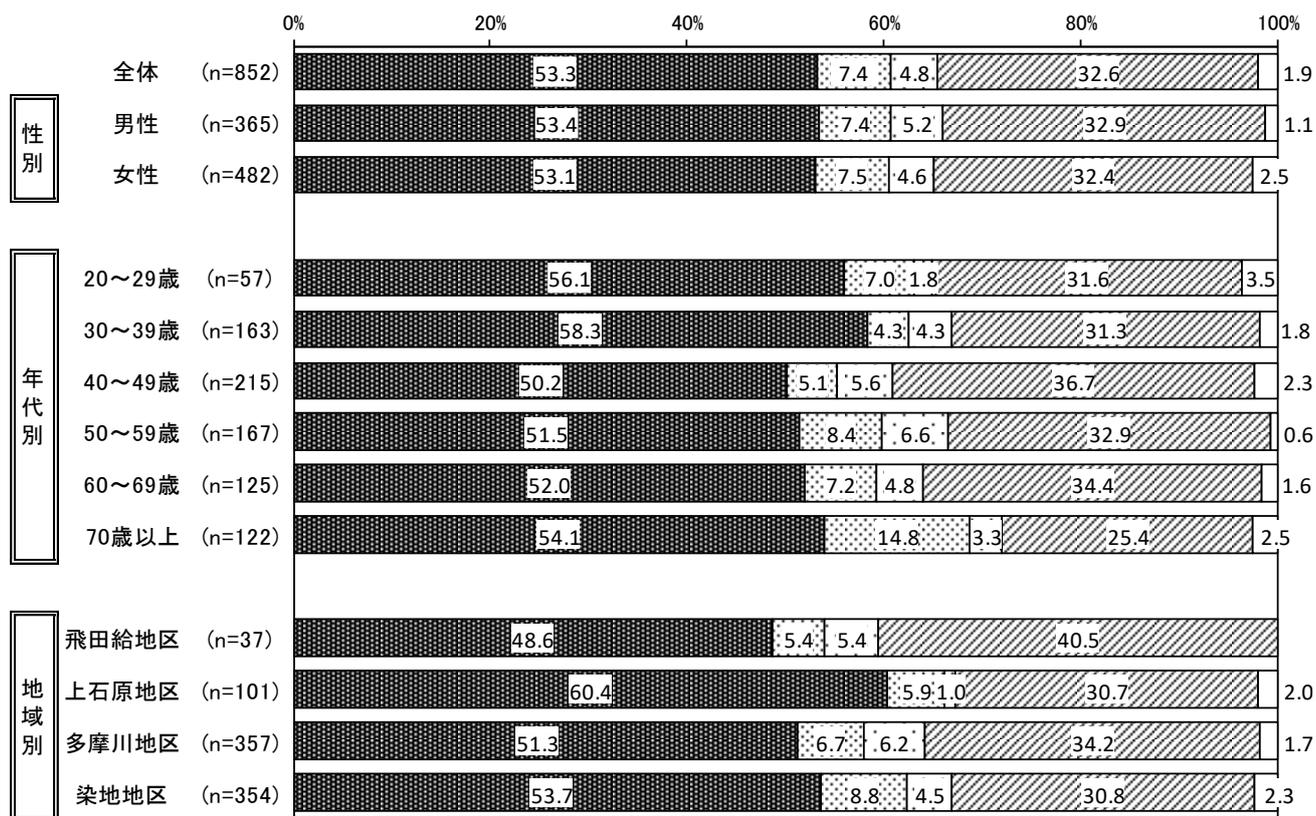
		設置を検討する (%)	設置しない (%)	無回答 (%)
一戸建て(平屋)	43	44.2	41.9	14.0
一戸建て(2階建て)	999	48.1	44.1	7.7
一戸建て(3階建て以上)	127	46.5	47.2	6.3
集合住宅の1階	481	32.6	53.4	13.9
集合住宅の2階	553	12.8	73.4	13.7
集合住宅の3階以上	450	13.6	70.4	16.0

(3) 止水板設置を検討する個人負担の額

問 25 市の助成が得られた場合、個人負担がどの程度であれば止水板の設置を検討しますか？
(○は1つ)

全体では、「20万円程度まで」の回答割合が53.3%となっている。

■20万円程度まで □20万円～50万円程度 ▨50万円～100万円程度 ▩その他 □無回答



台風19号による被害の状況別にみた結果では、傾向に大きな違いは見られなかった。

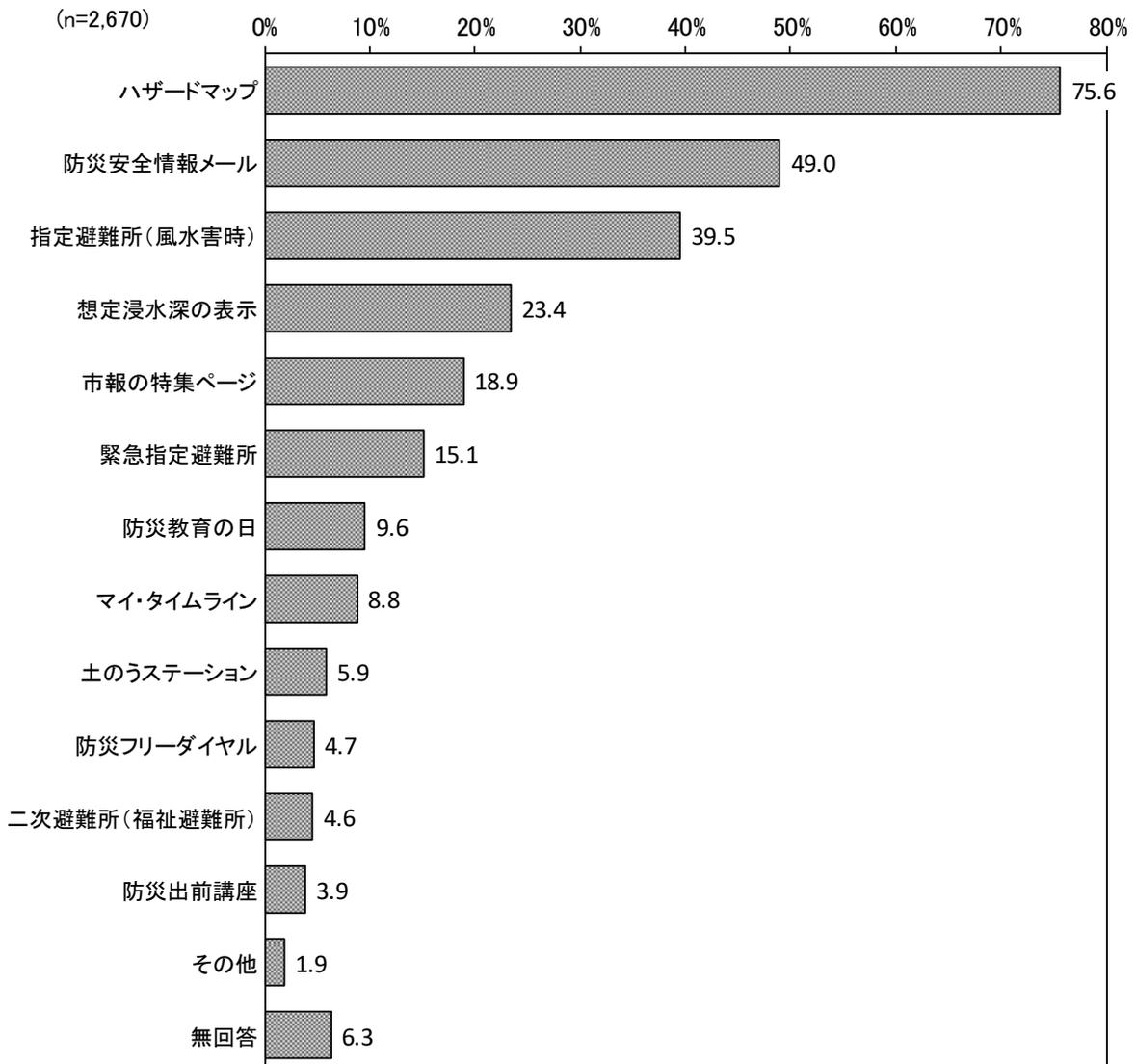
	20万円程度まで	20万円から50万円程度	50万円から100万円程度	その他	無回答	(%)
全体	852	53.3	7.4	4.8	32.6	1.9
床下・床上浸水の被害を受けた	50	58.0	2.0	6.0	32.0	2.0
浸水により車両が被害を受けた	11	72.7	0.0	0.0	27.3	0.0
浸水の被害は受けていない	787	53.1	7.8	4.8	32.5	1.8
無回答	10	30.0	10.0	0.0	50.0	10.0

6. 調布市の防災施策について

(1) 調布市の防災対策の認知状況

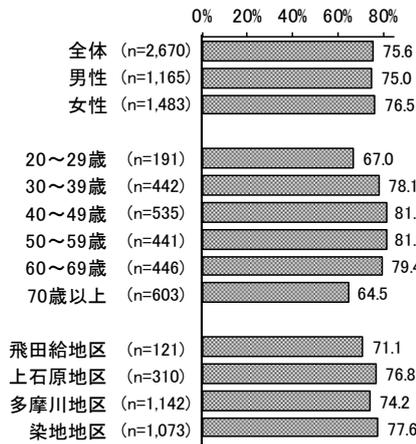
問 26 調布市の防災施策について、ご存じのものをお知らせください。(〇はいくつでも)

全体では、「ハザードマップ」が75.6%と最も高く、次いで「防災安全情報メール」が49.0%、「指定避難所（風水害時）」が39.5%、「想定浸水深の表示」が23.4%などと続いている。

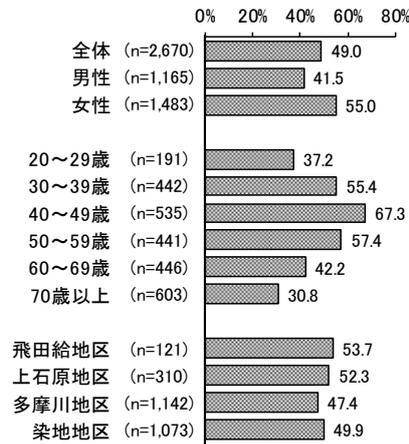


年代別にみると、「ハザードマップ」「防災安全情報メール」「想定浸水深の表示」は「20～29歳」と「70歳以上」の回答割合が他の年代と比べて低い傾向がある。また、「市報の特集ページ」は「70歳以上」で高く、「防災教育の日」は「40～49歳」で高くなっている。

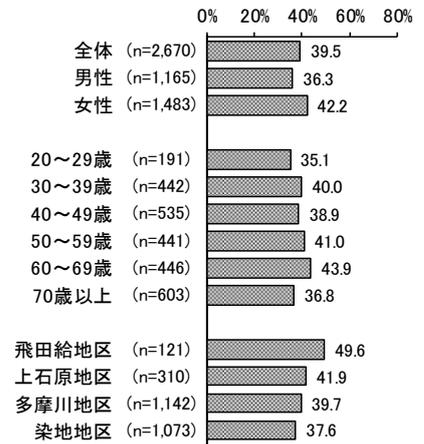
ハザードマップ



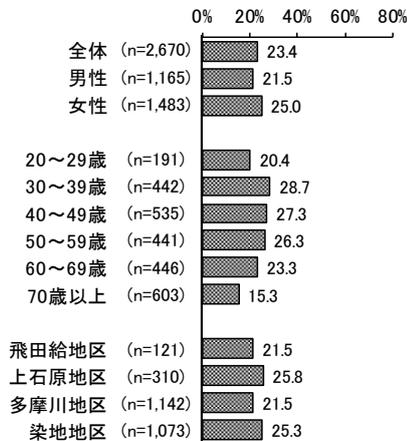
防災安全情報メール



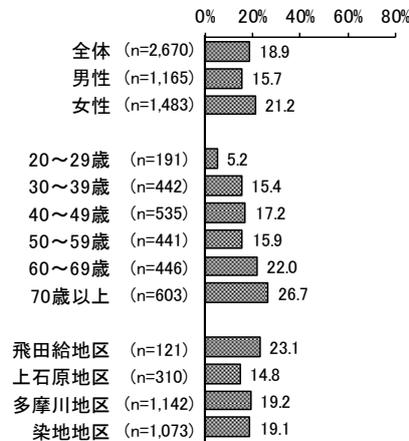
指定避難所(風水害時)



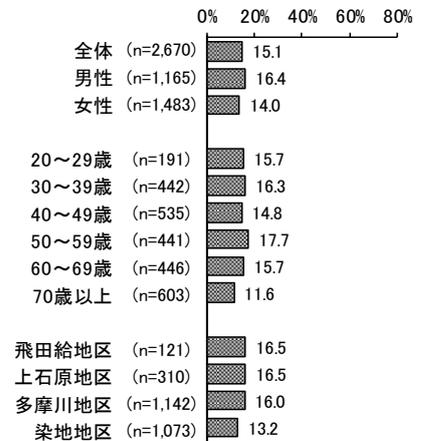
想定浸水深の表示



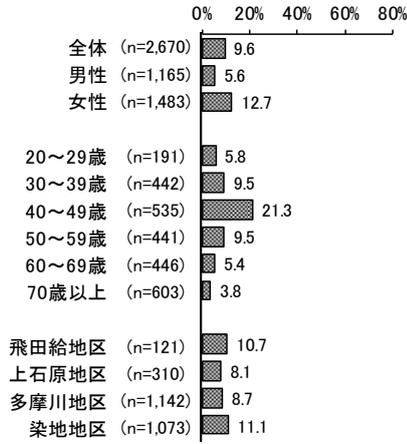
市報の特集ページ



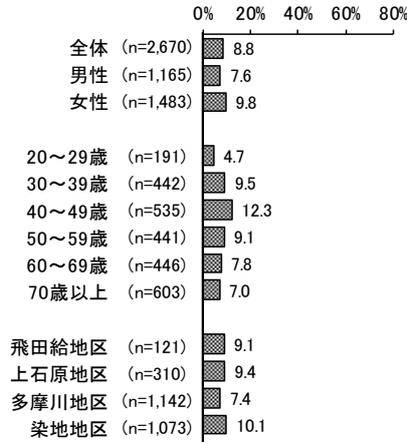
緊急指定避難所



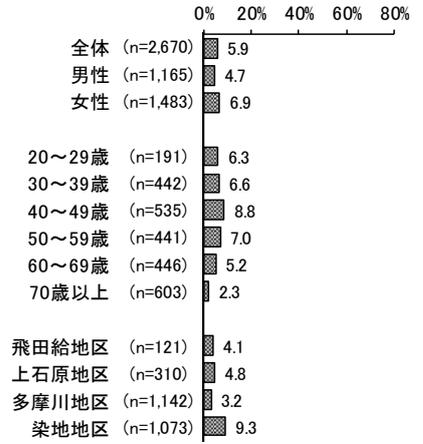
防災教育の日



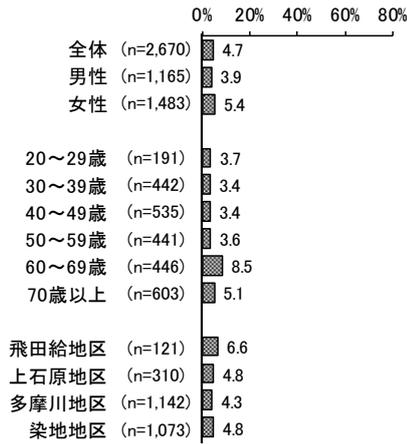
マイ・タイムライン



土のうステーション



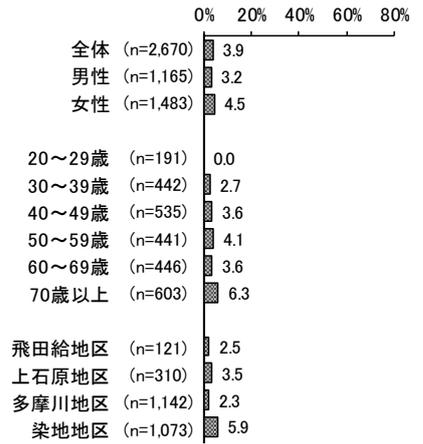
防災フリーダイヤル



二次避難所(福祉避難所)



防災出前講座



その他

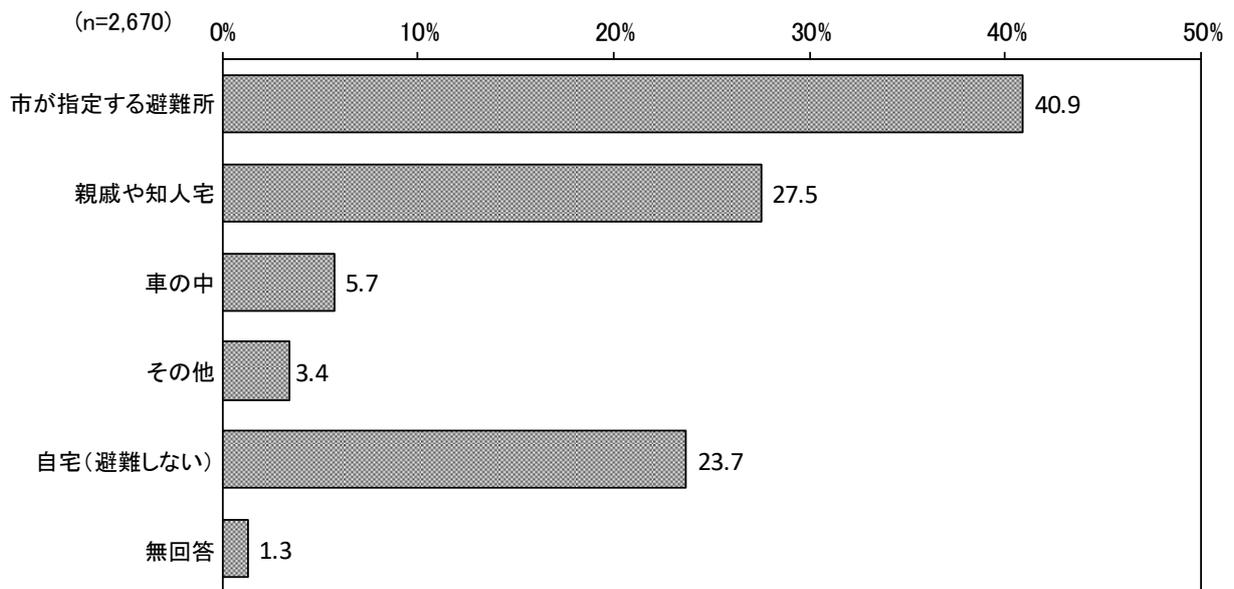


7. 新型コロナウイルス感染症の影響下における避難行動について

(1) 新型コロナウイルス感染症影響前に予定していた災害時の避難先

問 27 新型コロナウイルス感染症の影響前には、災害時の避難先としてどちらを考えていましたか？（○は1つ）

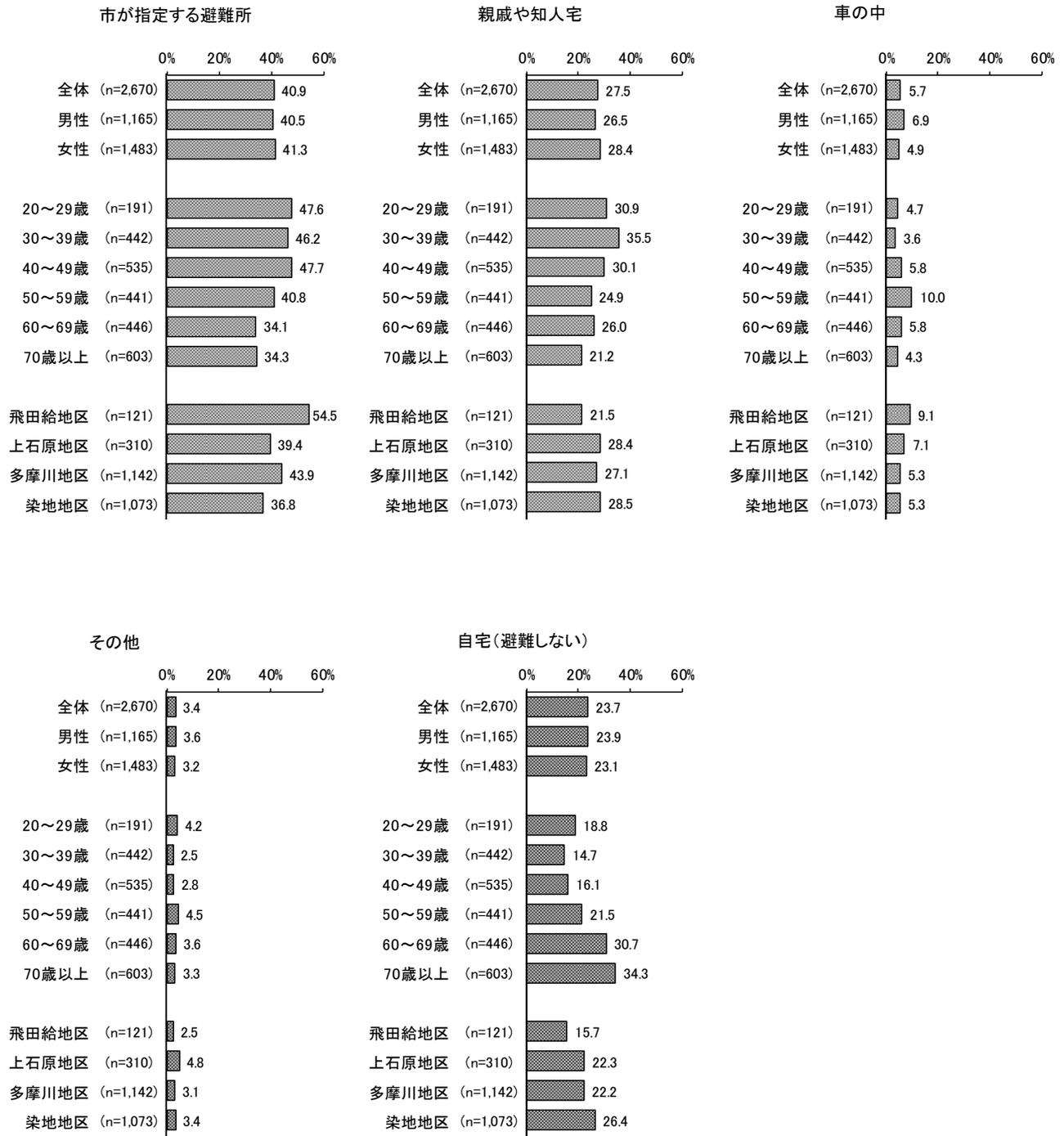
全体では、「市が指定する避難所」が40.9%と最も高く、次いで「親戚や知人宅」が27.5%、「車の中」が5.7%と続いている。一方で、「自宅（避難しない）」は23.7%となっている。



※本設問では複数の項目を選択された方が多数いたため、複数回答として取り扱っている。

年代別にみると、「市が指定する避難所」は50代以下の年代と比べ、60代以上の年代ではやや低く、「自宅（避難しない）」は「60～69歳」と「70歳以上」で3割台と高くなっている。

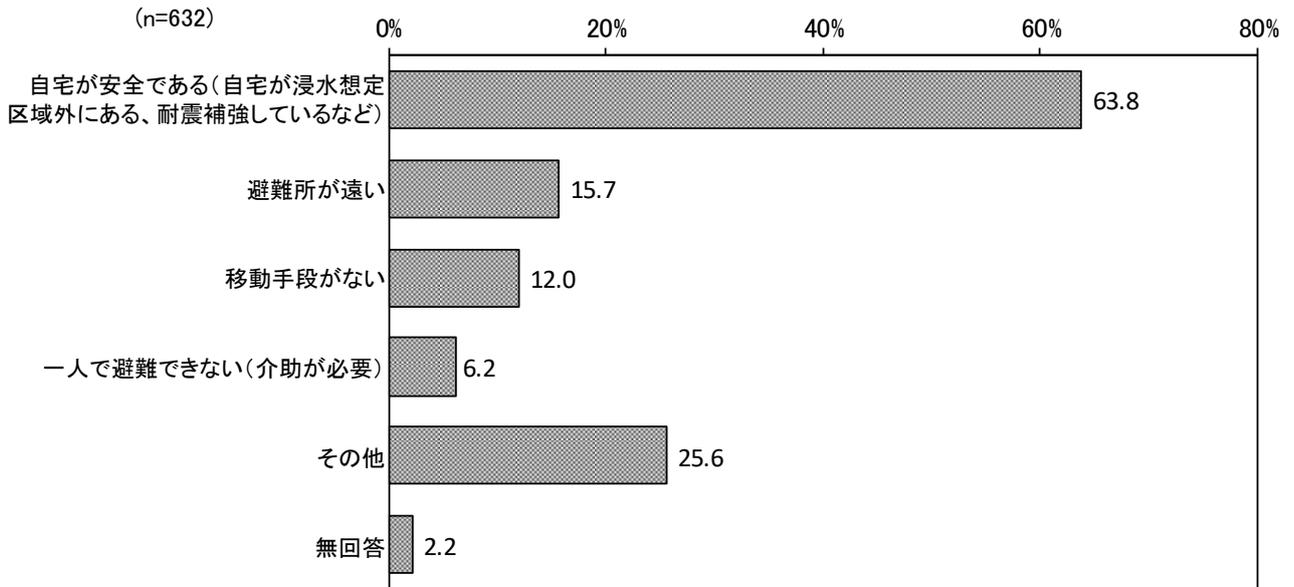
居住地域別にみると、「市が指定する避難所」は「飛田給地区」で高い。



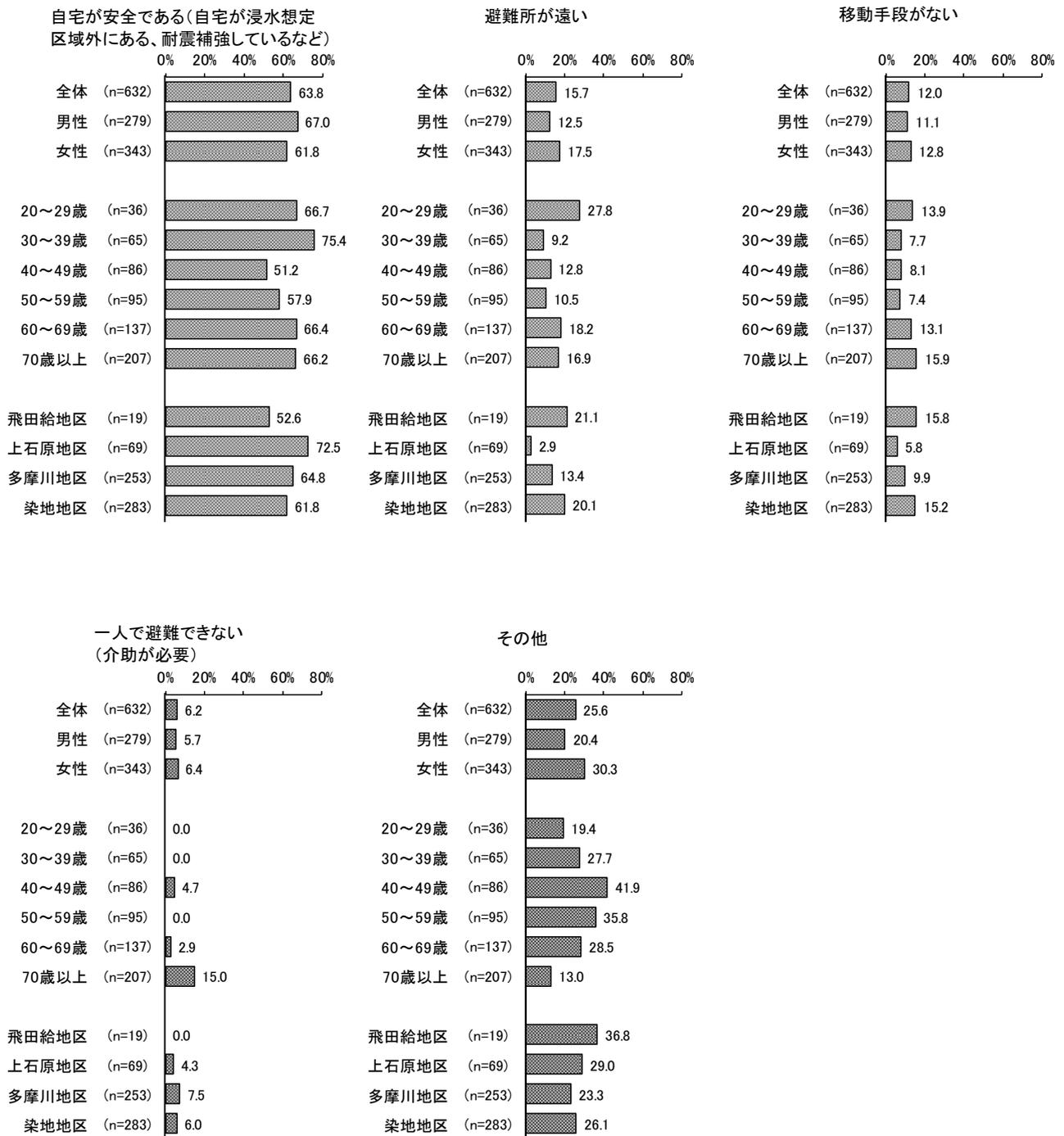
(2) 避難しないと考えていた理由

問 28 避難所などへの避難を考えていなかった理由をお知らせください。(〇はいくつでも)

全体では、「自宅が安全である(自宅が浸水想定区域外にある、耐震補強しているなど)」が63.8%と最も高く、次いで「避難所が遠い」が15.7%、「移動手段がない」が12.0%などと続いている。



年代別にみると、「避難所が遠い」は「20～29歳」で高くなっている。また、「一人で避難できない（介助が必要）」は「70歳以上」で高い。

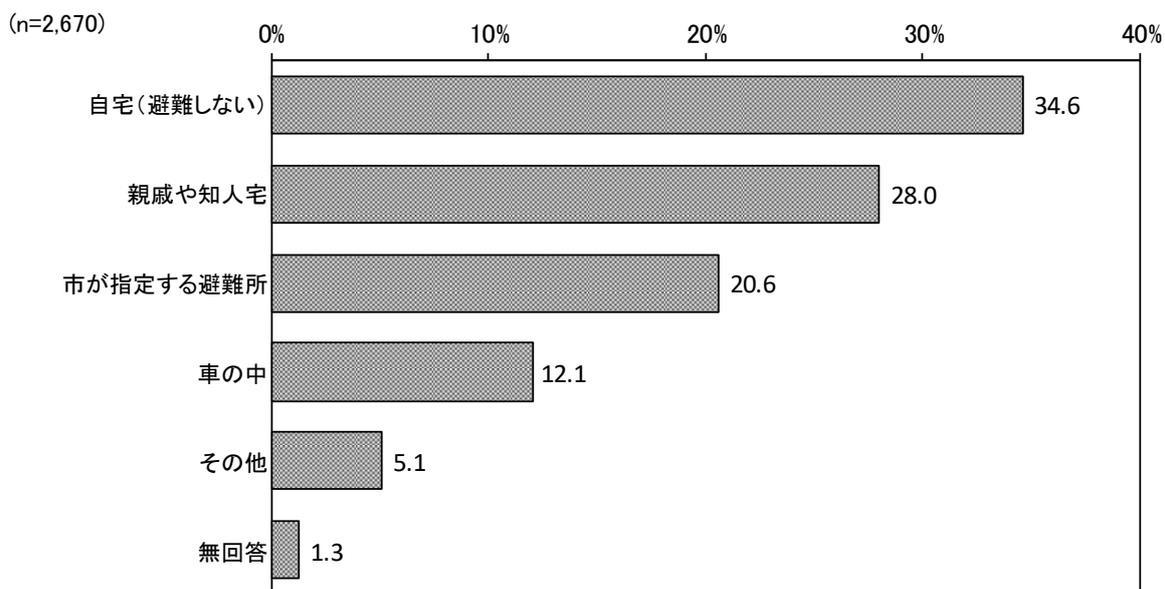


(3) 新型コロナウイルス感染症影響下の災害時の避難先

問 29 新型コロナウイルス感染症の影響下の現在では、災害時の避難先としてどちらを考えていますか？（○は1つ）

全体では、「自宅（避難しない）」が34.6%と最も高く、次いで「親戚や知人宅」が28.0%、「市が指定する避難所」が20.6%などと続いている。

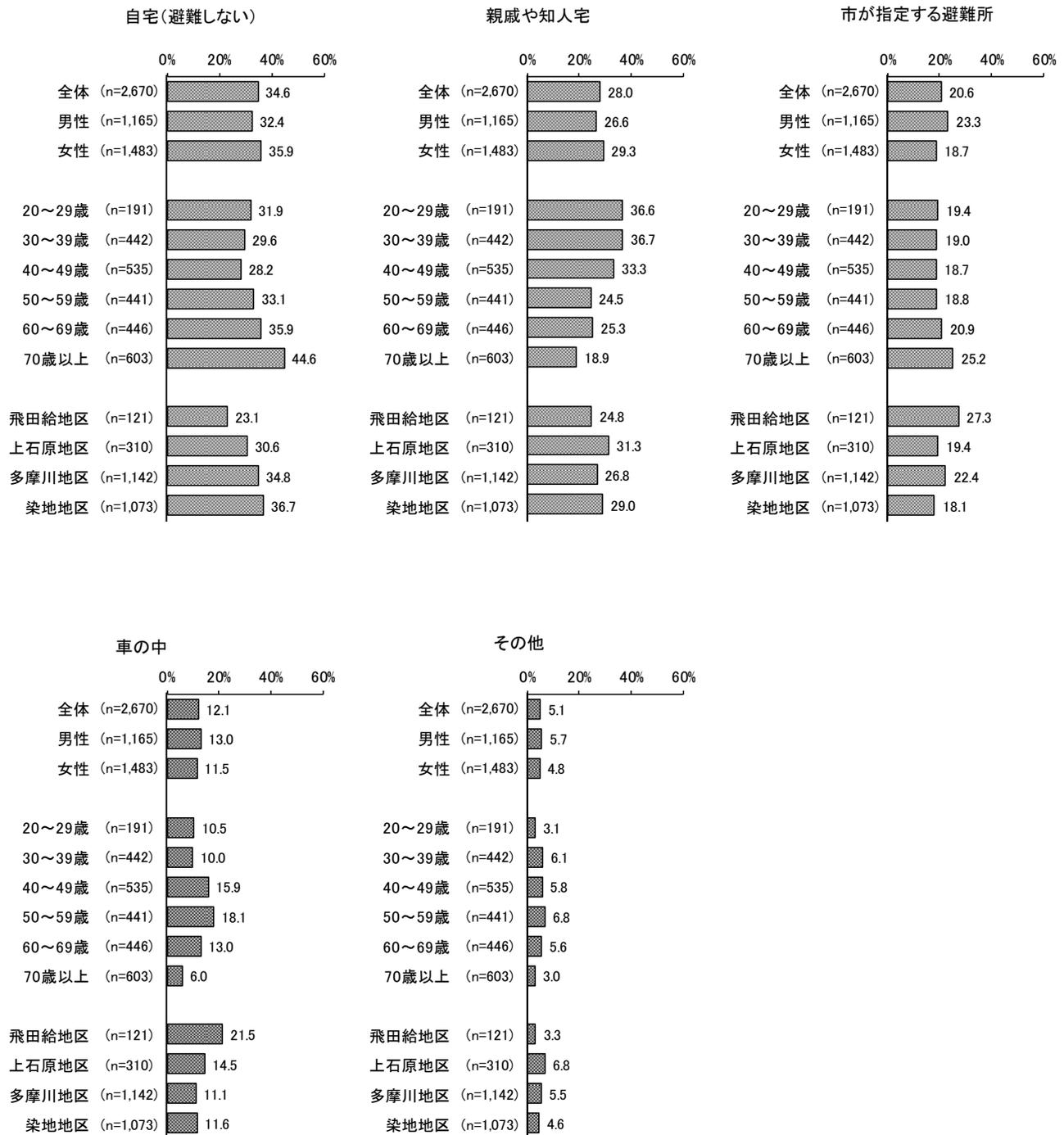
新型コロナウイルス感染症の影響前（問 27）と比べると、「自宅（避難しない）」「車の中」の回答割合は高くなり、「市が指定する避難所」は40.9%から20.6%と低くなっている。



※本設問では複数の項目を選択された方が多数いたため、複数回答として取り扱っている。

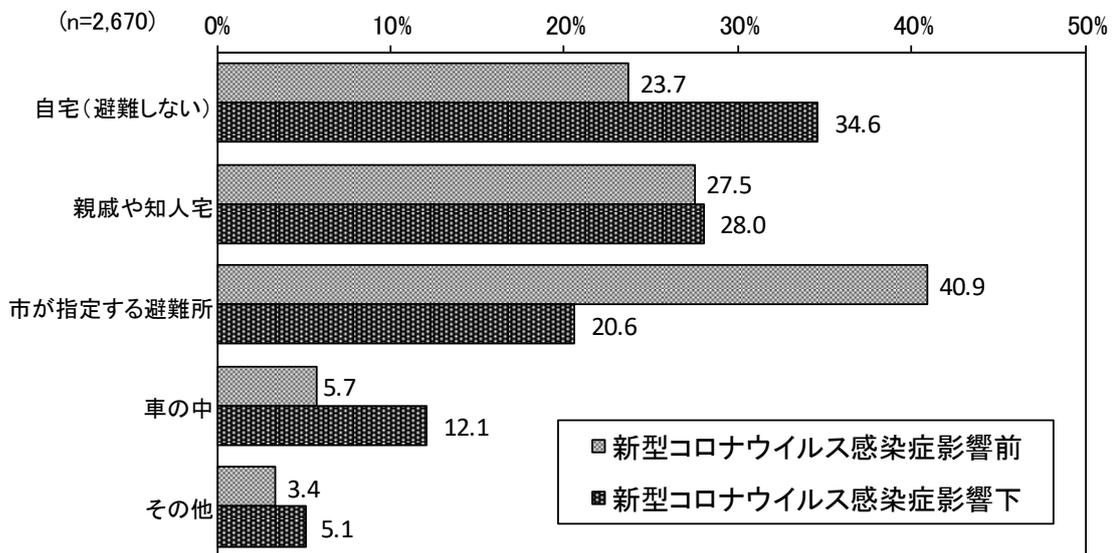
年代別にみると、「自宅（避難しない）」は「70歳以上」で高く、「親戚や知人宅」は40代以下の年代で高くなっている。

居住地域別にみると、「飛田給地区」は「自宅（避難しない）」では低く、「市が指定する避難所」や「車の中」では高くなっている。

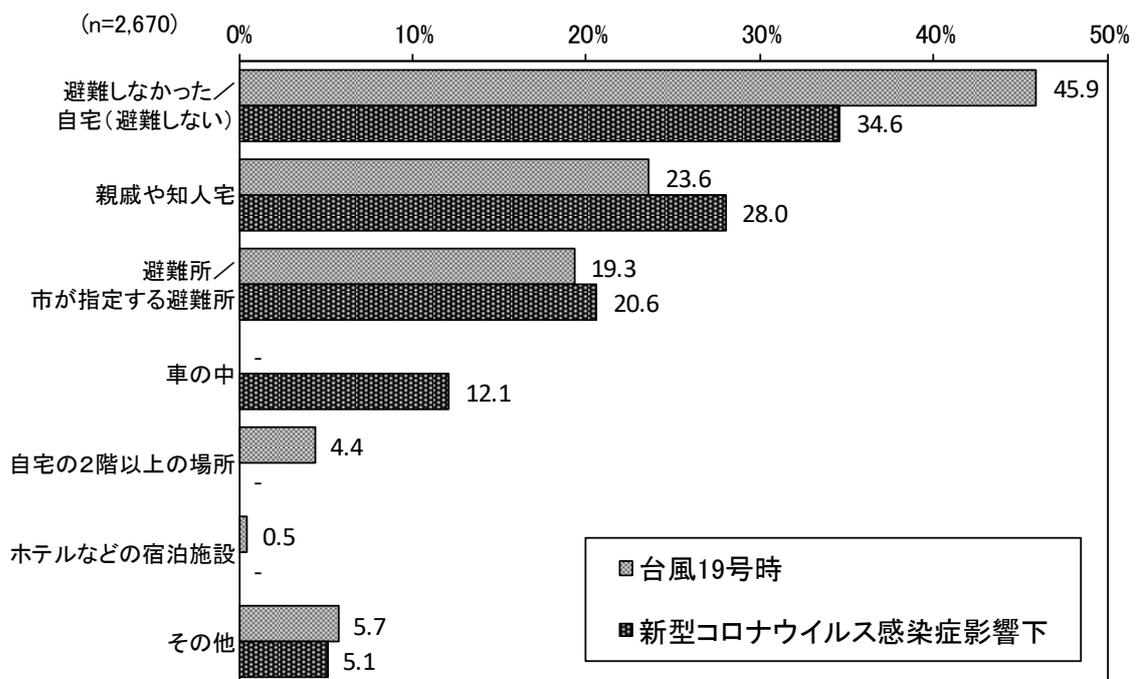


新型コロナウイルス感染症影響前に予定していた災害時の避難先（問 27）と比較した結果をみると、新型コロナウイルス感染症影響下では、影響前と比べて「市が指定する避難所」が約 20 ポイント低下している。

一方で、「自宅（避難しない）」と「車の中」の回答割合が高くなっている。



台風 19 号の際の避難先（問 12）との比較については、選択肢が異なっていることから、参考として以下の図を掲載する。

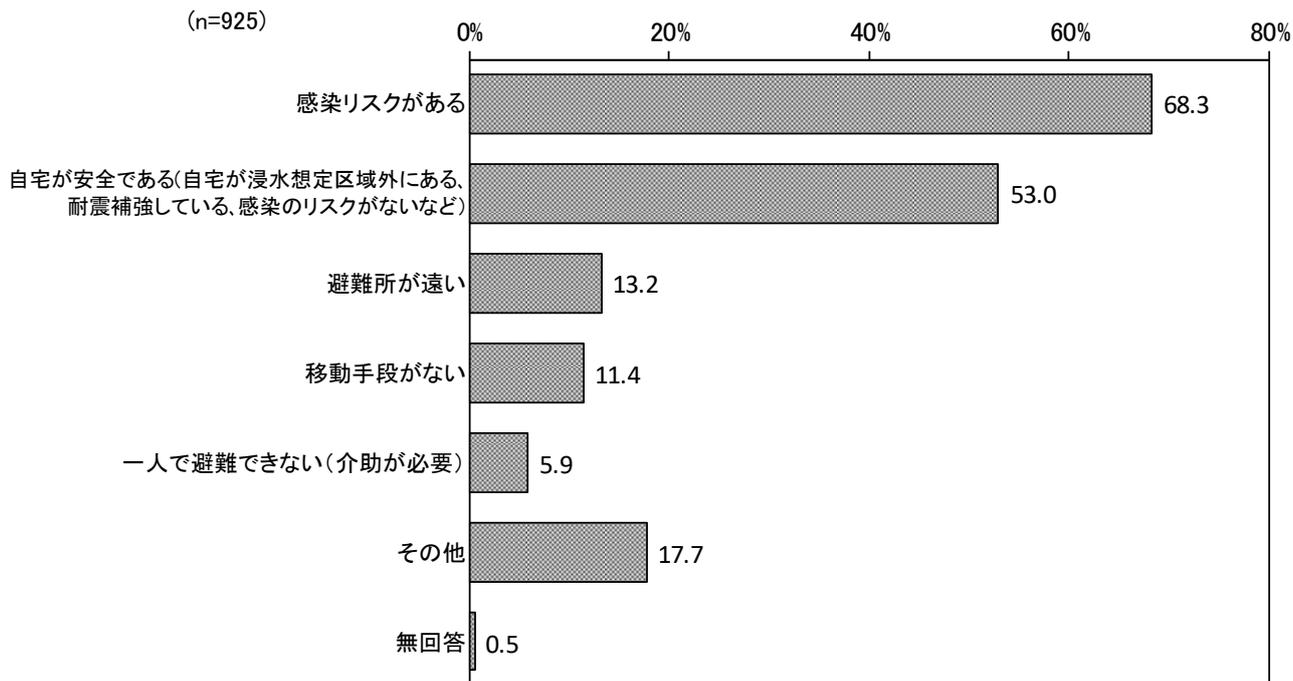


※「車の中」については問 29 のみ、「自宅の2階以上の場所」「ホテルなどの宿泊施設」については問 12 のみ聴取している。

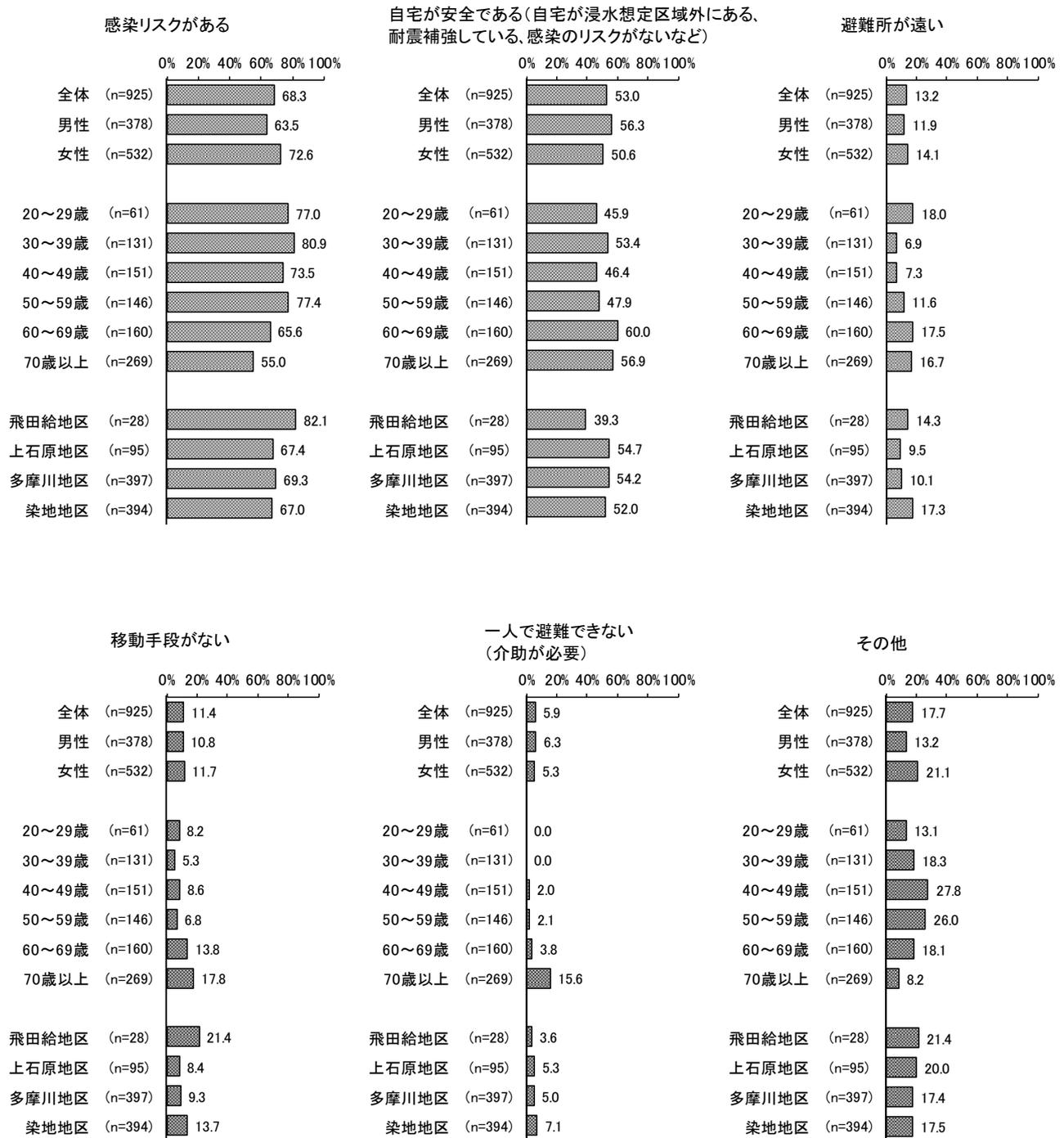
(4) 新型コロナウイルス感染症影響下で避難を考えていない理由

問 30 避難所などへの避難を考えていない理由をお知らせください。(〇はいくつでも)

全体では、「感染リスクがある」が68.3%と最も高く、次いで「自宅が安全である(自宅が浸水想定区域外にある、耐震補強している、感染のリスクがないなど)」が53.0%、「避難所が遠い」が13.2%などと続いている。



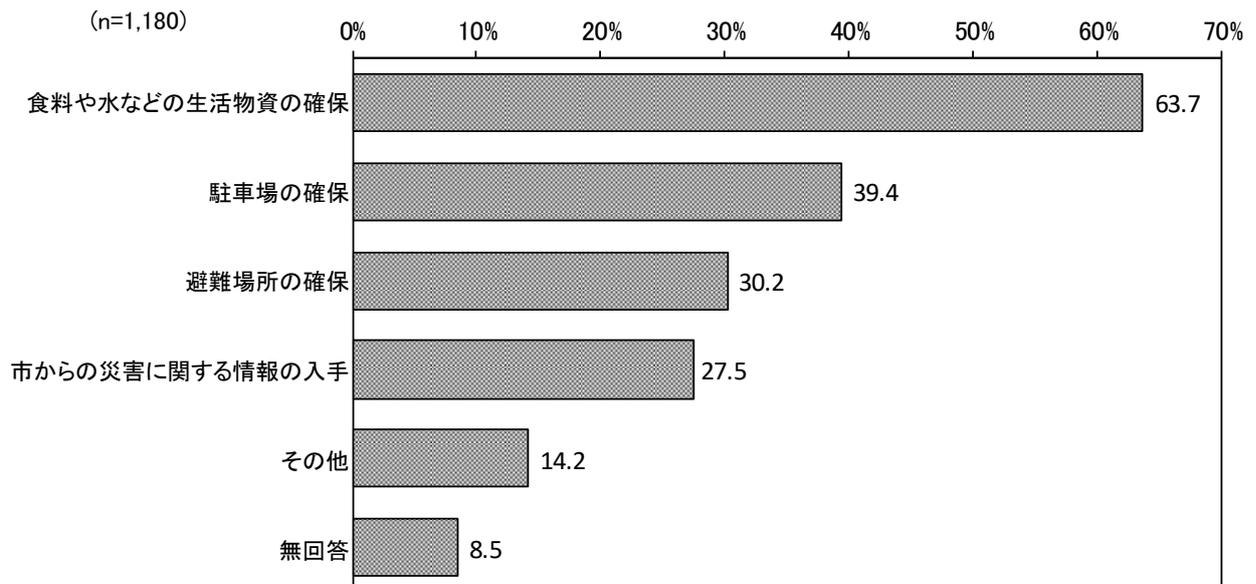
年代別にみると、「70歳以上」は「感染リスクがある」では低く、「一人では避難できない（介助が必要）」では高くなっている。



(5) 市が指定する避難所以外の場所に避難する場合、不安に感じること

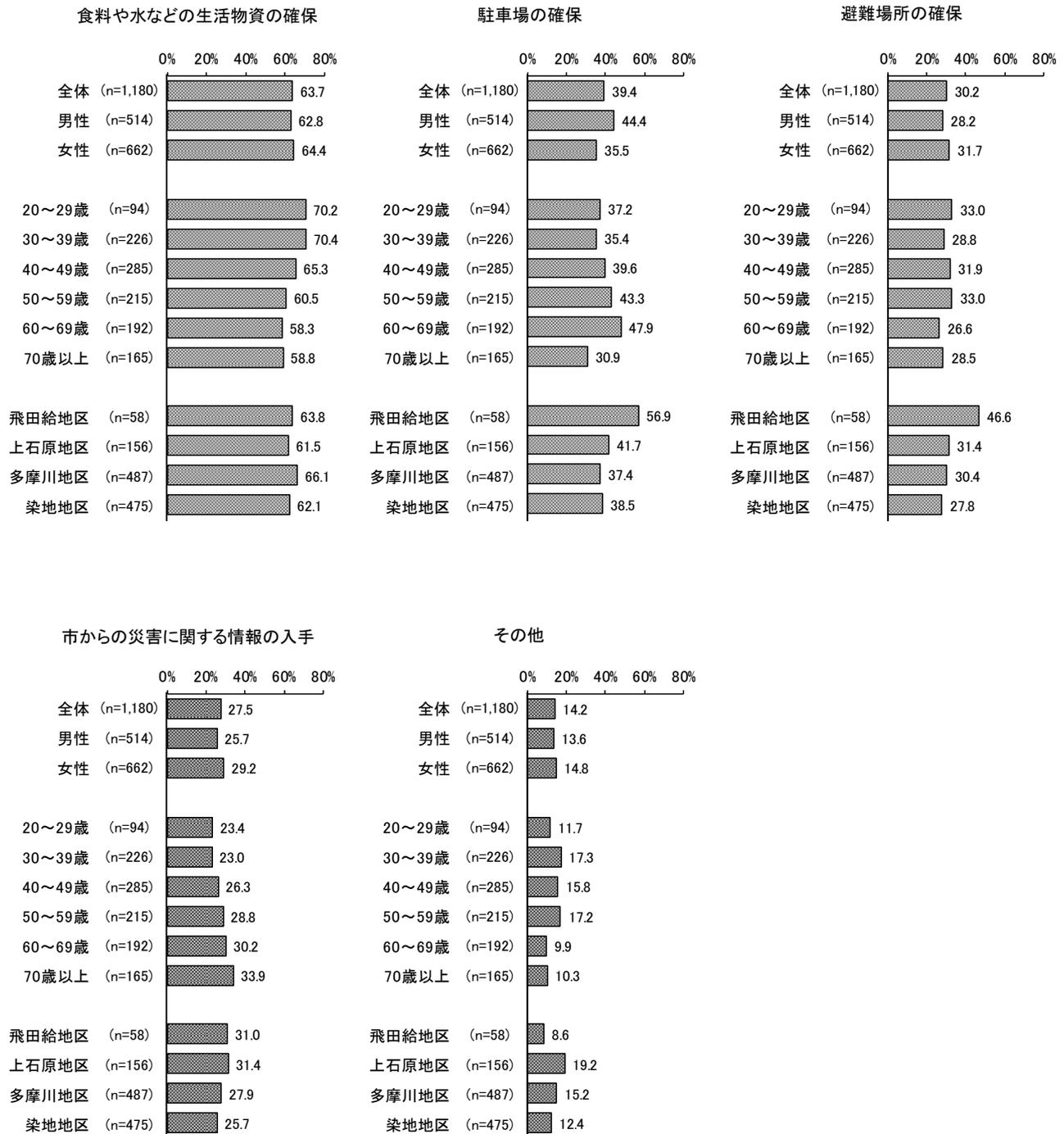
問 31 市が指定する避難所以外の場所に避難する場合、あなたはどんなことに不安を感じますか？
(○はいくつでも)

全体では、「食料や水などの生活物資の確保」が 63.7%、次いで「駐車場の確保」が 39.4%、「避難場所の確保」が 30.2%などと続いている。



年代別にみると、「駐車場の確保」は「70歳以上」で低くなっている。また、「食料や水などの生活物資の確保」は概ね年代が上がるほど低く、「市からの災害に関する情報の入手」は概ね年代が上がるほど高くなっている。

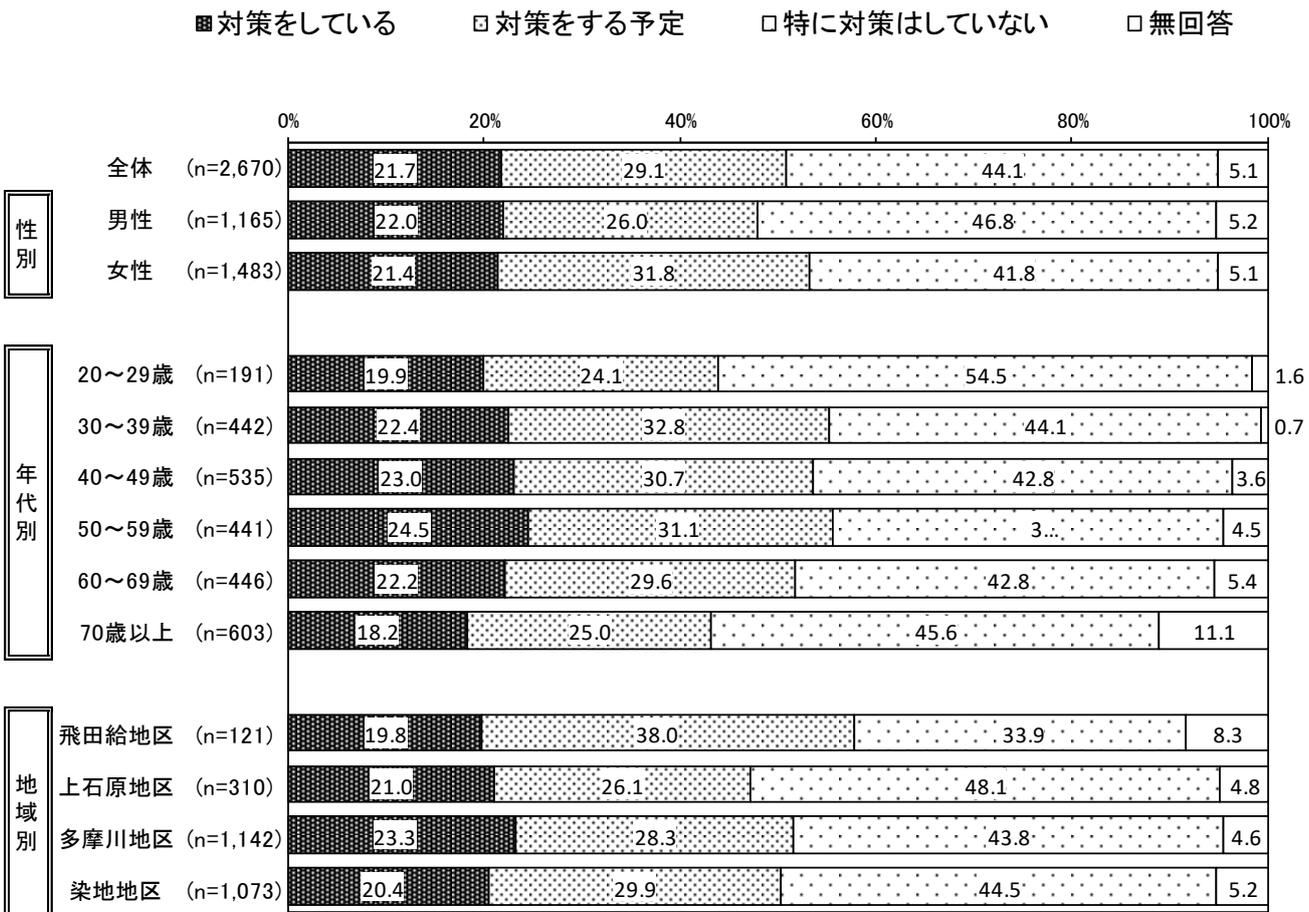
居住地域別にみると、「駐車場の確保」と「避難場所の確保」で「飛田給地区」がやや高い。



(6) 新型コロナウイルス感染症影響下の災害時に備えた対策の有無

問 32 新型コロナウイルス感染症の影響下の中で、災害時の避難に備えて何か対策をしていますか？（〇は1つ）

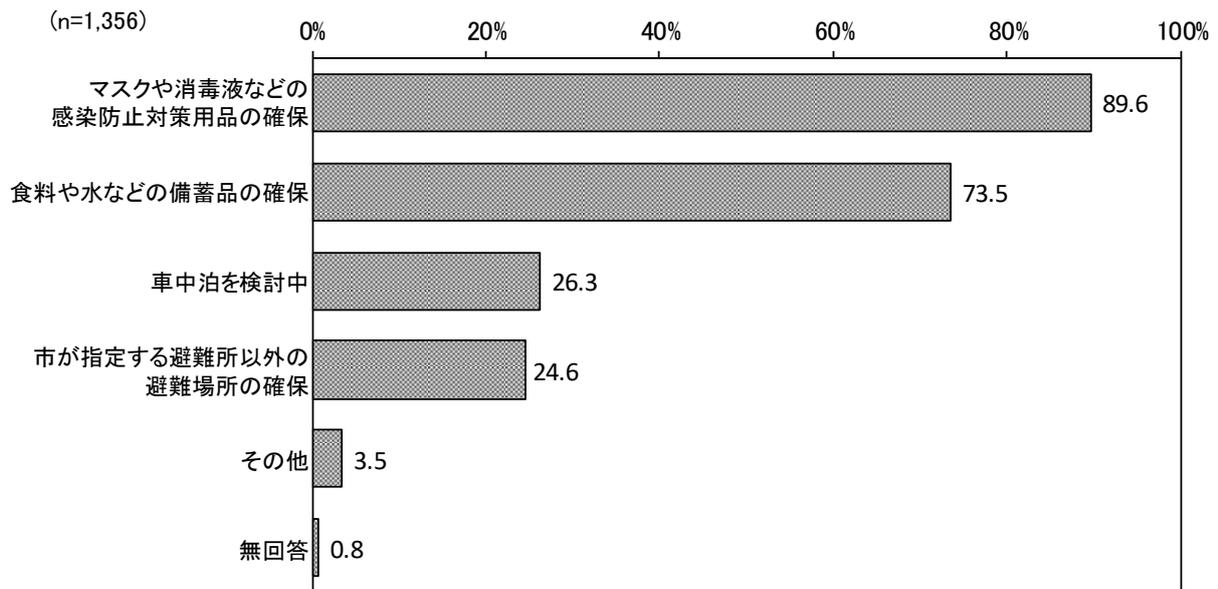
全体では、「特に対策はしていない」が44.1%と最も高く、次いで「対策をする予定」が29.1%、「対策をしている」が21.7%と続いている。



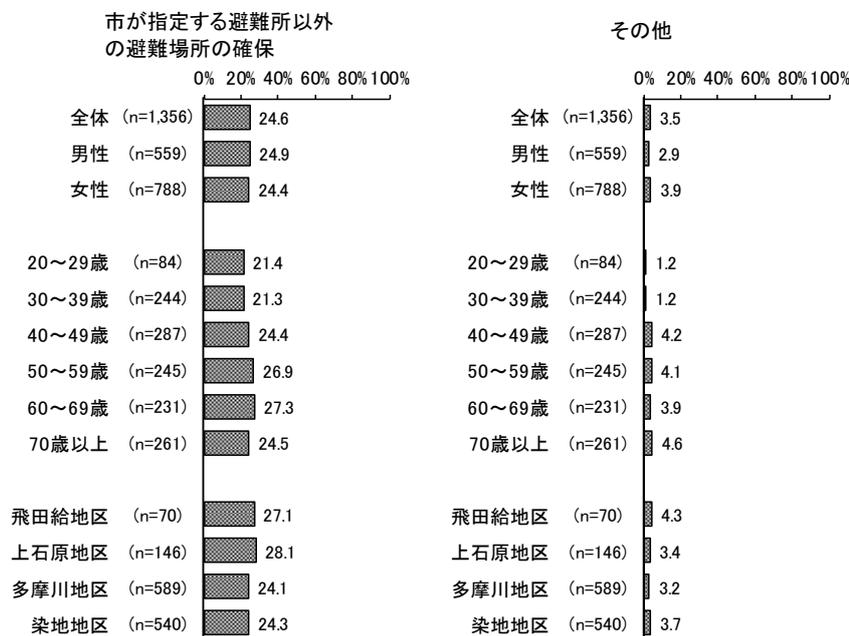
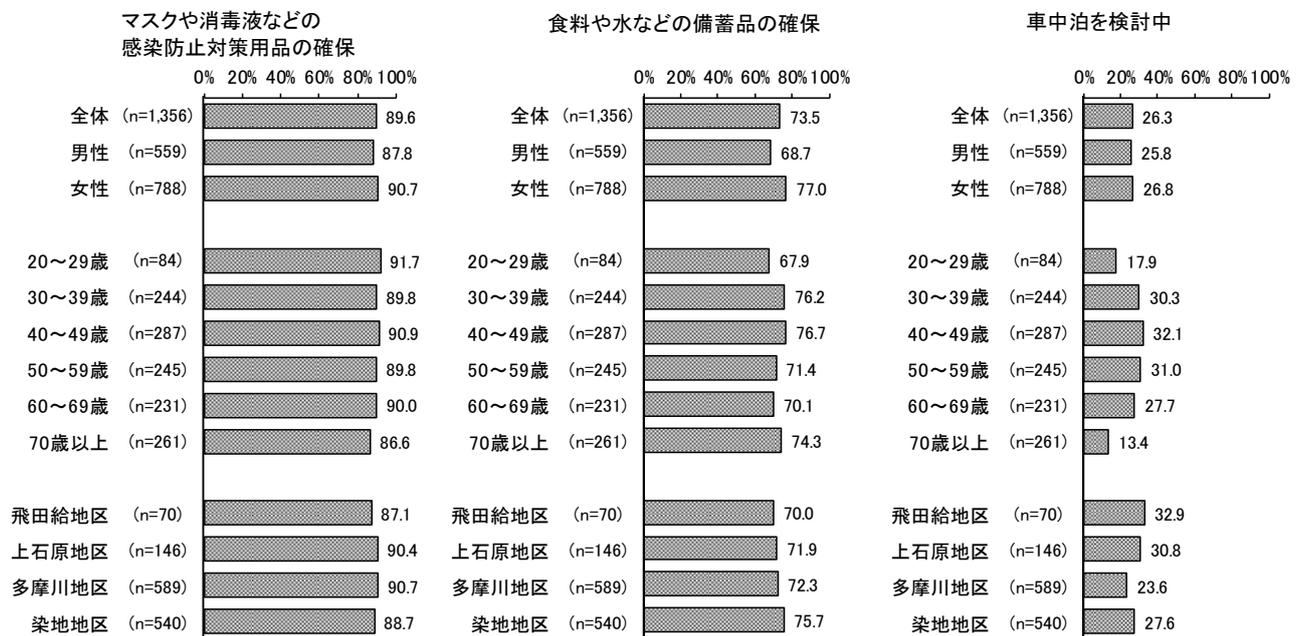
(7) 新型コロナウイルス感染症影響下の災害時に備えた対策の内容

問 33 あなたが対策していること（対策をする予定も含む）をお知らせください。
（○はいくつでも）

全体では、「マスクや消毒液などの感染防止対策用品の確保」が89.6%と最も高く、次いで「飲料や水などの備蓄品の確保」が73.5%、「車中泊を検討」が26.3%、「市が指定する避難所以外の避難場所の確保」が24.6%と続いている。



性別・居住地域別では傾向に特に大きな違いは見られないが、年代別にみると、「車中泊を検討中」は30代から50代で3割台と比較的高くなっている。



8. 自由記述

問 34 台風19号での体験や防災について、ご意見やご要望がありましたらご記入ください。

有効回答数 2,670 件中、自由記述への記入件数は 1,297 件（48.6%）であった。ここでは、記入された回答を下記の通り項目別に分類した。なお、一つの回答が複数の内容に渡る場合は複数回答としてそれぞれの項目へ分類している。

	(件)		(件)
避難所について	514	防災対策について	340
避難所の数・収容人数不足	211	多摩川氾濫への対策	168
避難所に関する情報不足	52	ハザードマップについて	27
いっぱいに入れなかった	43	止水板について	27
混雑していた・狭かった	37	土のうの準備について	21
市が指定する避難所以外の避難場所について	37	内水氾濫への対応	21
避難所の開設が遅かった／早めの開設を	35	想定浸水深の表示について	20
高齢者・子どもへの配慮がなかった	29	他自治体との連携	13
避難所が遠い	28	補助金・助成金などについて	13
避難所内で情報が入らなかった	26	復旧対策について	12
受付で待たされた	21	その他の防災施策について	78
食料・備品等が不十分	19	配慮が必要な方の避難について	175
対応が良かった	19	高齢者・障がい者・持病のある方の避難について	120
段取り・案内不足	14	子ども・妊婦の避難について	61
車が停められなかった	13	移動手段について	146
教室も開放してほしい	12	駐車場の確保・開放	85
雨漏りしていた	11	車以外の移動手段について	29
衛生状態が良くなかった	10	車で避難したい・車で避難を可能に	24
避難場所がわからない	10	車中泊をした・検討している	16
市民へ手伝いを要請してもよい	9	その他	10
帰宅可の指示がなかった	7	その他について	
プライバシーがなかった	7	新型コロナウイルス感染症影響下における避難について	98
避難所の開設は一斉にすべき	7	ペットとの避難について	92
温度管理・換気等について	6	アンケート調査について	25
その他	96	自治会・共助について	24
市等からの情報提供について	378	その他	142
防災無線・広報車について	176		
多摩川の水位情報について	38		
市民への周知・情報開示	30		
警報・避難勧告が遅い／早めの警告を	29		
市からの情報が少なかった	24		
市ホームページがつながらなかった	24		
携帯・スマホのない方への対応について	16		
情報が遅かった	10		
防災安全情報メールについて	9		
その他	113		

■避難所について

最も回答が多かった「避難所について」では、「避難所の数・収容人数不足」「避難所に関する情報不足」「いっぱいに入れなかった」といった意見が多く見られた。

以下に、主な意見を抜粋して掲載する。

- ・富士見台小に避難しましたが教室は使えず、人数が多すぎて居場所がありませんでした。配られた飲み物、パンなども絶対数が足りずにいただくことを辞退しました。避難者に対して避難所の数や収容できるキャパが本当に足りないと感じました。(女性、60代、多摩川地区)
- ・二小に避難しましたが、100人近い人が暴風雨の中、学校内に入れず待たされていました。調布市民の人数に対し、避難所の収容人数が足りていないのはわかりきっているので、校舎内の立ち入り許可などは事前にとっておく、現場に判断できる権限を与えるなどルール作りをすべき。(女性、30代、染地地区)
- ・避難所がいっぱいであるという情報を近隣住民より入手し、避難所への避難をためらうことがあったため、避難所の混み具合や避難した住民の受け入れ可能かなどについて防災メール等でその都度行ってほしいと思いました。(男性、30代、多摩川地区)
- ・自宅近くの避難所は避難した際すでに満員となっており、徒歩30分程度はかかる場所まで車で移動し、避難することができました。避難所の空き状況をリアルタイムで分かるようにしてほしい。(女性、20代、染地地区)
- ・最寄りの避難所(小学校)に避難した際、人数が多すぎて体育館では収容しきれなくなり校舎内で待機することになったが、一般教室は使用許可が取れないということで一部の専用教室(理科室、家庭科室など)しか使用できず、あふれた人は廊下に待機することになり、場所があるにもかかわらず十分なパーソナルエリアを確保できなかった。緊急時なので柔軟に対応、及び判断していただきたい。(男性、50代、多摩川地区)
- ・避難所の広さや備蓄が数時間の避難でも不足していると思った。廊下しか場所がない人もいたし、マットや毛布、食料等の物量、面積について、都市では極めて厳しい状況と思った、小さい子どもがいると親戚宅等の避難を考えざるを得ない。もっとあり得る前提で準備をしてほしい。(男性、30代、染地地区)
- ・初めて避難所を利用したが、人数が多く、また、父は90歳と高齢で床に座っているだけでも辛そうで、雨がやんだ時点で(本当は危険かもしれませんが)帰宅しました。急なことで仕方がないのでしょうが、高齢者に対する配慮は欲しいと感じました。また、床に座った時、あまり清潔ではなかったので、雑巾やシートを一時帰った時に持っていきました。靴や傘の保管場所も考えたいと感じました。(女性、50代、飛田給地区)

■市等からの情報提供について

二番目に回答が多かった「市等からの情報提供について」では、「防災無線・広報車について」「多摩川の水位情報について」「市民への周知・情報開示」といった意見が多く見られた。

以下に、主な意見を抜粋して掲載する。

- ・台風 19 号時、市からの情報（避難勧告等）を伝える防災無線が風雨の影響と戸締りのため全く聞こえなかった。できればテレビ画面への表示や携帯電話での通報等を考えていただきたい。（男性、70 代、染地地区）
- ・避難場所の開設を防災行政無線で回っていたが、よく聞き取れなかった。調布市のホームページで確認しようとしたがつながらなかった。（女性、50 代、多摩川地区）
- ・雨風の強い中、防災の放送がまったく聞き取れませんでした。皆に聞き取れるようなよい方法があればよいと思います。防災フリーダイヤルのことは知りませんでした。もう少し周知させなければと思います。（女性、70 代、染地地区）
- ・国土交通省の多摩川監視カメラをパソコンでずっと見ていた。ずっとリロードするのも大変だし、調布市の Twitter も見ているので、監視カメラのスクリーンショットや川の様子を調布市の Twitter でも送っていただくとより早い判断がしやすいと思いました。（女性、40 代、染地地区）
- ・スマートホンを持っていない。パソコンはあるが必要時に利用できるか不安があり、ガラケーでも河川の水位情報などの防災情報を充実させてもらうのは可能でしょうか。（女性、50 代、多摩川地区）
- ・①テレビの避難所開設情報。調布市はとても遅く感じました（情報源は TV とラジオでした）。②防災行政無線、平常時でも聞き取りにくいので、防災フリーダイヤルで再確認しました。（女性、70 代、多摩川地区）
- ・台風 19 号で染地は水浸しになりました。根川に多摩川の水が逆流してあふれたと聞いていますが、どのような経緯を経てあふれたのか公に説明はあったのでしょうか？私は特に聞いていません。もし、住民全員に分かるように説明がなかったのであれば、きちんと全員に分かるよう説明するべきだと思います。（男性、40 代、染地地区）
- ・市はもっと「川エリア」の住民に普段から氾濫について危機感を高める活動をしてください！！年寄りには NHK と公共の情報しか信用しないんです！！台風が来てから警報を出すのは遅い！！台風の季節になったら町中にポスターを貼ってください！！チラシをまいてください！台風は今後も強くなります。事前の準備、「川が増量する前」の避難を呼びかけてください！！（女性、30 代、染地地区）

■防災対策について

三番目に回答が多かった「防災対策について」では、「多摩川氾濫への対策」「ハザードマップについて」「止水板について」といった意見が多く見られた。

以下に、主な意見を抜粋して掲載する。

- ・堤防の高さの開示。多摩川原橋上流約 500 メートルから染地、多摩川住宅周辺までの統一基準による堤防の絶対的高さ、および対岸の堤の高さを調査し開示してほしい。19 号通過後確認したところ、川崎側の堤防の方が若干低いとのこと。また、染地周辺も同様。数年前の茨城の堤の決壊の原因、今回の九州の支流への逆流、コンクリート壁と土の堤との強度比較、それと上記の堤防高さの差異、これらから判断すると浸水しやすい地域が想定しやすくなると思います。（男性、60 代、多摩川地区）

- ・多摩川の洪水対策について、上流のダムを利用することが国土交通省で検討され始めているようだが、調布市から市民に向けても進捗状況を説明して欲しい。広報も利用して伝えて欲しい。(女性、50代、染地地区)
- ・台風19号では多摩川の支流である根川の越水にとどまり、根川付近以外に被害は出ませんでした。しかし、多摩川の石原水位観測所のライブカメラ、水位計を見れば分かる通り、氾濫危険水位を大きく超えた6mとなり、いつ氾濫してもおかしくない状況でした。石原近辺は多摩川沿岸の地域でもやや高所に位置し、石原近辺で決壊すれば、多摩川低地全域(多摩川・染地)に大きな被害が出るのは明らかです。ダムによる治水には限界がありますから、堤防のかさ上げを強く希望します。対岸の川崎市、稲城市よりも堤防が低いのには何か理由があるのでしょうか？(男性、20代、染地地区)
- ・台風19号で多摩川に溜まった土砂、砂利の撤去を早急に望みます。台風19号で上流から流れてきた砂利等が稲城大橋付近にそのまま堆積したまま手付かずの状態です。今年、大雨で水かさが増すと、堤防を越水することは間違いありません。早急に工事をされることを望みます。(男性、60代、飛田給地区)
- ・多摩川の堤防が稲城市に比べて低いため、不安が大きかった。現在住んでいる家を購入した時のハザードマップよりかなり状況が悪くなっている。2014年は30センチ浸水が現在は5メートル浸水。憤りを感じてしまう。(男性、30代、上石原地区)
- ・うちみたいにハザードマップを10年くらい前に見て「いつも同じだから」と思って毎年確認しない人もいるから、変更になっていることをもっと言った方がよいと思う。まさか数十センチが5メートルになっているとは思わなかった。お金があれば坂上に引っ越したいです。(女性、40代、飛田給地区)
- ・調布市のサイトのハザードマップがとても見にくいです。全体図は低画質なものしかなく、見えづらく、高画質だと分割されていてとてもわかりづらい。至急の改善を求めます。地図やアプリなどに対応したハザードマップができると嬉しいです。(男性、30代、多摩川地区)
- ・止水板の設置について。分譲マンションで3～5m浸水予想エリアです。水防対策を施したいのですが、工事費はかなりの高額になるのは明白です。集合住宅を対象にした助成を行っていただければありがたいです。(男性、50代、多摩川地区)
- ・本アンケートで止水板のことを知り、興味を持ったが、戸建なので要領が分からず、できれば「止水板相談窓口」を設置して戸建別の最適解を教えてくださいたいです。(男性、40代、多摩川地区)

■配慮が必要な方の避難について

以下に、主な意見を抜粋して掲載する。

- ・高齢の祖母と同居しているため、移動手段を用意してもらえるのであれば避難所に行くことも可能になる。ぜひ検討していただきたい。(男性、20代、染地地区)
- ・年寄りは一人で荷物を持ち避難所へ移動できないため、介助サービス、送迎があるとよい。(女性、40代、上石原地区)

- ・①夫が障害者なので徒歩では避難困難。徒歩ではなく、車があればコロナ対策としてはホテル等に避難したい。②近くの避難所へ早めに行くの良い？近場の避難所は19号当時すぐにいっぱいになった。高齢者、障害者用に指定が欲しい。(女性、70代、多摩川地区)
- ・ご高齢の方には、雨が降っている中で足が悪い方など避難は難しく思います。小さい子連れでも同じです。具体的な提案をすることはできませんが、ボランティアの方や消防団の方の協力があると心強く思います。同じ階段、近所の方とも連絡を取り合い、安全かつ積極的に避難できるようなコミュニティ作りをしようと思います。(女性、20代、染地地区)
- ・避難の指示が遅いと思いました。天候が悪くなってから、暗くなってからでは危険だと思います。子どもが小さく数人いると、早めの行動が必要になってくるので、無駄に終わってもいいので早めに指示があった方が決断しやすいと思います。(男性、40代、多摩川地区)
- ・当時妊娠中、夜泣きをする幼児がいました。避難所で周囲に気を使うことを心配し、市の避難所は利用しませんでした。乳幼児優先や分けなどを提示してもらえると利用しやすい。(女性、30代、多摩川地区)

■移動手段について

以下に、主な意見を抜粋して掲載する。

- ・車で避難できたらペット、介護の必要な方、子どものいる家族、そしてコロナ感染などの問題の解決になると思います。また、移動が困難でない人たちでも雨風の強い中、避難所まで行くのは大変でした。台風の際は立体駐車場を保有している施設がスペースを開放してくれると車で安心して避難できると思います。立体駐車場でなくても商業施設の駐車場を開放していただいて、トイレの利用を許可していただければずいぶん助かると思います。(男性、50代、染地地区)
- ・家族に避難場所まで長く歩いていくことができない年寄りがいるのと、自家用車がないため、垂直移動しかできないが、早めに老人向けにバスを手配してバスに乗って避難所まで行けるようなサービスが受けられたらよい。(女性、50代、染地地区)
- ・台風19号の時、この地域にも避難勧告が出ましたが、実際雨風が激しく高齢者もいるため車での移動以外は無理でした。避難所がすぐに満員になり、車も停める場所があるかわかりませんでした。せめてリアルタイムに定員に対しての集まり状況や駐車場の状況などわかるとよいです。また、高齢者だけでもお迎えがあると、なお助かります。(男性、50代、染地地区)
- ・避難所に徒歩で移動したが、車で来る人が多かった。車で来た人は車の中で過ごしてもらおうと、場所の確保ができるのではないかと。車で避難できる広いスペース、避難場所もあると良い。(女性、30代、上石原地区)
- ・車中泊を考えているので、トイレ、食料品、水の確保をしてある。今ある駐車場でも良いので、指定して欲しい(公園、スーパー、病院の駐車場)。(男性、60代、染地地区)
- ・マンションの駐車場が浸水しやすい場所にあるため、車を移動させようと考えましたが、避難所がいっぱいになっていると聞き、台風19号の時は諦めました。避難する時に車だけでも駐車できる場所があればいいと思いました。(女性、40代、多摩川地区)

■その他

以下に、主な意見を抜粋して掲載する。

- ・現在、コロナ禍の中で自家用車での避難は有効な手段であると考えますが、ガソリンの確保、駐車場の確保が滞りなくできることが条件となるので、調布市にはそういった案内や情報を提供していただけるようお願いしたいと思います。(男性、40代、染地地区)
- ・感染拡大の東京では、避難所でのコロナ感染防止対策が急務であると思います。避難したくてもコロナが怖くて避難をためらう人も少なくないのではないのでしょうか。親戚、知人宅もこういう状況下で避難先とさせてもらうのも気兼ねします。住人が安心して避難できる場所を提供していただけたらと思います。コロナ対策をしてください！(女性、60代、染地地区)
- ・コロナウイルス感染症の影響下の中で避難することにためらってしまう気持ちはあるので、どのような対策がされているのか市報などで知らされていると安心できると思います(アルコール消毒液やマスクがあると嬉しいです)。(女性、30代、飛田給地区)
- ・避難所で密にならないように、十分に広い避難スペースを確保してほしい。(男性、40代、多摩川地区)
- ・ペットを連れての避難所を開設してほしい。それを積極的にアナウンスしてほしい。(男性、70代、多摩川地区)
- ・ペットについて。せめて「犬のスペース」「猫のスペース」「その他の動物のスペース」くらいは必要かと思います。(女性、40代、飛田給地区)
- ・ペットを連れて入れる避難所がなさすぎる。小学校の1フロアをペット同伴者用にするなど、対応してほしい。(男性、40代、上石原地区)

Ⅲ. 調査票

調布市「防災に関するアンケート調査」

～ ご協力のお願い ～

日頃から、調布市の防災行政に御理解と御協力をいただきましてありがとうございます。

昨年10月に発生した台風19号では、市制施行以来初めて避難勧告を発令して約6000人の方が避難所に避難されました。また、染地地域を中心に多くの家屋が浸水の被害を受けました。

このため、市では、台風19号当時の避難行動を明らかにして避難勧告の発令や避難所の開設時期、混雑緩和、避難手段に応じた避難先の選択肢確保などの諸課題の対策に活用する基礎資料とするため、防災に関するアンケート調査を実施することといたしました。

なお、本アンケート調査は、洪水ハザードマップにおいて多摩川が氾濫した場合に浸水が想定される区域にお住いの20歳以上の方から6000人を無作為に抽出して実施しております。

お忙しい中恐れ入りますが、御回答いただきますようお願いいたします。

令和2年7月

調布市 総務部 総合防災安全課

<ご記入に際しての注意事項など>

- 回答は、ご本人（アンケートのあて名の方）がご記入ください。
- 回答は、あてはまる項目の選択肢の番号を、黒色のペンまたは鉛筆で○（マル）で囲んでください。
質問によっては1つだけ回答していただくものと、複数（あてはまるものすべて）回答していただくものがありますので、質問の指示に従ってご回答をお願いいたします。
- 「その他」を選んだ場合には（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 本調査は無記名で行い、回答結果は統計的に処理しますので、ご協力いただいた皆さんにご迷惑をかけることは一切ありません。
- ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の本調査を調布市が委託している株式会社総合企画宛の返信用封筒に（切手を貼らずに）入れて、

7月27日（月）までに郵便ポストへご投函ください。

なお、調査票や返信用封筒にお名前・ご住所などの記入は必要ありません。

《このアンケートについてのお問い合わせ先》

調布市 総務部 総合防災安全課

電話：042-481-7346

（平日午前8時30分から午後5時15分まで）

◆ アンケートの中で使われている用語の説明

以下は本アンケートの中で使われている用語の説明です。
ご回答の際、ご参照ください。

※1	ハザードマップ	自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、浸水想定区域、避難所などの防災関連施設の位置などを表示した地図
※2	浸水想定区域	河川の氾濫により、住宅などが水につかる浸水が想定される区域
※3	マイ・タイムライン	台風や大雨の水害など、これから起こるかもしれない災害に対し、一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて、「いつ」「だれが」「何をするか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災行動計画
※4	防災・安全情報メール	調布市の気象情報（警報・注意報など）、地震情報、防犯情報などのお知らせに使用しているメール
※5	自主避難所	気象情報や自宅の周辺状況などを基に自主的に避難する方のために、一時的に開設する避難所
※6	避難勧告	大雨などにより河川の浸水が予想され、また、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況であると市が判断したときに、防災行政無線やラジオなどを通じて市が避難を促すもの
※7	防災行政無線	屋外拡声器を介して、市から住民などに対して直接、同時に防災情報や行政情報を伝える防災無線
※8	避難準備・ 高齢者等避難開始	大雨などにより気象注意報・警報が発表され、事前に避難準備することが適当であると市が判断した時に、防災行政無線やラジオなどを通じて市が避難準備や高齢者等避難開始を呼びかけるもの
※9	特別警報	警報の発表基準をはるかに超える大雨や大津波等が予想され、重大な災害の起こるおそれが著しく高まっている場合に、最大級の警戒を呼び掛けるために気象庁から発表されるもの
※10	避難指示（緊急）	前兆現象の発生や現在の切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと市が判断した時に、防災行政無線やラジオなどを通じて市が避難所への避難を指示するもの
※11	止水板	豪雨や洪水などで浸水した道路から建物などの内部に水が浸水しないように、建物の出入口や水の侵入経路に取り付ける板
※12	防災フリーダイヤル	防災行政無線で放送した内容を電話で確認できる専用の電話回線（0800-8000-903）
※13	指定避難所（風水害時）	災害対策基本法に基づき調布市地域防災計画に定めている避難所で、多摩川が氾濫した場合に被害が予想される区域並びに野川、仙川及び入間川が氾濫した場合に被害が予想される区域の住民が避難するための施設

1. あなたご自身のことについて

問1 あなたの性別をお知らせください。(〇は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問2 あなたの年齢について、次の中から選んで〇をつけてください。(〇は1つ)

- | | |
|----------|----------|
| 1 19歳以下 | 5 50～59歳 |
| 2 20～29歳 | 6 60～69歳 |
| 3 30～39歳 | 7 70歳以上 |
| 4 40～49歳 | |

問3 あなたの同居のご家族の構成は、次のどれにあたりますか？(〇は1つ)

- | | |
|------------|------------|
| 1 単身（一人世帯） | 4 自分と子ども |
| 2 夫婦のみ | 5 親と自分と子ども |
| 3 自分と親 | 6 その他（ ） |

問4 あなたを含め、同居している方の中に次に該当する方はいらっしゃいますか？(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1 0～2歳の子ども | 5 75歳以上の高齢者 |
| 2 3～5歳の子ども | 6 身体に障害があり、自力避難ができない方 |
| 3 小・中学生の子ども | 7 いずれもない |
| 4 65～74歳の高齢者 | |

問5 あなたのお住まいの形態は、次のどれにあたりますか？(〇は1つ)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1 一戸建て（平屋） | 4 集合住宅の1階 |
| 2 一戸建て（2階建て） | 5 集合住宅の2階 |
| 3 一戸建て（3階建て以上） | 6 集合住宅の3階以上 |

問6 あなたのお宅では、車を保有されていますか？(〇は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 保有している | 2 保有していない |
|----------|-----------|

問7 現在のあなたのお住まいの地域をお知らせください。(〇は1つ)

- | | |
|----------|--------------------|
| 1 飛田給3丁目 | 8 多摩川3丁目 |
| 2 上石原3丁目 | 9 多摩川4丁目 |
| 3 染地1丁目 | 10 多摩川5丁目 |
| 4 染地2丁目 | 11 多摩川6丁目 |
| 5 染地3丁目 | 12 多摩川7丁目 |
| 6 多摩川1丁目 | 13 調布市内のその他地域・調布市外 |
| 7 多摩川2丁目 | |

問8 あなたのお宅は、台風19号により床上浸水又は床下浸水の被害を受けましたか？

(〇はいくつでも)

- 1 床上浸水の被害を受けた
- 2 床下浸水の被害を受けた
- 3 浸水により車両が被害を受けた
- 4 浸水の被害は受けていない

2. 日頃の防災意識について

問9 あなたは、お住まいの地域の「ハザードマップ」(※1)を持っていますか？

(〇は1つ)

- 1 持っており、浸水想定区域(※2)や避難所の場所などについての内容を理解している
- 2 持っているが、内容までは理解していない
- 3 持っていないが、内容は理解している
- 4 持っておらず、内容も理解していない

(※1) 自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、浸水想定区域、避難所などの防災関連施設の位置などを表示した地図

(※2) 河川の氾濫により、住宅などが水につかる浸水が想定される区域

問10 あなたは「マイ・タイムライン」(※3)をご存じですか？

(〇は1つ)

- 1 知っており、マイ・タイムラインを作成している
- 2 知っているが、マイ・タイムラインを作成していない
- 3 知らない

(※3) 台風や大雨の水害など、これから起こるかもしれない災害に対し、一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて、「いつ」「だれが」「何をするか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災行動計画

問11 あなたは、昨年の台風19号以前に、台風などの災害に備えて行っていた対策がありますか？

(〇はいくつでも)

- 1 非常持ち出し品を準備していた
- 2 防災・安全情報メール(※4)などの防災メールや防災アプリを登録していた
- 3 マイ・タイムラインを作成していた
- 4 防災訓練に参加していた
- 5 土のうを準備していた
- 6 止水板を準備していた
- 7 家財や自家用車を移動していた
- 8 その他()

(※4) 調布市の気象情報(警報・注意報など)、地震情報、防犯情報などのお知らせに使用しているメール

3. 台風19号の際の避難行動について

問12 あなたは、台風19号の際、どちらに避難をされましたか？

(〇は1つ)

- | | |
|---|------------|
| 1 | 親戚・知人宅 |
| 2 | ホテルなどの宿泊施設 |
| 3 | 自宅の2階以上の場所 |
| 4 | 避難所 |
| 5 | その他 () |
| 6 | 避難しなかった |

→ 問13へお進みください

→ 問17へお進みください

【問13～問16は、問12で「1 親戚・知人宅」～「5 その他」と回答した方(避難をした方)にお伺いします】

問13 あなたが避難を始めたきっかけをお知らせください。

(〇はいくつでも)

- | | |
|----|---|
| 1 | 大雨・洪水注意報の発令 (10/11 20:27) |
| 2 | 大雨警報の発令 (10/12 4:14) |
| 3 | 洪水警報の発令 (6:32) |
| 4 | 自主避難所(※5)の開設 (8:45) |
| 5 | 避難勧告(※6)の発令 (15:18) |
| 6 | 避難勧告のエリアメール |
| 7 | 自宅の浸水 |
| 8 | 行政からの避難の呼びかけ (防災行政無線(※7)、調布FMなどのラジオ、消防団などの広報) |
| 9 | 近隣住民などからの避難の呼びかけ |
| 10 | 家族・親戚・知人からの呼びかけ |
| 11 | その他 () |

(※5) 気象情報や自宅の周辺状況などを基に自主的に避難する方のために、一時的に開設する避難所

(※6) 大雨などにより河川の浸水が予想され、また、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況であると市が判断したときに、防災行政無線やラジオなどを通じて市が避難を促すもの

(※7) 屋外拡声器を介して、市から住民などに対して直接、同時に防災情報や行政情報を伝える防災無線

問14 あなたは、台風19号の際に何から情報を得ましたか？

(〇はいくつでも)

- | | | | |
|---|------------------|----|----------------------|
| 1 | 防災行政無線 | 6 | Yahoo!などインターネットのニュース |
| 2 | 防災・安全情報メール | 7 | 調布FMなどのラジオ |
| 3 | 調布市のホームページ | 8 | ツイッター、フェイスブックなどのSNS |
| 4 | テレビニュース | 9 | 親戚、知人、近隣住民 |
| 5 | テレビのDボタン(デジタル放送) | 10 | その他 () |

問15 あなたが避難をした際の手段をお知らせください。

(〇は1つ)

- | | | | |
|---|------------------|---|---------|
| 1 | 徒歩 | 4 | 自家用車 |
| 2 | バスやタクシーなどの公共交通機関 | 5 | バイク |
| 3 | 親戚・知人の車 | 6 | その他 () |

問16 あなたが避難をした際に要した時間はどのくらいですか？(自宅から避難先まで) (〇は1つ)

- | | | | | | |
|---|-------|---|----------|---|-------|
| 1 | 30分以内 | 2 | 30分から1時間 | 3 | 1時間以上 |
|---|-------|---|----------|---|-------|

→ 問18へお進みください

【 問17は、問12で「6 避難しなかった」と回答した方にお伺いします 】

問17 あなたが避難をしなかった理由をお知らせください。

(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1 水害は起こらないと思ったから | 6 浸水して避難できなかったから |
| 2 自宅が浸水しなかったから | 7 小さい子どもがいて避難できなかったから |
| 3 避難するのに危険を感じたから | 8 ペットがいて避難できなかったから |
| 4 避難所が遠いから | 9 体が不自由で一人では避難できなかったから |
| 5 避難場所が分からなかったから | 10 その他 () |

4. 今後の避難行動について

【 すべての方にお伺いします 】

問18 あなたは、今後、風水害の際に、どちらに避難しようと考えていますか？ (〇はいくつでも)

- | | |
|--------------|--------------------------|
| 1 親戚・知人宅 | 4 避難所 |
| 2 ホテルなどの宿泊施設 | 5 その他 () |
| 3 自宅の2階以上の場所 | 6 避難しないと思う → 問21へお進みください |

【 問19～問20は、問18で「1 親戚・知人宅」～「5 その他」と回答した方(避難しようと考えている方)にお伺いします 】

問19 あなたは、今後、風水害の際に、どの時点で避難しようと考えていますか？

以下の中から1つだけお選びください。

(〇は1つ)

- 1 自主避難所開設時
- 2 大雨・洪水警報発表時
- 3 避難準備・高齢者等避難(※8)発令時(警戒レベル3相当)
- 4 避難所開設時
- 5 避難勧告発令時(警戒レベル4相当)
- 6 大雨・洪水特別警報(※9)発表時
- 7 避難指示(※10)発令時(警戒レベル4相当)
- 8 近隣住民などから避難を促された時
- 9 避難の支援を得られた時
- 10 その他 ()

(※8) 大雨などにより気象注意報・警報が発表され、事前に避難準備することが適切であると市が判断した時に、防災行政無線やラジオなどを通じて市が避難準備や高齢者等避難開始を呼びかけるもの

(※9) 警報の発表基準をはるかに超える大雨や大津波等が予想され、重大な災害の起こるおそれが著しく高まっている場合に、最大級の警戒を呼び掛けるために気象庁から発表されるもの

(※10) 前兆現象の発生や現在の切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと市が判断した時に、防災行政無線やラジオなどを通じて市が避難所への避難を指示するもの

問20 今後、避難をする際には、どのような手段を考えていますか？

(〇は1つ)

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1 徒歩 | 4 自家用車 |
| 2 バスやタクシーなどの公共交通機関 | 5 バイク |
| 3 親戚・知人の車 | 6 その他 () |

→ 問23へお進みください

【問21は、問18で「6 避難しないと思う」と回答した方にお伺いします】

問21 あなたが、今後、「避難しない」とお考えの理由をお知らせください。 (〇はいくつでも)

1 自宅は浸水の危険がない	→ 問23へお進みください
2 避難所が遠い	
3 避難場所が分からない	
4 小さい子どもがいて避難できない	
5 ペットがいて避難できない	→ 問22へお進みください
6 体が不自由で一人では避難できない	
7 その他 ()	

【問22は、問21で「2 避難場所が遠い」～「7 その他」と回答した方にお伺いします】

問22 どのような支援があれば避難ができると思いますか？ (〇はいくつでも)

1 小さい子どもと一緒に避難できる避難所があれば避難できる
2 ペットと一緒に避難できる避難所があれば避難できる
3 一人では避難できないので友人・知人に手伝ってもらえば避難できる
4 避難所までの移動手段を確保してもらえば避難できる
5 その他 ()

5. 今後の対策について

【すべての方にお伺いします】

問23 風水害に備えて実施した（又は実施を予定している）対策はありますか？ (〇はいくつでも)

1 マイ・タイムラインの作成	6 避難場所、避難ルートの確認
2 土のうの準備	7 防災安全情報メールなどの防災メールや
3 止水板（※11）の設置	防災アプリの登録
4 防災訓練への参加	8 その他 ()
5 非常持ち出し品の準備	9 特にない

(※11) 豪雨や洪水などで浸水した道路から建物などの内部に水が浸水しないように、建物の出入口や水の侵入経路に取り付ける板

問24 浸水防止対策としては土のうのほか、止水板の設置も有効ですが、設置費用の一部助成があるとした場合、止水板の設置を検討しますか？ (〇は1つ)

1 設置を検討する	→ 問26へお進みください
2 設置しない	

【問25は、問24で「1 設置を検討する」と回答した方にお伺いします】

問25 市の助成が得られた場合、個人負担がどの程度であれば止水板の設置を検討しますか？ (〇は1つ)

1 20万円程度まで	3 50万円から100万円程度
2 20万円から50万円程度	4 その他 ()

6. 調布市の防災施策について

【すべての方にお伺いします】

問26 調布市の防災施策について、ご存じのものをお知らせください。 (〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1 防災安全情報メール | 8 二次避難所（福祉避難所） |
| 2 防災フリーダイヤル（※12） | 9 緊急指定避難所 |
| 3 ハザードマップ | 10 防災出前講座 |
| 4 マイ・タイムライン | 11 防災教育の日 |
| 5 土のうステーション | 12 市報の特集ページ |
| 6 想定浸水深の表示 | 13 その他（ ） |
| 7 指定避難所（風水害時）（※13） | |

(※12) 防災行政無線で放送した内容を電話で確認できる専用の電話回線（0800-8000-903）

(※13) 災害対策基本法に基づき調布市地域防災計画に定めている避難所で、多摩川が氾濫した場合に被害が予想される区域並びに野川、仙川及び入間川が氾濫した場合に被害が予想される区域の住民が避難するための施設

7. 新型コロナウイルス感染症の影響下における避難行動について

問27 新型コロナウイルス感染症の影響前には、災害時の避難先としてどちらを考えていましたか？ (〇は1つ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 市が指定する避難所 | → 問29へお進みください |
| 2 車の中 | |
| 3 親戚や知人宅 | |
| 4 その他（ ） | |
| 5 自宅（避難しない） | ↓ |

【問28は、問27で「5 自宅(避難しない)」と回答した方にお伺いします】

問28 避難所などへの避難を考えていなかった理由をお知らせください。 (〇はいくつでも)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 自宅が安全である（自宅が浸水想定区域外にある、耐震補強しているなど） |
| 2 避難所が遠い |
| 3 移動手段がない |
| 4 一人で避難できない（介助が必要） |
| 5 その他（ ） |

【すべての方にお伺いします】

問29 新型コロナウイルス感染症の影響下の現在では、災害時の避難先としてどちらを考えていますか？ (〇は1つ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 市が指定する避難所 | → 問32へお進みください |
| 2 車の中 | → 問31へお進みください |
| 3 親戚や知人宅 | |
| 4 その他（ ） | → 問30へお進みください |
| 5 自宅（避難しない） | |

【 問30は、問29で「5 自宅(避難しない)」と回答した方にお伺いします】

問30 避難所などへの避難を考えていない理由をお知らせください。(〇はいくつでも)

- 1 感染リスクがある
- 2 自宅が安全である(自宅が浸水想定区域外にある、耐震補強している、感染のリスクがないなど)
- 3 避難所が遠い
- 4 移動手段がない
- 5 一人で避難できない(介助が必要)
- 6 その他()

→ 問32へお進みください

【 問31は、問29で「2 車の中」～「4 その他」と回答した方(市が指定する避難所以外に避難すると回答した方)にお伺いします】

問31 市が指定する避難所以外の場所に避難する場合、あなたはどんなことに不安を感じますか？(〇はいくつでも)

- 1 食料や水などの生活物資の確保
- 2 市からの災害に関する情報の入手
- 3 駐車場の確保
- 4 避難場所の確保
- 5 その他()

【 すべての方にお伺いします】

問32 新型コロナウイルス感染症の影響下の中で、災害時の避難に備えて何か対策をしていますか？(〇は1つ)

- 1 対策をしている
 - 2 対策をする予定
 - 3 特に対策はしていない
- 問34へお進みください

【 問33は、問32で「1 対策をしている」・「2 対策をする予定」と回答した方にお伺いします】

問33 あなたが対策をしていること(対策をする予定も含む)をお知らせください。(〇はいくつでも)

- 1 市が指定する避難所以外の避難場所の確保
- 2 車中泊を検討中
- 3 食料や水などの備蓄品の確保
- 4 マスクや消毒液などの感染防止対策用品の確保
- 5 その他()

【 すべての方にお伺いします 】

問34 台風19号での体験や防災について、ご意見やご要望がありましたらご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力、誠にありがとうございました。
ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて
2020年7月27日(月)までにご投函ください。